

津市立安濃小学校長寿命化改修工事 設計図

アルテック設計

津市大谷町2-3-3番地 TEL 059-225-1602

	意匠図						電気設備図		
A　－　１	図面リスト	A　－　３ ７	校舎中央棟　２階展開図 １	A　－　７ ３	エレベーター詳細図 ７	E　－　１	電気設備　特記仕様書(1)		
A　－　２	改修工事特記仕様書 １	A　－　３ ８	校舎中央棟　２階展開図 ２	A　－　７ ４	仮設計画図	E　－　２	電気設備　特記仕様書(2)		
A　－　３	改修工事特記仕様書 ２	A　－　３ ９	校舎中央棟　２階展開図 ３			E　－　３	電気設備　特記仕様書(3)		
A　－　４	改修工事特記仕様書 ３	A　－　４ ０	校舎中央棟　２階展開図 ４			E　－　４	配置図・照明器具姿図		
A　－　５	改修工事特記仕様書 ４	A　－　４ １	校舎中央棟　３階展開図 １			E　－　５	受変電設備　単線結線図・盤結線図		
A　－　６	改修工事特記仕様書 ５	A　－　４ ２	校舎中央棟　３階展開図 ２			E　－　６	１階　便所平面図		
A　－　７	改修工事特記仕様書 ６	A　－　４ ３	便所棟(改修前)　１階展開図 １			E　－　７	２階　便所平面図		
A　－　８	改修工事特記仕様書 ７	A　－　４ ４	便所棟(改修前)　１階展開図 ２			E　－　８	電気設備　１階平面図		
A　－　９	付近見取図・配置図兼仮設計画図	A　－　４ ５	便所棟(改修前)　１階展開図 ３			E　－　９	電気設備　２階平面図		
A　－　１ ０	外部仕上表	A　－　４ ６	便所棟(改修後)　１階展開図 １			E　－　１ ０	電気設備　３階平面図		
A　－　１ １	内部仕上表（改修前）	A　－　４ ７	便所棟(改修後)　１階展開図 ２			E　－　１ １	電気設備　屋上平面図		
A　－　１ ２	内部仕上表（改修後）	A　－　４ ８	便所棟(改修後)　１階展開図 ３			E　－　１ ２	外壁廻り　配管改修図		
A　－　１ ３	平面図 １（改修前）	A　－　４ ９	便所棟(改修前)　２階展開図 １						
A　－　１ ４	平面図 １（改修後）	A　－　５ ０	便所棟(改修前)　２階展開図 ２						
A　－　１ ５	平面図 ２（改修前）	A　－　５ １	便所棟(改修後)　２階展開図 １						
A　－　１ ６	平面図 ２（改修後）	A　－　５ ２	便所棟(改修後)　２階展開図 ２						
A　－　１ ７	立面図（改修前）	A　－　５ ３	便所棟(改修後)　２階展開図 ３						
A　－　１ ８	立面図（改修後）	A　－　５ ４	天井伏図（改修前）		構造図		機械設備図		
A　－　１ ９	断面図（改修前）	A　－　５ ５	天井伏図（改修後）	S　－　１	構造設計標準仕様書	M　－　１	機械設備特記仕様書(1)		
A　－　２ ０	断面図（改修後）	A　－　５ ６	建具指示図（改修前）	S　－　２	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	M　－　２	機械設備特記仕様書(2)		
A　－　２ １	校舎中央棟矩計図	A　－　５ ７	建具指示図・家具指示図（改修後）	S　－　３	鉄骨構造標準図（１）	M　－　３	凡例、衛生器具表1		
A　－　２ ２	便所棟矩計図 1 (改修前)	A　－　５ ８	建具表 １	S　－　４	鉄骨構造標準図（２）	M　－　４	給排水衛生設備　系統図（改修前、改修後）		
A　－　２ ３	便所棟矩計図 1 (改修後)	A　－　５ ９	建具表 ２	S　－　５	伏図	M　－　５	給排水衛生設備　１階便所平面詳細図（改修後）		
A　－　２ ４	便所棟矩計図 2 (改修前)	A　－　６ ０	建具表 ３	S　－　６	軸組図・鉄骨接手詳細図	M　－　６	給排水衛生設備　２階便所平面詳細図（改修後）		
A　－　２ ５	便所棟矩計図 2 (改修後)	A　－　６ １	建具表 ４	S　－　７	部材リスト	M　　７	衛生設備　化粧鏡配置　１、２階便所平面図（改修前、改修後）		
A　－　２ ６	１階平面詳細図 １	A　－　６ ２	建具表 ５			M　　８	給排水衛生設備　屋上平面詳細図（改修後）		
A　－　２ ７	１階平面詳細図 ２（改修前）	A　－　６ ３	建具表 ６			M　－　９	給排水衛生設備　１階便所平面詳細図（改修前）		
A　－　２ ８	１階平面詳細図 ２（改修後）	A　－　６ ４	家具詳細図			M　－　１ ０	給排水衛生設備　２階便所平面詳細図（改修前）		
A　－　２ ９	２階平面詳細図 １	A　－　６ ５	雑詳細図 １			M　－　１ １	給排水衛生設備　屋上平面詳細図（改修前）		
A　－　３ ０	２階平面詳細図 ２	A　－　６ ６	雑詳細図 ２			M　－　１ ２	空調換気設備　凡例、機器表		
A　－　３ １	２階平面詳細図 ３（改修前）	A　－　６ ７	エレベーター詳細図 １			M　－　１ ３	空調設備　１、２階平面図		
A　－　３ ２	２階平面詳細図 ３（改修後）	A　－　６ ８	エレベーター詳細図 ２			M　－　１ ４	空調設備　３階平面図		
A　－　３ ３	３階平面詳細図	A　－　６ ９	エレベーター詳細図 ３			M　－　１ ５	換気設備　１、２階便所平面図（改修前、改修後）		
A　－　３ ４	校舎中央棟　１階展開図 １	A　－　７ ０	エレベーター詳細図 ４						
A　－　３ ５	校舎中央棟　１階展開図 ２	A　－　７ １	エレベーター詳細図 ５						
A　－　３ ６	校舎中央棟　１階展開図 ３	A　－　７ ２	エレベーター詳細図 ６						
アル　テ　ック　設　計 津　市　大　谷　町　２　３　３　番　地　TEL 059-225-1602			一級建築士　第177266号 伊　藤　公　智	DRAWING　BY DATA	原　図　：　A2 _____ _____ _____ _____		津市立安濃小学校長寿命化改修工事	図面リスト	A　　－　　１ S　：　　non

工 事 特 記 仕 様 書（改 修）

I. 工事名称

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

II. 工事概要

1 工事場所

津市 安濃町内 地内

2 敷地面積

14.042㎡

3 工事内容

棟名称

校舎中央棟、便所棟

構造

鉄筋コンクリート造

建築面積

延べ面積

1,222㎡、254㎡

工事項目

改修工事（防水改修、外壁改修、建具改修、内外装改修、塗装改修、躯体改修、昇降機設備、外構）

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目等を示す。

章

項 目

特 記 事 項

1

① 適用基準等

1）公共建築工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁営繕部監修（平成31年版）
2）公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
国土交通大臣官庁営繕部監修（平成31年版）
3）建築工事標準詳細図
国土交通大臣官庁営繕部監修（平成28年版）

② 施工条件

施工方法及び検査に関する事項
※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規 制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。
※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。
※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。
※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。
※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのものと写真に記録しておくこと。
※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。
※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査（書類を含む）を受けすること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。
※ 撤去工事等の騒音及び振動が生じる作業は、夏休み中等の授業が行われていない時に行うこと。
※ 外部足場の設置及び解体は、夏休み中等の学校休校日に行うこと。
※ 1階改修範囲外の部屋は常時利用（夏休み含む）する為、コーンパー等で区画するなど、使用を妨げないよう学校施設と協議し計画すること。
※ 校舎中央棟1階にある渡り廊下前、職員室前及び保健室前については、当該諸室へ校舎南棟、校舎北棟及び運動場から出入りができるよう、外部足場及び外部仮設を計画すること。
※ 運動場について、夏休み中等の学校休校日であってもスポーツ少年団等の団体がある場合があるため注意すること。
※ 工事関係車両の工事ヤードへの乗り入れは、原則、体育館南側の裏門②からの入場とし、資材搬入等の場合は、学校及び市監督員と協議のうえ、校舎東側の裏門①からの入場とする。但し、入場退場時間は、児童の登下校時間及び休み時間以外とする。
※ 作業後の校舎等の施設については学校側と十分協議を行うこと。
※ 外壁改修工事について、原則、休日等の授業が行われていない時行うものとする。但し、学校及び市監督員と協議を行い、授業に支障が生じない場合はこの限りではない。
※ 屋外仮囲い、撤去工事等の現場への本格着手は7月21日からとする。
※ 夏休み期間終了までに仮設計画図のとおり、児童・職員が安全に使用できるよう内部仮設の変更を行うこと。
※ 外部鉄鋼面塗装等において、下地調整ケレン時に、集じん機付きディスクグラインダーの使用又は湿潤化し飛散養生するなど、粉塵の飛散防止に努めること。
※ 下記に示す諸室の改修工事について、2学期以降の学校運営に支障がないよう、市検査課の中間検査を受け引き渡すこと。なお、下記に中間検査対象箇所及び引渡時期を記す。
(8月中引渡)
・内部改修部（教室、パソコン室、1階・2階廊下、2階男子便所、2階女子便所、2階多機能便所、2階廊下手洗い、玄関ホール、フリースペース、オープンスペース）
(10月中引渡)
・内部改修部（1階男子便所・1階女子便所、1階多機能便所、職員男子便所、職員女子便所、1階廊下手洗い）
※ 各諸室（1クラス30名程度）について、作り付け家具のほか、机等の備品があるため、作業に際し移設及び養生を適宜行うこと。なお、下記に各諸室の主要な備品を明記する。
・きらぼし1、2、3及び多目的室：机、椅子及び教卓、テレビ及びテレビ台
・非常物資保管室：机、椅子、非常物資
・廊下：棚、掃除用具入れ、木製上履き入れ
・パソコン室：机、椅子、教卓、パソコン及び卓上プリンター
本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有○無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
屋根	○有・無	○手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
その他 (土間コンクリート)	○有・無	○手作業、機械作業の併用

④ 建設副産物情報交換システムの利用

受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、工事着手前及び、工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出することとし、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」ヘデータをを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

⑤ 三重県産業廃棄物税

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

・配置する

6 電気保安技術者
(1.3.3)

職種別に可能なものについては、積極的に活用のこと。

7 技能士
(1.6.2)

調査範囲及び調査方法○工種別の特記による

⑧ 施工数量調査
(1.5.2)

補修方法・図示（図面番号：）・（）

9 調査のための破壊部分の補修
(1.5.3)

1）本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。
2）本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

① 化学物質の濃度測定
(1.6.9)

測定対象化学物質（●で示したものとする。）		適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
○	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定箇所数○図示（図面番号：A-13～16）・（）
測定方法（○パッシブ法・アクティブ法）
測定時期・（）
報告書提出部数2部

① ② 特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

③ 騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

④ 工事写真
(1.2.4)

営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官庁営繕部（平成31年版））に従い撮影する。
提出部数1部 用紙は上質紙とする。
なお、デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（平成29年3月1日付け国営整第211号）」による。

⑤ 完成図等
(1.8.2)(1.8.3)

作成する（○完成図・保全に関する資料・（））
完成図作図範囲（設計図を訂正）
完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

・デジタルカメラで撮影し、全て1版相当サイズで印刷する。
(A4版用紙に1ページあたり3枚)1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑥ 完成写真

施工範囲○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強
○図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ

⑦ 設備工事との取合い

施工図○設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑧ 既存部分等への処置
(1.3.13)

⑨ 事故の発生時

② 消防提出書類

1）消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
○本工事（○建築工事・電気設備工事・機械設備工事）・別途工事
2）防火対象物使用開始届出書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

② 不正軽油の使用の禁止

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

23 屋外広告物

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策
(2.1.3)

・防音パネル 設置範囲・図示（図面番号：）
・防音シート 設置範囲・図示（図面番号：）

② 足場
(2.2.1)(表2.2.1)

設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

内部足場の種別（参考）○脚立・棚足場○その他（階段足場、ｼｬﾂﾘﾝ足場）
外部足場の種別（参考）○手摺先行据置枠組木足場・移動足場・高所作業車
・その他（）
外部足場設置範囲（参考）・外部改修部・設備改修部・昇降用・転落防止用防護シート等による養生○適用する・適用しない

③ 既存部分の養生
(2.3.1)

既存部分の養生・図示（図面番号：）
既存ブラインド・カーテンの養生
養生方法（）
保管場所・構内既存施設内
固定された備品、机、ロッカーの移動○行う・行わない

④ 仮設間仕切り
(2.3.2)(表2.3.1)

屋内の仮設間仕切り・A種○B種・C種
合板 厚さ・9mm・（）
せつこうボード 厚さ○9.5mm・（）
合板又は石こうボードの塗装・行う○行わない
仮設扉 設置箇所○図示（図面番号：）
仕様・合板張り木製扉○（ｱﾙｶﾅﾙﾄﾞ）

5 監督員事務所
(2.4.1)

・構内建物内の一部を使用する。
・設置する・設置しない
監督員事務所の規模(単位:㎡)

適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
監督員事務所の仕上げ					
部 位 等	仕 上 げ				
床	合板張り又はビニール床シート張り				
内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り				
屋根	装浴融重鉛めつき銅板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り				

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	個	個	台	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

⑦ 仮設便所

構内既存の施設・利用できる○利用できない

⑧ 工事用水

構内既存の施設○利用できる（・有償○無償）・利用できない

⑨ 工事用電力

構内既存の施設○利用できる（・有償○無償）・利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

⑩ 交通誘導警備員

配置○図示（図面番号：A-9）

アル テ ッ ク 設 計

津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊 藤 公 智

DRAWING BY DATA

原 図：A2

津市立安濃小学校校長寿命化改修工事

改修工事特記仕様書1

A — 2

S： non

3
防水改修工事

1アスファルト防水(3.3.3)～(表3.3.3)～(表3.3.10)

工 法

種 別

施 工 箇 所

・PIB

・B-1

・B-2

・B-3

・PIE

・E-1

・E-2

・P2E

改質アスファルトルーフィングシート

種類

改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による

・()

厚さ

改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による

・()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類

改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による

・()

厚さ

改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による

・()

(3.3.2)

断熱工法の断熱材(P1B1,P2A1,T1B1,P0D1,M3D1,M4D1)

材質

()

・押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A(スキンあり)

・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号

・硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号

厚さ

()

ルーフトレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置

・図示(図面番号:)

(3.3.3)(2)(4)

(3.3.3)(3)

脱気装置(M3D,P0D,P0D1,M3D1,M4D1)

・設ける(設置数量

・図示(図面番号:)

、材質()

・設けない

・仕上塗料

種類()

使用量()

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

・水下80mm以上

・()

床タイル張り

・水下60mm以上

・()

こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ

・a種

・b種

・c種

保護層

・設ける

・設けない

屋上排水溝の適用

・適用する

立上り保護

・乾式保護材()

・れんが(材種

・JIS R1250)

2改質アスファルトシート防水(3.4.2)

改質アスファルトシート

種類

改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による

・()

厚さ

改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による

・()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類

改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による

・()

厚さ

改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による

・()

断熱工法の断熱材(M3AS1,M4AS1,POAS1)

材質、厚さ()

図示

・()

(3.4.3)

(表3.4.1)～(表3.4.3)

③合成高分子系ルーフィングシート防水(3.5.2)

ルーフィングシート

種類

改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による

・()

厚さ

改修標準仕様書(表3.5.1)～(表3.5.3)による

・()

絶縁用シート

・発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状

・図示()

断熱工法の断熱材(POS1,S4S1,S3S1,M4S1)

材質、厚さ()

・図示()

(3.5.3)

(表3.5.1)～(表3.5.3)

脱気装置

・設ける(設置数量

・図示(図面番号: A-16)

、材質(スパルス)

・設けない

(3.5.4)

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合

目地処理

・図示(図面番号:)

増張り

・図示(図面番号:)

機械式固定方法

風圧力に対応した工法

・図示(図面番号:)

保護層の施工

・図示(図面番号:)

防水工事の保証年限

・保証年限10年

・その他()

④塗膜防水(3.6.3)～(表3.6.1)～(3.6.3)(1)

工 法

種 別

施 工 箇 所

仕 上 塗 料

・POX

・X-1

・X-2

・L4X

脱気装置

・設ける(設置数量

・図示(図面番号:)

、材質()

・設けない

(3.6.3)(2)

工 法

種 別

施 工 箇 所

・PIY

・Y-2

・

・P2Y

保護層

・図示(図面番号:)

防水工事の保証年限

・保証年限10年

・その他()

(M4AS,M4AS1,M4C,M4D1)

・行う

・行わない

(L4X)

・行う

・行わない

5既存防水層表面の仕上塗装の除去(3.2.6)(3)(4)～(3.2.6)(3)(4)

⑥シーリング(3.7.2)～(表3.7.1)

(3.7.4～7)

(3.7.8)

7とい(3.8.2)～(表3.8.1)～(表3.8.2)

8アルミニウム製笠木(3.9.2)(3)～(表3.9.1)

(3.9.3)(2)

(3.9.2)(4)～(3.9.3)

材料

種類

材種

施工箇所

・SR-1

シリコーン系

がら留め

・MS-2

変成シリコーン系

建具廻り(内外)

・PS-2

ポリサルファイド系

面台、水廻り

・PU-2

ポリウレタン系

打継目地

工法

・シーリング充填工法

・シーリング再充填工法

・拡幅シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

シーリング材の試験

・簡易接着性試験

・引張接着性試験

・行わない

材質

・硬質ポリ塩化ビニル管(カラー)

・配管用銅管(白管)

・()

とい受金物及び足金物

といの材種

形状

取付け間隔

工 法

・図示(図面番号:)

部材の種類

・押出し250形

・押出し300形

・押出し350形

・板材折曲げ形(本体幅()mm、板厚

・2.0mm

・()

固定金具の間隔(mm)

固定方法

・()

表面処理

・()

工法

既存笠木等の撤去

・図示(図面番号:)

下地補修の工法

・図示(図面番号:)

板材折曲げ形の笠木の取付方法

・図示(図面番号:)

笠木固定金具の工法

・図示(図面番号:)

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

①施工数量調査

・行う

・行わない

調査範囲

・全面

・()

調査項目

・ひび割れ部(・幅0.2mm未満

・0.2mm以上～1.0mm以下

・1.0mm以上超)

・はがれ及びはく落部分

・浮き部

調査方法

・打診、目視及びクラックスケール等(・足場

・ゴンドラ)

報告書

2部(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

②改修工法の種類(4.1.4)～(4.1.5)

外壁

種類

改修工法

・コンリート打放し仕上げ外壁

ひび割れ部

・樹脂注入工法

・ウカットシール材充填工法

・シール工法

欠損部

・()

・樹脂注入工法

・ウカットシール材充填工法

・シール工法

・モルタル塗り仕上げ外壁

ひび割れ部

・充填工法

・モルタル塗替え工法

・アンカーピンニング

・部分エポキシ樹脂注入工法

・全面エポキシ樹脂注入工法

・全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・注入口付アンカーピンニング

・部分エポキシ樹脂注入工法

・全面エポキシ樹脂注入工法

・全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・充填工法

・モルタル塗替え工法

ひび割れ部

・樹脂注入工法

・ウカットシール材充填工法

欠損部

・タイル部分張替え工法

・タイル張替え工法

・アンカーピンニング

・部分エポキシ樹脂注入工法

・全面エポキシ樹脂注入工法

・全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・注入口付アンカーピンニング

・部分エポキシ樹脂注入工法

・全面エポキシ樹脂注入工法

・エポキシ樹脂注入タイル固定工法

・タイル部分張替え工法

・タイル張替え工法

目地

・目地ひび割れ部改修工法

・伸縮調整目地改修工法

・薄付け仕上塗材塗り

・厚付け仕上塗材塗り

・複層仕上塗材塗り

・可とう形改修用仕上塗材塗り

・各種塗料塗り

・マステック塗材塗り

・外壁用塗膜防水材塗り

・塗り仕上げ外壁

新規仕上げ

③改修工法等(4.2.2)(1)～(4.3.4)～(4.4.5)～(4.5.5)

(4.2.2)(2)～(4.3.5)～(4.4.6)～(4.5.6)

(4.2.2)(3)～(4.3.6)～(4.4.7)

(4.2.2)(4)～(4.3.7)～(4.4.8)

(4.2.2)(7)～(4.4.9)

(4.2.2)(5)～(4.4.10)～(図4.4.1)

(4.2.2)(5)～(4.4.11)～(図4.4.2)

(4.2.2)(5)～(4.4.12)～(図4.4.2)

(4.2.2)(6)～(4.4.13)～(図4.4.3)

(4.2.2)(6)～(4.4.14)～(図4.4.4)

(4.2.2)(8)～(4.5.7)～(表4.5.4)

(4.2.2)(8)～(4.5.8)～(表4.5.4)

(4.5.15)

(4.2.2)(9)～(4.5.16)

・樹脂注入工法

種類

・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

注入量(25ml)

注入間隔(200、250mm)

・手動式エポキシ樹脂注入工法

注入量()

注入口間隔()

・機械式エポキシ樹脂注入工法

注入量()

注入口間隔()

材質

エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)

・低粘度形

・中粘度形

コア抜取検査

・行う

・行わない

・抜取り個数()

・抜取り部分補修方法()

・ウカットシール材充填工法

材質

・シーリング用材充填

(・PU-1

・PU-2

・()

・可とう性エポキシ樹脂充填

シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填

・行う

・行わない

・シール工法

材質

・パテ状エポキシ樹脂

・可とう性エポキシ樹脂

・充填工法

材質

・エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法

材質

・現場調査材料

・既調査材料

・既製目地材の適用及び形状()

・仕上げ厚()

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数

・標準

・()

材質

・ステンレス鋼(SUS304)

・()

・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数

・標準

・()

材質

・ステンレス鋼(SUS304)

・()

・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数

・標準

・()

材質

・ステンレス鋼(SUS304)

・()

・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数

・標準

・()

材質

・ステンレス鋼(SUS304)

・()

呼び径

・6mm

・()

・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数

・標準

・()

材質

・ステンレス鋼(SUS304)

・()

呼び径

・6mm

・()

・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置

・標準

・()

材質

・ポリマーセメントスラリー()

・注入口付アンカーピン(・ステンレス鋼(SUS304)

・()

呼び径

・6mm

・()

・タイル部分張替え工法

張替え材料

・ポリマーセメントモルタル

・接着剤(一液反応硬化形変成シリコーン樹脂)

・()

・役物(・一体成形

・接着加工)

・試験張り

・行う

・行わない

・見本焼き

・行う

・行わない

・既調査モルタル

・使用する

・使用しない

・タイル張替え工法

施工箇所

形状

寸法

耐滑り性

標準・特注色の別

耐凍害性の有無

・外装

タイル

小口以上二丁掛け以下

・密着張り

・改良積み上げ張り

7～10

・改良圧着張り

下地側

4～6

タイル側

3～4

・ユニットタイル

・25mm角を超え小口未満

・マスク張り

3～4

・モザイクタイル貼り

3～5

・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法

注入口付アンカーピンの本数(本)

・目地ひび割れ部改修工法

・伸縮調整目地改修工法

伸縮調整目地

(位置

寸法

×)


































検査

シーリング接着性試験

・行う(・簡易接着性試験

・引張接着性試験)

(6.5.2)(3)(4)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ １５％以下 ・ （ ）											
(6.5.2)(4)(7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材											
	部位	品名・寸法 ・ 図示（図面番号： ）	表面の品質 ・ （ ）	防虫処理 ・ （ ）								
(6.5.2)(4)(4)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ １４％以下 ・ （ ）											
(6.5.2)(5)	「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示（図面番号： ）											
(6.5.2)(6)	・ 合板等											
	品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等 厚さ						
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ （ ）											
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示（図面番号： ）											
(6.5.5)(1)	・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示（図面番号： ） 保存処理性能区分（ ） 薬剤の塗布等の処理方法（ ） 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する（ ・ 薬剤の種類（ ） ・ 適用部材（ ）） ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（ ）											
(6.5.5)(2)	・ 防虫処理 ・ 図示（図面番号： ）											
⑤ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 ○ 屋内 ・ 19形 ・ （ ） ・ 屋外 ・ 25形 ・ （ ）											
(表6.6.1)	形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ） ・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ） ・ ふところ≧1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示（図面番号： ）											
(6.6.4)	既存埋込みインサート ・ 使用する ○ 使用しない（※使用する場合は、確認試験を行う） 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う（図示（図面番号： ）） ○ 行わない ・ 確認試験の箇所数（ 箇所） ・ 確認強度（ ） 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示（図面番号： ）											
⑥ 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示（図面番号： A-26～33 ）											
⑦ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り	材料 ○ ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系床材）】											
	種類の記号	色柄	厚さ	備考								
(6.8.2)	F S	マーブル	2.5mm									
(6.8.2)(1)												
(6.8.2)(2)	・ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系床材）】											
	種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考							
(6.8.2)(3)(7)(4)	K T											
(6.8.2)(3)(7)(4)	・ 帯電防止床シート又は床タイル											
	種類	性能	寸法	厚さ	備考							
(6.8.2)(3)(7)												
(6.8.2)(3)(7)	・ 視覚障害者用床タイル											
	種類	形状	備考									
(6.8.2)(3)(7)	ビニル床タイル											
	300×300×7.0mm											
(6.8.2)(3)(7)												

8	(6.8.3)(2)(㊦)	ギニル床シート張り 熱溶接工法  適用する ・ 適用しない																							
	8 カーペット敷き (6.9.3)(1) (表6.9.1)	・ 織じゅうたん <table border="1"> <tr> <th>種別</th><th>糸の種類</th><th>パイルの形状</th><th>帯電性</th><th>品質の程度</th><th>色柄</th></tr> <tr> <td>・ A種</td><td>・ ソモ</td><td>・ カットパイル</td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td><td>・ ()</td><td>・ 無地</td></tr> <tr> <td>・ B種</td><td>・ 紡糸</td><td>・ ループパイル</td><td></td><td></td><td>・ 柄物</td></tr> <tr> <td>・ C種</td><td>・ ()</td><td>・ カット、ループ併用</td><td>・ ()</td><td></td><td></td></tr> </table> 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)	種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄	・ A種	・ ソモ	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地	・ B種	・ 紡糸	・ ループパイル			・ 柄物	・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()	
種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄																				
・ A種	・ ソモ	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地																				
・ B種	・ 紡糸	・ ループパイル			・ 柄物																				
・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()																						
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	・ タフテッドカーペット <table border="1"> <tr> <th>パイルの形状</th><th>パイル長(mm)</th><th>帯電性</th><th>工法</th><th>品質の程度</th></tr> <tr> <td>・ カットパイル</td><td></td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td><td>・ 全面接着工法</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td>・ ループパイル</td><td></td><td>・ ()</td><td>・ グリッター工法</td><td></td></tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()	・ ループパイル		・ ()	・ グリッター工法		・ カット、ループ併用								
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																					
・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()																					
・ ループパイル		・ ()	・ グリッター工法																						
・ カット、ループ併用																									
(6.9.2)(3)	・ ニードルパンチカーペット <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr> <tr> <td></td><td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>・ ()</td><td></td></tr> </table>	厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下			・ ()																
厚さ(mm)	帯電性	備考																							
	・ 人体帯電圧 3KV以下																								
	・ ()																								
(6.9.2)(4) (表6.9.2)	・ タイルカーペット <table border="1"> <tr> <th>種類</th><th>パイルの形状</th><th>寸法(mm)</th><th>総厚さ(mm)</th><th>品質の程度</th></tr> <tr> <td></td><td>・ カットパイル</td><td>・ 500×500</td><td>・ 6.5</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td></td><td>・ ループパイル</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr> </table>	種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()		・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()									
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																					
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()																					
	・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()																					
(6.9.2)(5)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()																								
(6.9.2)(6)	見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示(図面番号:))																								
(6.9.3)(3)	織じゅうたんの接合法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()																								
(6.9.3)(5)	タイルカーペットの敷き方 <table border="1"> <tr> <td>平場</td><td>・ 市松敷き</td><td>・ 模様流し</td><td>・ ()</td></tr> <tr> <td>階段部分</td><td>・ 市松敷き</td><td>・ 模様流し</td><td>・ ()</td></tr> </table>	平場	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()	階段部分	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()																
平場	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()																						
階段部分	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ()																						
9	合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																							
	(6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)～ (表6.10.8)	エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流しのべ仕上げ(・ 平滑 防滑) ・ 厚膜流しのべ仕上げ(・ 平滑 防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ(・ 平滑 防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ(・ 平滑)																							
10	フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)	・ 釘留め工法 <table border="1"> <tr> <th>材料</th><th>種別</th><th>樹種</th></tr> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td><td></td><td rowspan="3"> ・ なら ・ () </td></tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td><td> ・ A種 ・ B種 ・ C種 </td></tr> <tr> <td>防湿処理 ・ 図示(図面番号:)</td><td></td></tr> </table>	材料	種別	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種	防湿処理 ・ 図示(図面番号:)														
材料	種別	樹種																							
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら ・ ()																							
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種																								
防湿処理 ・ 図示(図面番号:)																									
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	・ 接着工法 <table border="1"> <tr> <th>材種</th><th>樹種</th><th>厚さ</th><th>大きさ</th></tr> <tr> <td>・ フローリングボード(直張用)</td><td rowspan="3"> ・ なら ・ () </td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr> <tr> <td>・ フローリングブロック(直張用)</td></tr> <tr> <td>・ 複合フローリング(直張用)</td></tr> <tr> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示(図面番号:)	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード(直張用)	・ なら ・ ()			・ フローリングブロック(直張用)	・ 複合フローリング(直張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種													
材種	樹種	厚さ	大きさ																						
・ フローリングボード(直張用)	・ なら ・ ()																								
・ フローリングブロック(直張用)																									
・ 複合フローリング(直張用)																									
・ A種 ・ B種 ・ C種																									
(6.11.6)(3)	塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り ・ 生地そのままワックス塗り ・ ()																								
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ D種の畳床 K Tー (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)																								
⑫	せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)	<table border="1"> <tr> <th>材種</th><th>種別</th><th>厚さ(mm)</th></tr> <tr> <td rowspan="2"> せっこうボード</td><td rowspan="2"> ・ 普通  強化  耐水 </td><td> 壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)  21.0(不燃) </td></tr> <tr> <td> 天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃) </td></tr> <tr> <td rowspan="4"> 化粧せっこうボード</td><td rowspan="2">  トラバーチン模様 ・ 木目模様 </td><td> ・ 9.5(不燃)  9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃) </td></tr> <tr> <td> ・ 普通 ・ 9() ・ () </td></tr> <tr> <td> ・ ロックウール化粧吸音板 ・ 立体模様 </td><td> ・ 9() ・ () </td></tr> <tr> <td> 化粧けい酸カルシウム板</td><td> 6.0</td></tr> </table>	材種	種別	厚さ(mm)	 せっこうボード	・ 普通  強化  耐水	壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)  21.0(不燃)	天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)	 化粧せっこうボード	 トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃)  9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	・ 普通 ・ 9() ・ ()	・ ロックウール化粧吸音板 ・ 立体模様	・ 9() ・ ()	 化粧けい酸カルシウム板	 6.0								
材種	種別	厚さ(mm)																							
 せっこうボード	・ 普通  強化  耐水	壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)  21.0(不燃)																							
		天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)																							
 化粧せっこうボード	 トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃)  9.5(準不燃) ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																							
		・ 普通 ・ 9() ・ ()																							
	・ ロックウール化粧吸音板 ・ 立体模様	・ 9() ・ ()																							
	 化粧けい酸カルシウム板	 6.0																							
(6.13.2)(8)	遮音シール材 ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド																								
	合板類の張付け ・ A種 ・ B種																								
	せっこうボードの目地工法  継目処理  突付け ・ 目透し																								
⑬	壁紙張り (6.14.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th><th>種類</th><th>防火性能</th></tr> <tr> <td>玄関ホール</td><td>中級品</td><td> 不燃 ・ 準不燃</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>・ 不燃 ・ 準不燃</td></tr> </table>	施工箇所	種類	防火性能	玄関ホール	中級品	 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃			・ 不燃 ・ 準不燃											
施工箇所	種類	防火性能																							
玄関ホール	中級品	 不燃 ・ 準不燃																							
		・ 不燃 ・ 準不燃																							
		・ 不燃 ・ 準不燃																							

	④	モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル・現場調合材料・既調合材料 既製目地材・使用する(形状:) 床の目地・図示(図面番号:) 下地処理・壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示(図面番号:)																										
	⑤	タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	伸縮調整目地 位置・図示(図面番号:)																										
			タイルの種類																										
			<table> <tr> <th>施工箇所</th><th>工 法</th><th>種 類</th><th>形状寸法</th><th>耐滑り性</th><th>うわぐすり</th><th>役 物</th><th>標準・特注色の別</th><th>耐凍害性の有無</th></tr> <tr> <td>便所</td><td>湿式</td><td>磁器質</td><td>300角</td><td>—</td><td>無釉</td><td>—</td><td>標準</td><td>—</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注色の別	耐凍害性の有無	便所	湿式	磁器質	300角	—	無釉	—	標準	—								
施工箇所	工 法	種 類	形状寸法	耐滑り性	うわぐすり	役 物	標準・特注色の別	耐凍害性の有無																					
便所	湿式	磁器質	300角	—	無釉	—	標準	—																					
(6.16.3)(2)		試験張り・行う・行わない 見本焼き・行う・行わない 既調合モルタル・使用できる・使用できない																											
	16	セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	・ せっこう系・セメント系 塗厚()mm																										
	17	断熱材 (9.5.2)	断熱材打込み工法																										
	(9.5.3)		<table> <tr> <th>種類</th><th>種別</th><th>厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ A種硬質ウレタンフォーム				・ フェノールフォーム									
種類	種別	厚さ (mm)	施工箇所																										
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																													
・ 押出法ポリスチレンフォーム																													
・ A種硬質ウレタンフォーム																													
・ フェノールフォーム																													
			断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)																										
			<table> <tr> <th>種類</th><th>厚さ [mm]</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ A種 1</td><td></td><td>・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版</td></tr> <tr> <td>・ A種 1 H</td><td>・ ()</td><td>下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td></tr> <tr> <td>・ ()</td><td></td><td>・ ()</td></tr> </table>	種類	厚さ [mm]	施工箇所	・ A種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版	・ A種 1 H	・ ()	下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ ()		・ ()														
種類	厚さ [mm]	施工箇所																											
・ A種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版																											
・ A種 1 H	・ ()	下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																											
・ ()		・ ()																											
7 装 装 改 修 工 事	①	材料 (7.1.3)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)																										
	②	下地調整 (7.2.1～7.2.7) (表7.2.1)～ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR B種の場合) ・ 図示(図面番号:)																										
			種類																										
			<table> <tr> <th>下地</th><th>種別</th><th>ひび割れ部の補修</th></tr> <tr> <td>・ 木部</td><td>・ RA種・RB種・RC種</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td><td>・ RA種・RB種・RC種</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td><td>・ RA種・RB種・RC種</td><td></td></tr> <tr> <td>・ モルタル、プラスター面</td><td>・ RA種・RB種・RC種</td><td>・ 行う</td></tr> <tr> <td>・ コンクリート、ALCパネル面</td><td>・ RA種・RB種・RC種</td><td>・ 行う</td></tr> <tr> <td>・ コンクリート、押出成形セメント板面</td><td>・ RA種・RB種・RC種</td><td>・ 行う</td></tr> <tr> <td>・ せっこうボード、その他ボード面</td><td>・ RA種・RB種・RC種</td><td></td></tr> </table>	下地	種別	ひび割れ部の補修	・ 木部	・ RA種・RB種・RC種		・ 鉄鋼面	・ RA種・RB種・RC種		・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種・RB種・RC種		・ モルタル、プラスター面	・ RA種・RB種・RC種	・ 行う	・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種・RB種・RC種	・ 行う	・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種・RB種・RC種	・ 行う	・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種・RB種・RC種			
下地	種別	ひび割れ部の補修																											
・ 木部	・ RA種・RB種・RC種																												
・ 鉄鋼面	・ RA種・RB種・RC種																												
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種・RB種・RC種																												
・ モルタル、プラスター面	・ RA種・RB種・RC種	・ 行う																											
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種・RB種・RC種	・ 行う																											
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種・RB種・RC種	・ 行う																											
・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種・RB種・RC種																												
③	錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.1)～ (表7.3.4)	錆止め塗料種別 鉄鋼面・A種・B種 亜鉛めっき鋼面・A種・B種・C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面・A種・B種・C種 亜鉛めっき鋼面・A種・B種・C種																											
④	合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3～7.4.5) (表7.4.1)～ (表7.4.3)	塗料種別・1種・() 種類																											
		<table> <tr> <th>下地</th><th>種別</th></tr> <tr> <td>・ 木部</td><td>・ A種・B種・C種</td></tr> <tr> <td>・ 鉄鋼面</td><td>・ A種・B種・C種</td></tr> <tr> <td>・ 亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A種・B種・C種</td></tr> </table>	下地	種別	・ 木部	・ A種・B種・C種	・ 鉄鋼面	・ A種・B種・C種	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種・B種・C種																			
下地	種別																												
・ 木部	・ A種・B種・C種																												
・ 鉄鋼面	・ A種・B種・C種																												
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種・B種・C種																												
5	クリヤラッカー塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1)	種類 木部・A種・B種																											
6	アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種類 ・ A種・B種																											
⑦	耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)～ (7.8.4) (表7.8.1)～ (表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系)・2級(シリコン系)・3級(ポリウレタン系)																											
		<table> <tr> <th>下地</th><th>種別</th></tr> <tr> <td>鉄鋼面</td><td>・ A種・B種・C種</td></tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A種・B種・C種</td></tr> <tr> <td>コンクリート面及び</td><td>・ A－1種・A－2種</td></tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td><td>・ B－1種・B－2種</td></tr> <tr> <td></td><td>・ C－1種・C－2種</td></tr> </table>	下地	種別	鉄鋼面	・ A種・B種・C種	亜鉛めっき鋼面	・ A種・B種・C種	コンクリート面及び	・ A－1種・A－2種	押出成形セメント板面	・ B－1種・B－2種		・ C－1種・C－2種															
下地	種別																												
鉄鋼面	・ A種・B種・C種																												
亜鉛めっき鋼面	・ A種・B種・C種																												
コンクリート面及び	・ A－1種・A－2種																												
押出成形セメント板面	・ B－1種・B－2種																												
	・ C－1種・C－2種																												

8 の 5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事	(あと施工アンカー)	
	種類	・ 金属系 セット方式 ・ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号 :) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号 :) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号 :) (表8.2.2) 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号 :) ・ 接着系 アンカーの種類 ・ カプセル型回転・打撃系 ・ () 接着剤の品質 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号 : A-18) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号 :) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号 :) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号 :) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号 :) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	1 あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	
	2 あと施工アンカーの施工 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)	穿孔 埋込み配管等の探索の方法 ・ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない 試験方法 ・ 引張試験機による引張試験 ・ () 1 ロットの単位 ・ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ () 試験の箇所数 ・ 1ロットに対し3本(無作為) ・ () 確認強度 ・ ()
	(場所打ちコンクリート壁の増設工事)	場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ・ () 彫込み深さ[mm] ・ 5 d (d: シアコネクタの径)以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500
	3 シアコネクタ	シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()

	すべり試験 ・ 行う（試験方法等 図示（図面番号： ））
	JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの5倍を超える場合の回転量 ・ （ ）
5 溶接材料 (8.2.10)	・ 改修標準仕様書(8.2.10)(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 図示（図面番号： ）
6 仮組 (8.13.10)	仮組の実施 ・ 実施する（ ） ・ 実施しない
7 溶接作業を行う 技能資格者 (8.15.3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する（ ） ・ 実施しない
8 溶接の準備 (8.15.4)	開先の形状 図示（図面番号： ）
9 溶接施工 (8.15.7)	鋼製エンドタブの切断 適用箇所 図示（図面番号： ） 切断面の仕上げ （ ） 鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ（セラミックタブ又はフラックスタブ）を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による図形タブに係るエンドタブ施工講習修了者（溶接技能者・A級以上）又はAWW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者としてすること。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAWW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者としてすること。
	板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示（図面番号： ） スラップの形状 図示（図面番号： ）
10 溶接部の試験 (8.15.12)	溶接部の外観試験 試験方法（ ） 確認方法（ ） 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書（平成31年版）(7.6.12)(4)による。 平均出検品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・ （ ） 検査水準 ・ 第6水準 ・ （ ） ロットの構成（ ） 工事現場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書（平成31年版）(7.6.12)(4)による。 平均出検品質限界(AOQL) ・ 4.0% ・ （ ）

1

1 1

鉄骨の錆止め塗装
(8.17.2)
(8.17.4)

2

2 1

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
・ 改修標準仕様書(7.3.2)（表7.3.1）（ ）種
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示（図面番号： ）
・ 改修標準仕様書(7.3.2)（表7.3.1）（ ）種
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示（図面番号： ）

3

3 1

耐火被覆材の種類及び性能
(8.18.2)
(8.18.3)

4

4 1

部位

種類

材料・工法

耐火性能

5

5 1

ブレース設置工事後の仕上げ
(8.22.9)

・ 図示（図面番号： ）

6

6 1

スタッド
(8.2.11)

スタッドの種類 ・ （ ）

7

8
の
7

8

8 1

（グラウト工事）
モルタル及びグラウト材
(8.2.6)
(8.2.12)
(表8.2.5)
(表8.2.10)

構造体用モルタル
・ 改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.12)による。

無収縮モルタル
・ 改修標準仕様書(8.2.12)（1）による
・ （ ）

グラウト材
・ 改修標準仕様書(8.2.12)（1）による。

9

9 1

（現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等）

増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法

10

10 1

部位

処理方法

備考

11

11 1

増設壁の上部

・ グラウト材を注入
・ （ ）

・ 寸法は図示による

12

12 1

・ （ ）

・ （ ）

・ （ ）

13

13 1

既存構造体との取合部の処理方法
(8.21.9)
(8.22.7)

8 の 8		耐震改修工事 柱補強工事	
8 の 8	耐震改修工事 柱補強工事	(連続繊維補強工事)	連続繊維による補強、補修工法
		1 連続繊維シート等による工法 (8. 24. 1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ (財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・ ()
		2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8. 2. 13)	連続繊維の材料 <ul style="list-style-type: none"> ・ () 工法 <ul style="list-style-type: none"> ・ () 引張強度（含浸硬化後） <ul style="list-style-type: none"> ・ () ヤング係数（含浸硬化後） <ul style="list-style-type: none"> ・ ()
		3 連続繊維シートの施工準備	仕上げモルタルの除去 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存構造躯体面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・ () 既存モルタルの圧縮強度測定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う () ・ 行わない ひび割れ部の改修工法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 樹脂注入工法 ・ リカットシール材充填工法 ・ シール工法
		4 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8. 23. 6)	柱頭柱脚の隙間寸法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示（図面番号：)
		5 耐震補強後の仕上げ (8. 23. 7) (8. 24. 5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図示（図面番号：)
		6 炭素繊維シートの施工	炭素繊維の目付量 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示（図面番号：) ・ 200g/m² ・ 300g/m² ・ () 炭素繊維シートの巻き数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示（図面番号：) ・ 1巻き ・ 2巻き ・ ()
8 の 8	耐震改修工事 柱補強工事	7 連続繊維補強材の強度試験 (8. 24. 6)	引張強度試験 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施する（JIS A1191に準拠する） 試験数量 () ・ 実施しない

8
の
9

耐震補強工事

スリット新設工事

免震改修工事

制振改修工事

耐震スリット新設工事

1スリットの種類

(8.25.1)

(8.25.2)

付着強度試験

・実施する（JIS A6909に準拠する）

試験数量（）

・実施しない

耐震スリットの種類及び形状

完全スリットの形状

	一般型	一面せん断型	
記号			
形状	・図示（図面番号：）	・図示（図面番号：）	
幅W（mm）	・図示（図面番号：） ・（）	・図示（図面番号：） ・（）	
既存鉄筋の処理	・既存鉄筋はつり出し ・切断してよい ・（）	・切断してよい ・（）	

部分スリットの形状

	片側スリット	両面スリット	
記号			
形状	・図示（図面番号：）	・図示（図面番号：）	
幅W（mm）	・図示（図面番号：） ・（）	・図示（図面番号：） ・（）	
目地部の残存厚さ	・壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・壁厚の1/2以下かつ70mm以下	
ts（mm）	・（）	・（）	
既存鉄筋の処理	・存置する ・既存鉄筋はつり出し ・切断してよい ・（）	・存置する ・切断してよい	

2スリットの施工

スリット部の配管等の調査

範囲

・スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。

・図示（図面番号：）

・（）

方法

・鉄筋探査機（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

スリットの鑑け位置

壁上端部

・梁との接合部（）

壁の柱きわ部

・柱の仕上げを逃けたきわ部（）

壁下端部

・床仕上げ上部（）

・床体上部（）

撤去部の補修

・図示（図面番号：）

充填材

・耐火材 使用箇所（）仕様（）

・遮音材 使用箇所（）仕様（）

(8.26.1)～(8.27.9)

免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。

8
の
10

その他工事

1土工事

(8.28.2)

(8.28.3)

既存杭の撤去

・図示（図面番号：）

埋戻し及び盛土の材料及び工法

・A種

・B種

・C種

・D種

建設発生土の処理

・自由処分

・処分地指定 処分地（）

・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km

山留めの撤去

・撤去（鋼矢板等の抜き跡の処理（）直ちに砂で充填する（））

・存置

2地業工事

(8.28.4)

杭の施工監理

杭工事特記仕様書による。

適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。

国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）

施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項（第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

試験杭及び試験据

・試験杭 位置、本数及び寸法は図示（図面番号：）による。

・試験据 位置、本数及び寸法は図示（図面番号：）による。

杭の支持層

支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ（）（）

水平方向の位置ずれの精度

・（）mm以下

杭の載荷試験

試験方法

・鉛直載荷

・水平載荷（）

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。

位置

・図示（図面番号：）

・載荷荷重（kN）

報告書

・提出部数 2部

9環境配慮改修工事

①石綿含有建材の除去工事(9.1.1)

地盤の載荷試験
試験方法 ・ 平板載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・ 提出部数 2部
杭地業の工法、寸法
・ 図示(図面番号:)
杭頭処置
・ 行う ・ 行わない
砂利及び砂地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 60 ・ ()
捨てコンクリート地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 50 ・ ()

施工調査
・ 石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告する。
調査範囲 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
貸与資料 ()
・ 分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法
・ JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による
・ JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による
・ JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による
・ JIS A 1481-4(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第4部:質量法及び顕微鏡法によるアスベストの定量分析方法)による

材料名	定性分析	定量分析
	・ 箇所数()	・ 箇所数()
	・ 箇所数()	・ 箇所数()
	・ 箇所数()	・ 箇所数()
	・ 箇所数()	・ 箇所数()

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
採取箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ 石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	計 点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点
・	測定 4		負圧・除じん装置の排出吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置
・	測定 5		処理作業室外(敷地境界)	計 点
・	測定 6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点
・	測定 7	処理作業後シート撤去後 1 週間	処理作業室内	計 点
・	測定 8	以降	調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()

(9.1.3) ・ 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ ()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・ 湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.4) ・ 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ()
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)

(9.1.5) ・ 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ○ 図示(図面番号: A-11)
石綿含有せっこうボードの処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場)
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
○ 埋立処分(安定型最終処分場) ○ 中間処理(熔融又は無害化による)
・ 石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(熔融又は無害化による)
※「石綿含有仕上塗材の除去等作業における石綿飛散防止対策について」(平成29年5月30日付け環水大発第1705301号)及び「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」(平成28年4月28日 国立研究開発法人 建築研究所)に基づき適切に処理すること。

2 断熱アスファルト防水改修工事(9.2.1)~(9.2.3)

改修特記仕様書3章による

3 外断熱改修工事(9.3.2)

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ロックウール断熱材	
・ グラスウール断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3) 既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()

(9.3.4) 工法
通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ()
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない
不陸等の下地調整 ・ 行う

4 断熱・防露改修工事(9.5.2)

断熱材打込み工法

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

(9.5.3) ・ 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ ()
厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ ()
施工箇所 ・ 図示(図面番号:)

・ 現場発泡断熱材
(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4) ・ 断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ ()	・ 有 ・ 無	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

5 屋上緑化改修工事(9.6.1)(9.6.2)

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
・ 適用する ・ 適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

(9.6.3) 工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない
かん水装置 ・ 設置する(種類 ・)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

6 透水性アスファルト舗装改修工事(9.7.2)~(9.7.7)(9.7.9)

既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
路床

路床の材料

種別	材料	厚さ[mm]
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(7μmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰(・特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・特号 ・ 1号)
添加量(kg/m2)(目標CBR ・ 5以上 ・)
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ ()
厚さ[mm] ・ 0.5~1.0 ・ ()
引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・ ()
透水係数 ・ 1.5×10⁻²~1cm/sec 以上 ・ ()

試験
路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CB試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ ()
路盤材料 ・ 再生材のクラッシャーラン
・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ
・ 図示(図面番号:)
・ ()

試験
路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
・ ストレートアスファルト ・ 改質アスファルト (・I型 ・ II型 ・ ()型)	・ 図示(図面番号:) ・ ()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平たん性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY

DATA

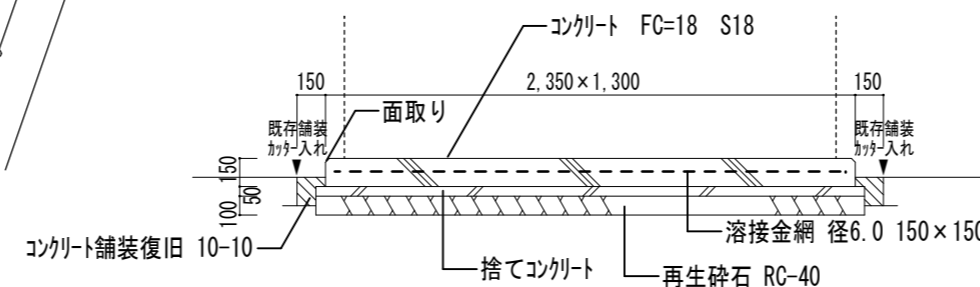
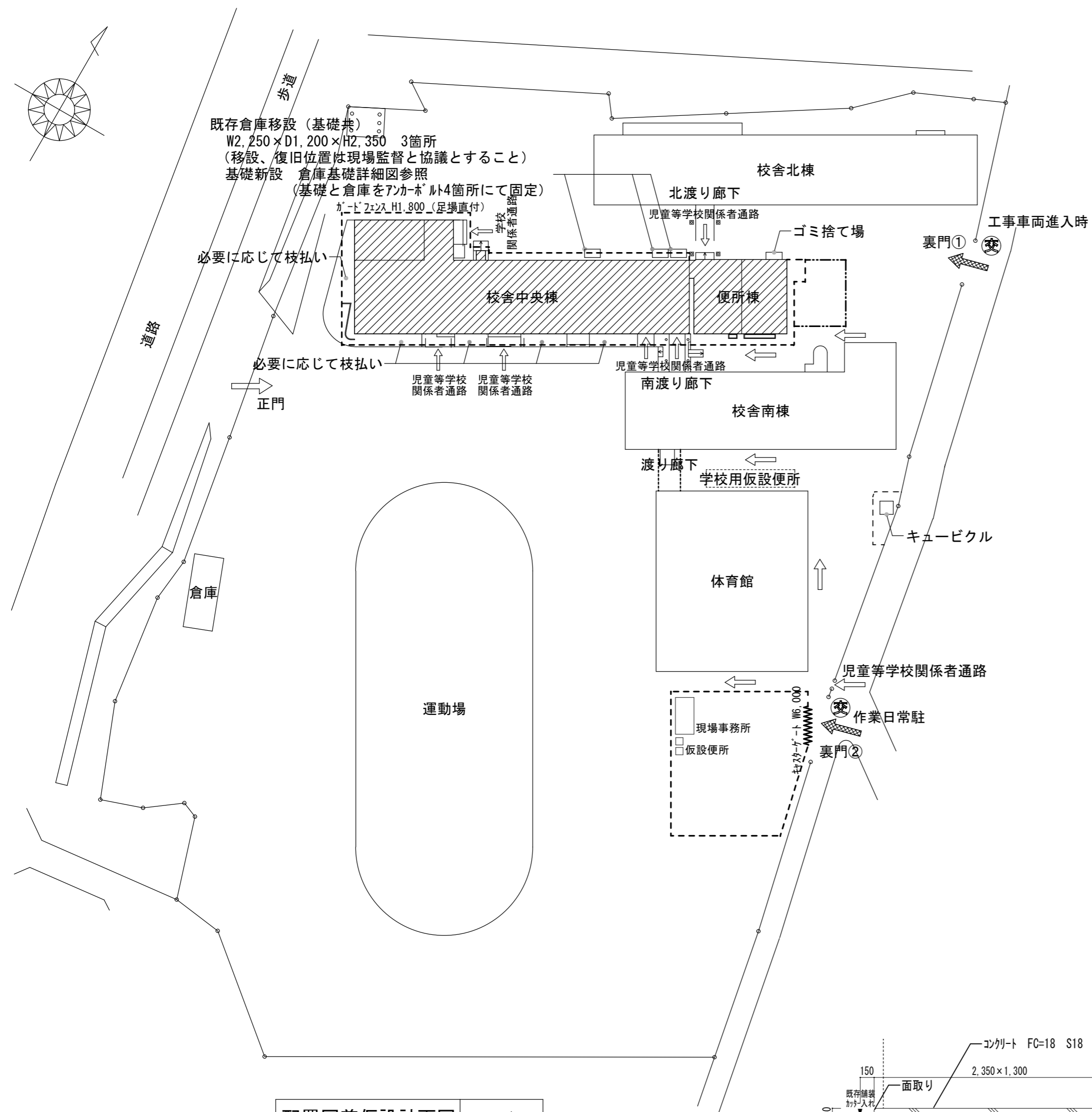
原図: A2

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

改修工事特記仕様書 7

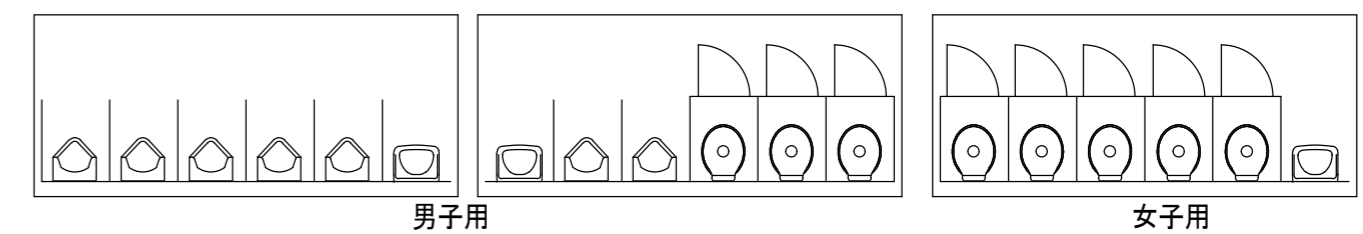
A - 8

S: non



- <注記>

1. 強風等で転倒しないように敷地に固定すること。
2. 設置及び撤去作業時は、仮囲い（A型バリケード＋トラロープ）を設置し、安全確保に十分に注意すること。
3. 仮設便所の位置は、現地を調査し監督員と十分協議すること。
4. 仮設便所はユニット型水洗式（照明付）とし、給排水工事は受注者で行うこと。
5. 渡り廊下から仮設便所の出入りについては雨に濡れずに行き来出来るよう単管+塩ビ波板等で雨よけ用通路を設置すること。

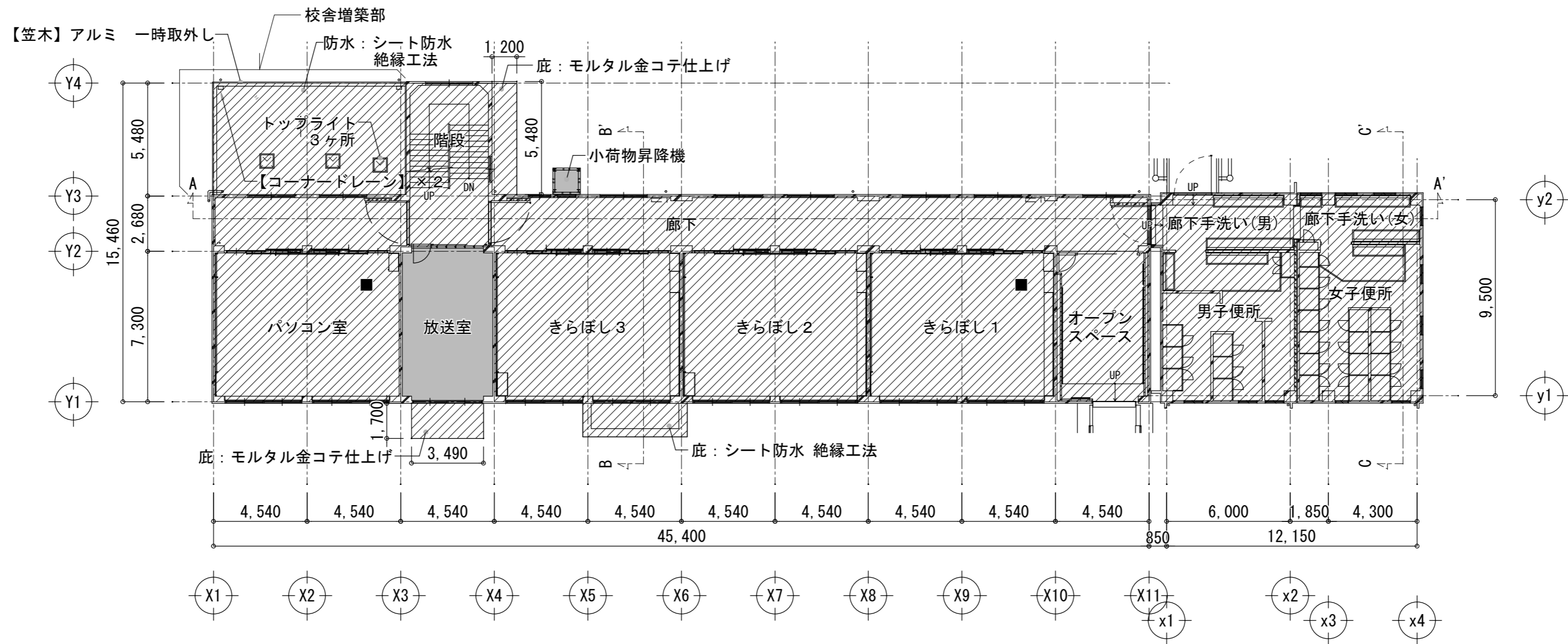


【※仮設便所設置期間：夏休み工事～1階男子・女子便所引き渡し】

外部仕上表（改修前）						※ 表内網掛部はアスベスト含有資材を示す。					
屋上防水	吹抜け	塗膜防水	庇	玄関	シート防水 絶縁工法						
	階段	【アスファルト露出防水】		R階	【シート防水 密着工法】						
	校舎増築部	シート防水 絶縁工法		その他	モルタル金コテ仕上げ						
	その他	シート防水 絶縁工法	雨樋	竖樋	カラーV P φ100（一部撤去）						
防水立上り	吹抜け	塗膜防水	庇裏		外装薄塗材E コンクリート打放し下地						
	階段	【アスファルト露出防水】	外壁	校舎本体	外装薄塗材E モルタル下地						
	校舎増築部	【シート防水 密着工法】		校舎増築部	A L Cパネル t=100 複層塗材E						
	その他	【シート防水 密着工法】		玄関腰壁	300角磁器質タイル モルタル下地						
屋上その他	ルーフドレーン	【鑄鉄製 φ100】		小荷物昇降機	ケイカル積層板 t=30 A E P						
	コーナードレーン	【鑄鉄製 φ100】		便所棟	外装薄塗材E モルタル下地						
	防水アゴ	塗膜防水		巾木	モルタル刷毛引き仕上げ						
	笠木	アルミ	犬走り	コンクリート金コテ仕上げ							
		【カラーG L鋼板】	換気孔	壁換気孔	パンチングメタル S O P						
	フェンス	【スチールネットフェンス O P】切断撤去	EXP. J		SUS製 1時間耐火（内部のみ一部撤去）						
		【縦格子フェンス O P】切断撤去									
外部仕上表（改修後）											
屋上防水	吹抜け	《水洗いの上 塗膜防水(X-2)》	庇	玄関	《水洗いの上 シート防水(S-M2)》						
	階段	《下地調整の上 シート防水(S-M2)》		R階	《下地調整の上 塗膜防水(X-2)》						
	校舎増築部	《水洗いの上 シート防水(S-M2)》		その他	《水洗いの上 塗膜防水(X-2)》						
	その他	《水洗いの上 シート防水(S-M2)》	雨樋	竖樋	《下地調整の上 E P塗替え》						
防水立上り	吹抜け	《水洗いの上 塗膜防水(X-2)》	庇裏		《水洗いの上 外装薄塗材E塗替え》						
	階段	《下地調整の上 シート防水(S-F2)》	外壁	校舎本体	《水洗いの上 複層塗材E塗替え》						
	校舎増築部	《下地調整の上 塗膜防水(X-2)》		校舎増築部	《水洗いの上 複層塗材E塗替え》						
	その他	《下地調整の上 塗膜防水(X-2)》		玄関腰壁	《水洗い》						
屋上その他	ルーフドレーン	《改修用ドレーン φ100》		小荷物昇降機	《水洗いの上 下地調整 複層塗材E塗替え》						
	コーナードレーン	《改修用ドレーン φ100》		便所棟	既存のまま（外装薄塗材E モルタル下地）						
	脱気筒	《SUS製》		穴塞ぎ部	《コンクリート打放し下地 t=150 の上 外装薄塗材E》						
	防水アゴ	《水洗いの上 塗膜防水(X-2)》		補修部	《モルタル金コテ下地 の上 外装薄塗材E》						
	笠木	アルミ		巾木	《水洗い》						
		《カラーG L鋼板》	犬走り		《水洗い》						
	フェンス	《スチールネットフェンス》H=1,500 基礎共	換気孔	壁換気孔	《下地調整の上 D P塗替え》						
			EXP. J		SUS製・アルミ製 1時間耐火（内部のみ一部新設）						
躯体の改修について（パラペット・庇・外壁・巾木・犬走り）			認定番号等			・ 防水下地調整について 撤去跡ケレン清掃の上、ポリマーセメントによる下地調整					
◆躯体ひび割れの改修方法			・ 1時間耐火壁（縦穴区画）：FP060NP-0189 強化石膏ボード t=21+21 片面貼り								
・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法（1mm以下）											
・ Uカットシー ル材充填工法（1mm以上）											
◆躯体浮きの改修方法											
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（一般部：16本/㎡、25ml/穴）											
・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（見上面、庇鼻先、マグサ隅角部：25本/㎡、25ml/穴）											
◆躯体欠損、爆裂の改修方法											
・ 鉄筋防錆の上、樹脂モルタル充填											
◆打継誘発目地、サッシ周囲はシー ル打替えを行う。											
アル テ ッ ク 設 計			DRAWING BY DATA	原図：A2		津市立安濃小学校校長寿命化改修工事	外部仕上表	A — 10			
				【 】内は撤去を示す。 《 》内は新設を示す。 カッコ無しのものは既存のままとする。				S： non			
津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602			一級建築士 第177266号 伊 藤 公 智								

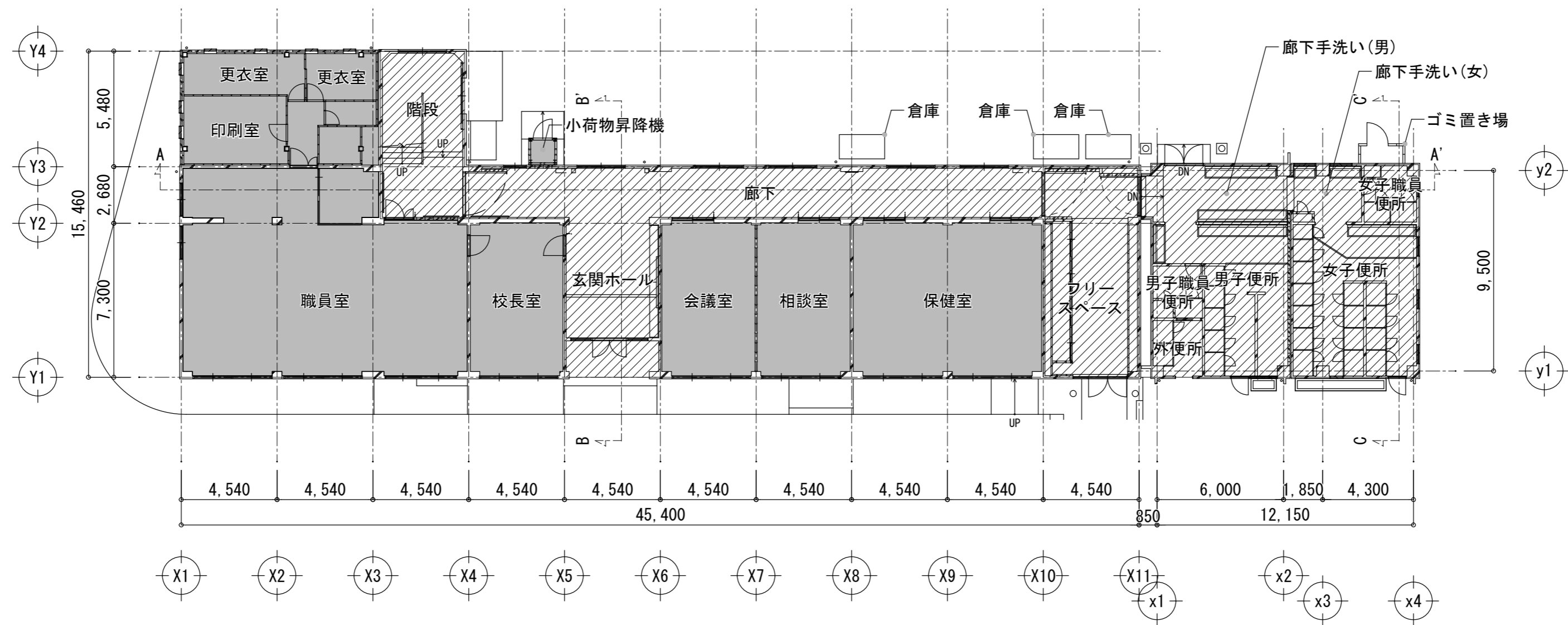
内部仕上表								※ 表内網掛部はアスベスト含有資材を示す。	
室 名	床	巾 木	腰壁	壁	天井高	廻り縁	天 井	備 考	
玄関ホール	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	御影石 H=110	杉板 t=18 H=1,000 壁見切り同材	【ビニルクロス】 モルタル金コテ下地	3,000	塩ビ	化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地		
		木製 H=110 OP塗装							
	200角磁器質タイル モルタル下地	200角磁器質タイル H=110							
フリースペース	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	木製 H=110 OP塗装		モルタル金コテ仕上げ VP ケイカル板 t=8.0 目透かし EP	2,750	塩ビ	化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地		
パソコン室	ナラフローリング t=18 ウレタン塗装 モルタル下地	木製 H=110 OP塗装		モルタル金コテ仕上げ VP	3,270		モルタル金コテ仕上げ VP		
				【掲示用クロス】合板下地残し					
				石膏ボード t=12.5 AEP					
きらぼし1、2、3	ナラフローリング t=18 ウレタン塗装 モルタル下地	木製 H=110 OP塗装		モルタル金コテ仕上げ VP	3,100	木製 SOP	石膏ボード t=9.5 AEP 木製下地		
				【掲示用クロス】合板下地残し					
				石膏ボード t=12.5 AEP					
オープンスペース	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	ソフト巾木 H=100		モルタル金コテ仕上げ VP(吹抜) ケイカル板 t=8.0 目透かし EP	5,750(吹抜) 3,370		モルタル金コテ仕上げ VP		
多目的室 非常物資保管室	ナラフローリング t=18 ウレタン塗装 モルタル下地	木製 H=110 OP塗装		モルタル金コテ仕上げ VP	3,075	木製 SOP	石膏ボード t=9.5 AEP 木製下地		
				【掲示用クロス】合板下地残し					
				石膏ボード t=12.5 AEP					
廊下	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	木製 H=110 OP塗装	杉板 t=18 H=1,000 壁見切り同材	モルタル金コテ仕上げ VP	1階：2,880 2階：2,880 3階：2,780	木製 SOP	石膏ボード t=9.5 AEP 木製下地		
		御影石 H=110		ビニルクロス モルタル金コテ下地					
	人造石研ぎ出し仕上げ コンクリート下地	人造石研ぎ出し仕上げ H=110							
階段	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	木製 H=110 OP塗装		モルタル金コテ仕上げ VP	3階：2,330		モルタル金コテ仕上げ VP		
	人造石研ぎ出し仕上げ コンクリート下地								
廊下手洗い(男) 廊下手洗い(女)	【ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地】	【ソフト巾木 H=100】		モルタル金コテ仕上げ VP	1階：2,400 2階：2,450	【塩ビ】	【化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地】	【撤去】SUS流し台、SUS床見切り 3方枠、内部Exp.J、上り框 化粧鏡	
	【モルタル金コテ仕上げ】			【200角ガラスブロック】					
男子便所 女子便所	【ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地】	【ソフト巾木 H=100】		【モルタル金コテ仕上げ VP】	1階：2,400 2階：2,450	【塩ビ】	【化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地】	【撤去】SUS流し台、上り框、化粧鏡 SUS床見切り	
				【100角磁器質タイル モルタル下地】					
	【20角モザイクタイル モルタル下地】			【200角ガラスブロック】					
男子職員便所 女子職員便所 外便所	【20角モザイクタイル モルタル下地】			【100角磁器質タイル モルタル下地】	2,400	【塩ビ】	【化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地】	【撤去】面台、手洗いカウンター 化粧鏡	
<div>アル テ ッ ク 設 計</div> <div>津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602</div> <div>一級建築士 第177266号 伊 藤 公 智</div> <div>DRAWING BY DATA</div> <div>原図：A2 【 】内は撤去を示す。 《 》内は新設を示す。 カッコ無しのものは既存のままとする。</div> <div>津市立安濃小学校長寿命化改修工事</div> <div>内部仕上表（改修前）</div> <div>A — 11 S： non</div>									

内部仕上表								
室 名	床	巾 木	腰壁	壁	天井高	廻り縁	天 井	備 考
玄関ホール	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	御影石 H=110	杉板 t=18 H=1,000 壁見切り同材	《ビニルクロス》 モルタル金コテ下地	3,000	塩ビ	化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地	
		木製巾木《下地調整の上 S O P再塗装》						
	20角モザイクタイル モルタル金コテ下地	200角磁器質タイル H=110						
フリースペース	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	木製巾木 《下地調整の上 S O P再塗装》		モルタル部分《下地調整の上 E P塗替え》	2,750	塩ビ	化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地	
				《下地調整の上 E P塗替え》				
パソコン室	ナラフローリング t=18 ウレタン塗装 モルタル下地	木製巾木《下地調整の上 S O P再塗装》		《下地調整の上 E P塗替え》	3,270		《下地調整の上 E P塗替え》	
				《掲示用クロス》合板下地再利用				
きらぼし1、2、3	ナラフローリング t=18 ウレタン塗装 モルタル下地	木製巾木《下地調整の上 S O P再塗装》		《下地調整の上 E P塗替え》	3,100	《下地調整の上 S O P再塗装》	《下地調整の上 E P塗替え》	
				《掲示用クロス》合板下地再利用				
オープンスペース	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	ソフト巾木 H=100		《下地調整の上 E P塗替え》	5,750(吹抜) 3,370		《下地調整の上 E P塗替え》	
多目的室 非常物資保管室	ナラフローリング t=18 ウレタン塗装 モルタル下地	木製巾木 《下地調整の上 S O P再塗装》		《下地調整の上 E P塗替え》	3,075	《下地調整の上 S O P再塗装》	《下地調整の上 E P塗替え》	
廊下	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	木製巾木《下地調整の上 S O P再塗装》	杉板 t=18 H=1,000 壁見切り同材	モルタル部分 《下地調整の上 E P塗替え》	1階：2,880 2階：2,880 3階：2,780	《下地調整の上 S O P再塗装》	《下地調整の上 E P塗替え》	
		御影石 H=110						
	テラゾー コンクリート下地	人造石研ぎ出し仕上げ H=110		ビニルクロス モルタル金コテ下地				
階段	ビニル床シート t=2.0 モルタル金コテ下地	木製巾木 《下地調整の上 S O P再塗装》		モルタル部分 《下地調整の上 E P塗替え》	3階：2,330	塩ビ	《下地調整の上 E P塗替え》	
1階廊下手洗い 2階廊下手洗い	《ビニル床シート t=2.5 モルタル金コテ下地》	《ソフト巾木 H=100》		《耐水P B t=12.5(LGS)下地の上 E P》	1階：2,400 2階：2,450	《塩ビ》	《化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地》	《新設》SUS床見切り、スチール3方枠、スチール縦見切り、内部Exp. J、掃除具入れ、SUS流し、化粧鏡
				《強化P B t=21+21(LGS)下地の上 E P》				
				《下地調整の上 E P塗替え》				
多機能便所	《ビニル床シート t=2.5 モルタル金コテ下地》	《ソフト巾木 H=300》	《化粧ケイカル板 t=6.0 耐水P B t=12.5(LGS100) 下地》H=850	《化粧ケイカル板 t=6.0 耐水P B t=12.5(LGS)下地》	2,400	《塩ビ》	《化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地》	《新設》面台、ピクトサイン
男子便所 女子便所 男子職員便所 女子職員便所 便所手洗い	《ビニル床シート t=2.5 モルタル金コテ下地》	《ソフト巾木 H=100》	《化粧ケイカル板 t=6.0 耐水P B t=12.5(LGS100) 下地》H=1,300	《化粧ケイカル板 t=6.0 耐水P B t=12.5(LGS)下地》	1階：2,400 2階：2,450	《塩ビ》	《化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地》	《新設》SUS床見切り、スチール3方枠、スチール縦見切り、内部Exp. J、掃除具入れ、SUS流し、面台、汚垂タイル、ピクトサイン、化粧鏡
				《化粧ケイカル板 t=6.0 強化P B t=21+21(LGS)下地》				
				《化粧ケイカル板 t=6.0 耐水P B t=12.5(GL工法)下地》				
男子外便所 女子外便所	《300角磁器質タイル モルタル下地》	《ソフト巾木 H=100》	《化粧ケイカル板 t=6.0 耐水P B t=12.5(LGS100) 下地》H=1,300	《化粧ケイカル板 t=6.0 耐水P B t=12.5(LGS)下地》	2,400	《塩ビ》	《化粧石膏ボード t=9.5 LGS下地》	《新設》面台、ピクトサイン、汚垂タイル
アル テ ッ ク 設 計 津 市 大 谷 町 2 3 3 番 地 TEL 059-225-1602			DRAWING BY DATA	原図：A2	津市立安濃小学校長寿命化改修工事	内部仕上表（改修後）	A ー 12	
				【 】内は撤去を示す。 《 》内は新設を示す。 カッコ無しものは既存のままとする。			S： non	



2 階平面図

S: 1/200



1 階平面図

S: 1/200

- 凡例
- 改修範囲を示す
 - 改修範囲外を示す
 - 工事着手前化学物質濃度測定箇所を示す

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

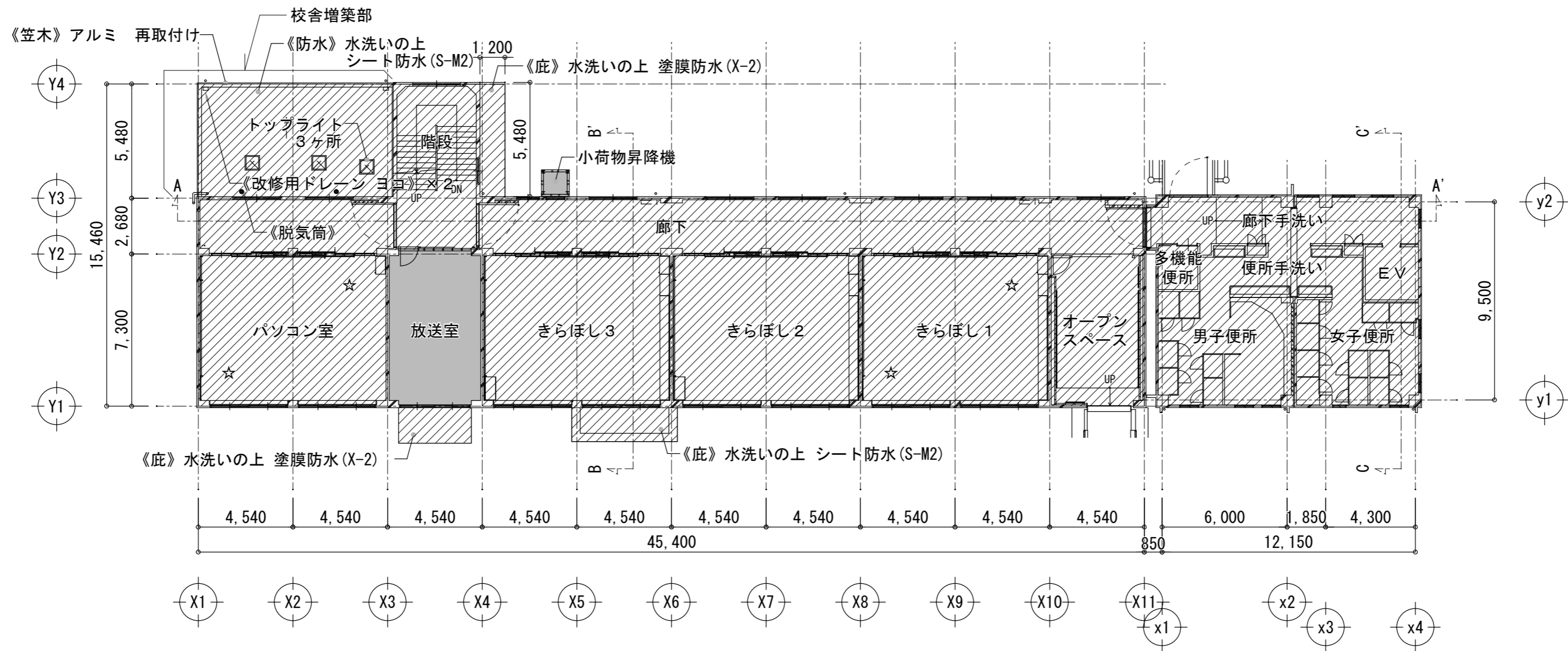
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

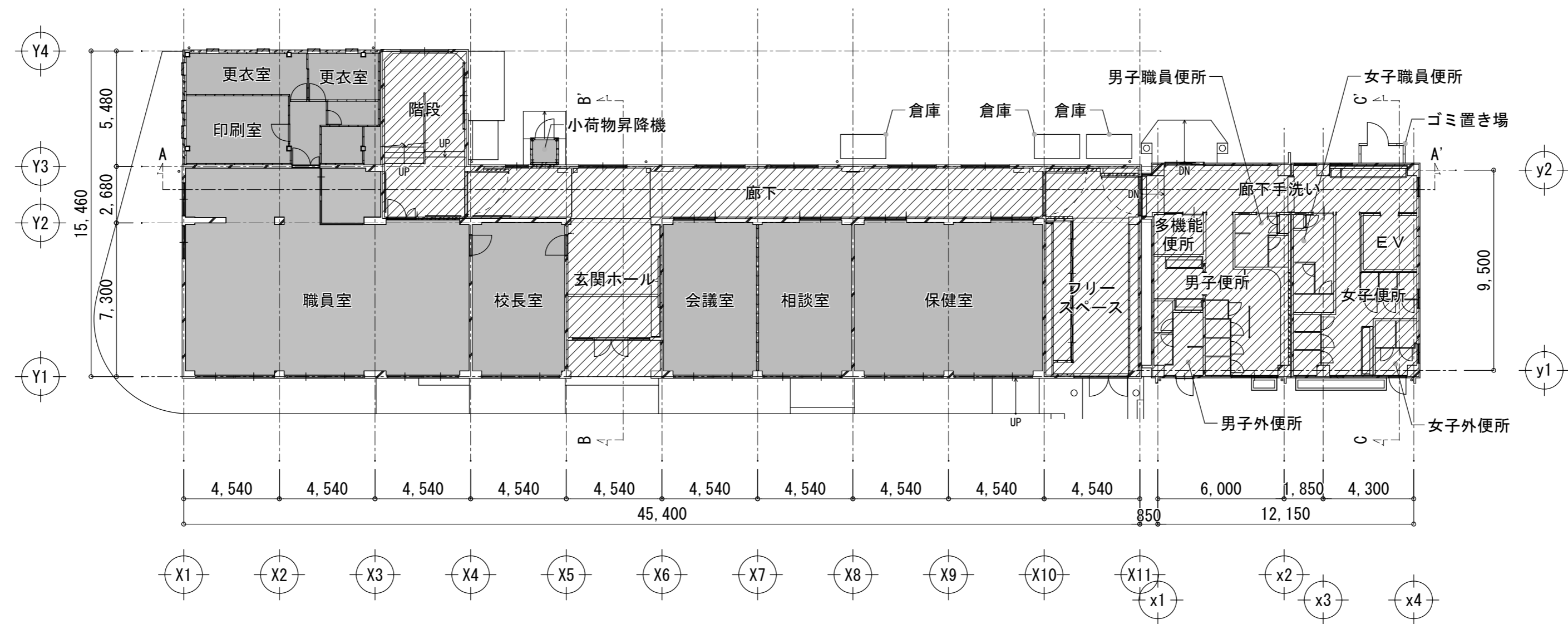
平面図1（改修前）

A - 13

S: 1/200



2 階平面図 S: 1/200



1 階平面図 S: 1/200

- 凡例
- 改修範囲を示す
 - 改修範囲外を示す
 - ☆ 工事完了時化学物質濃度測定箇所を示す

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図: A2

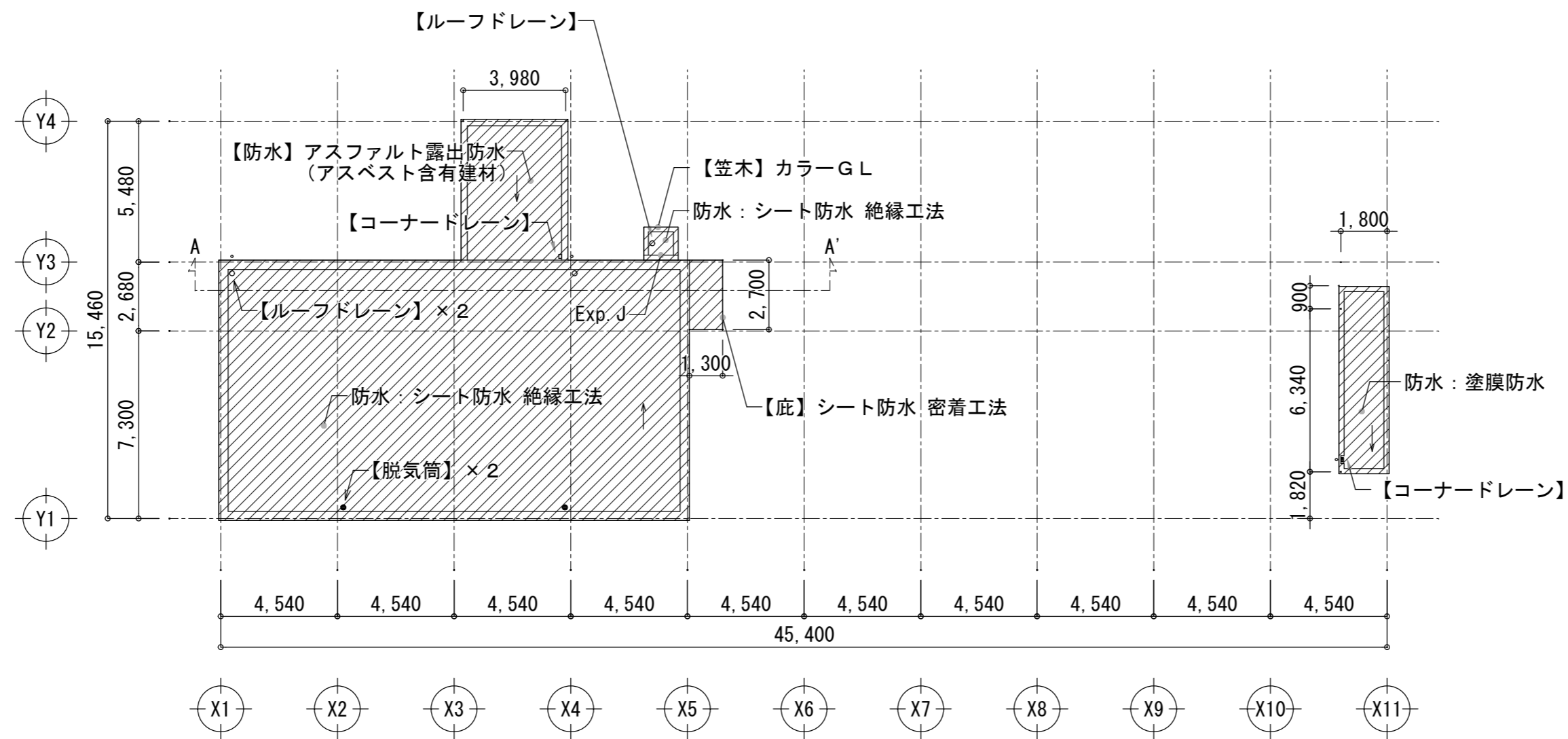
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

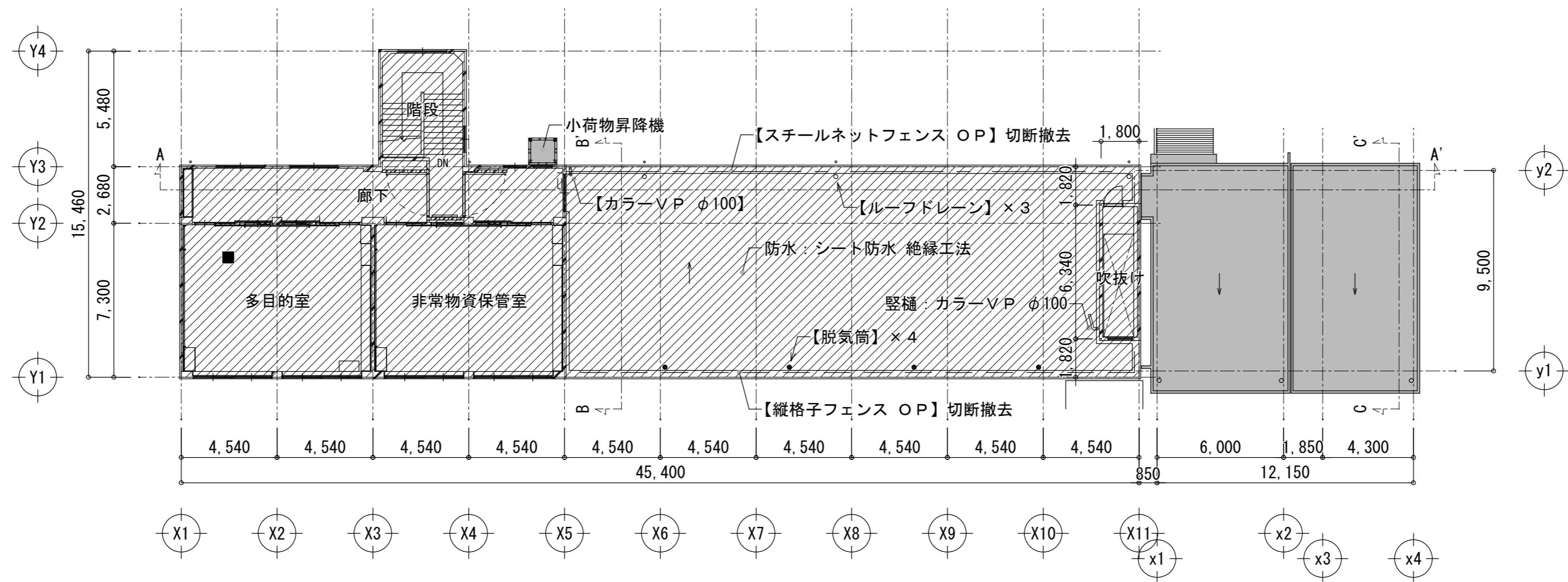
平面図1 (改修後)

A - 14

S: 1/200

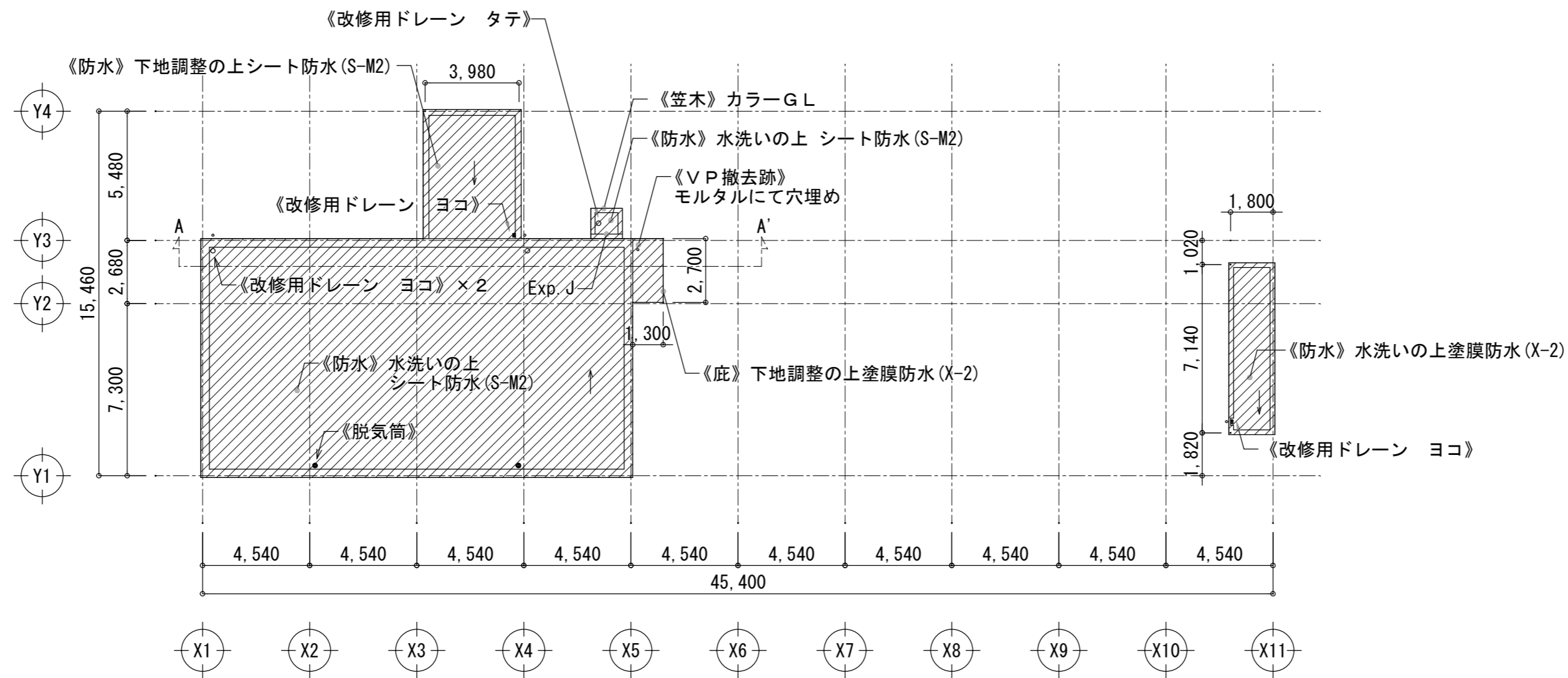


R 階平面図 S: 1/200

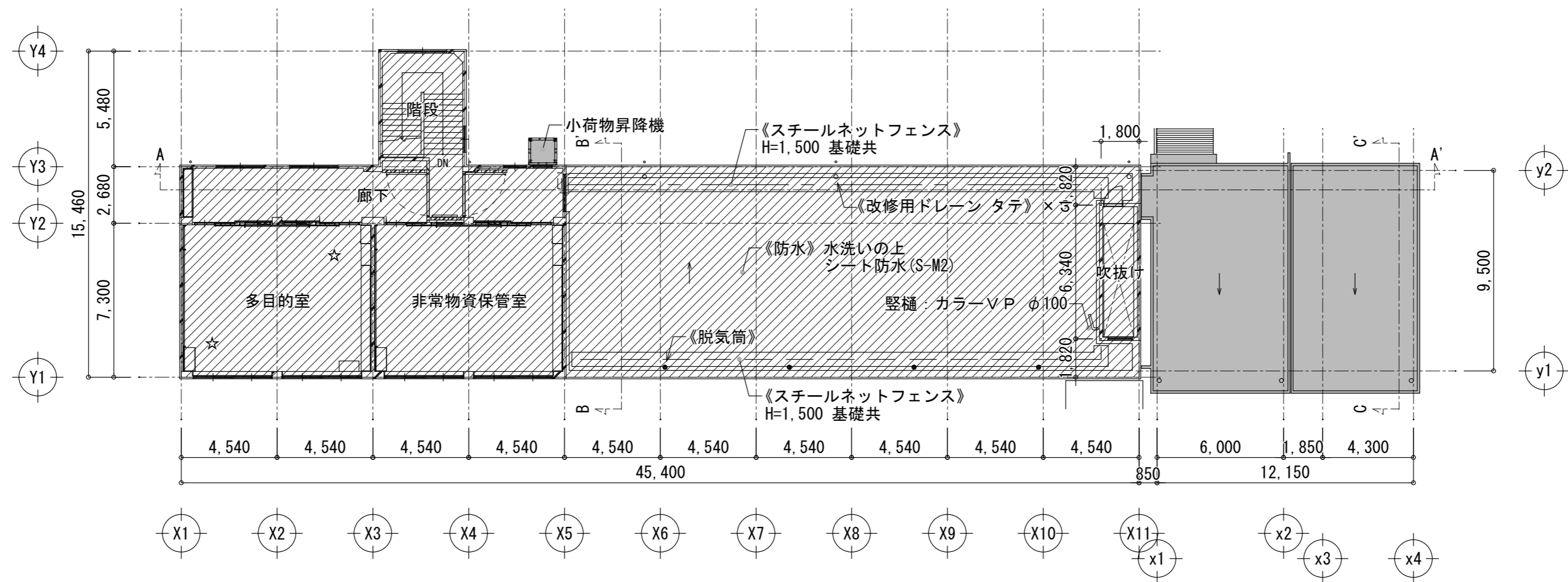


3 階平面図 S: 1/200

- 凡例
- 改修範囲を示す
 - 改修範囲外を示す
 - 工事着手前化学物質濃度測定箇所を示す

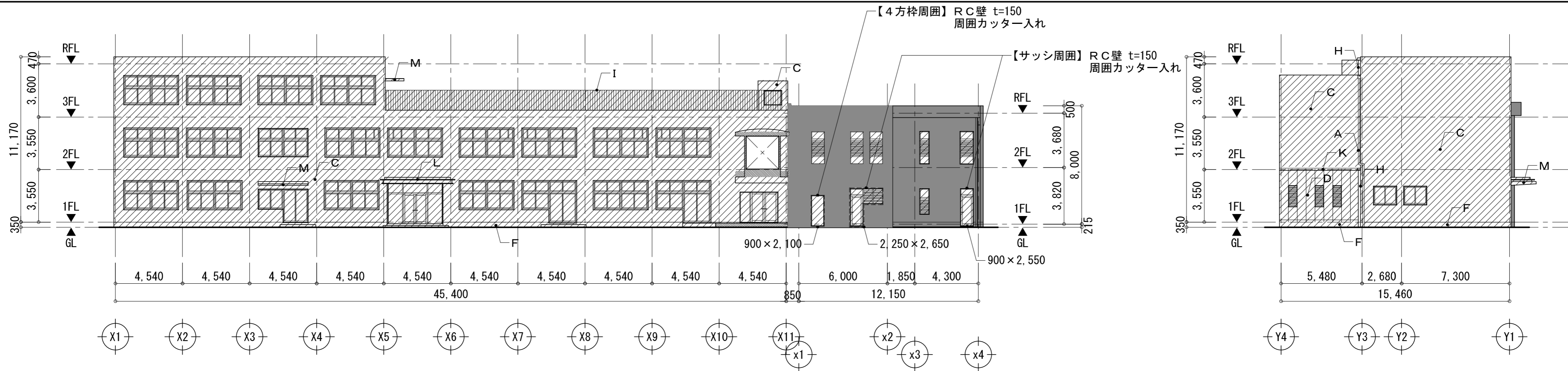


R 階平面図 S: 1/200



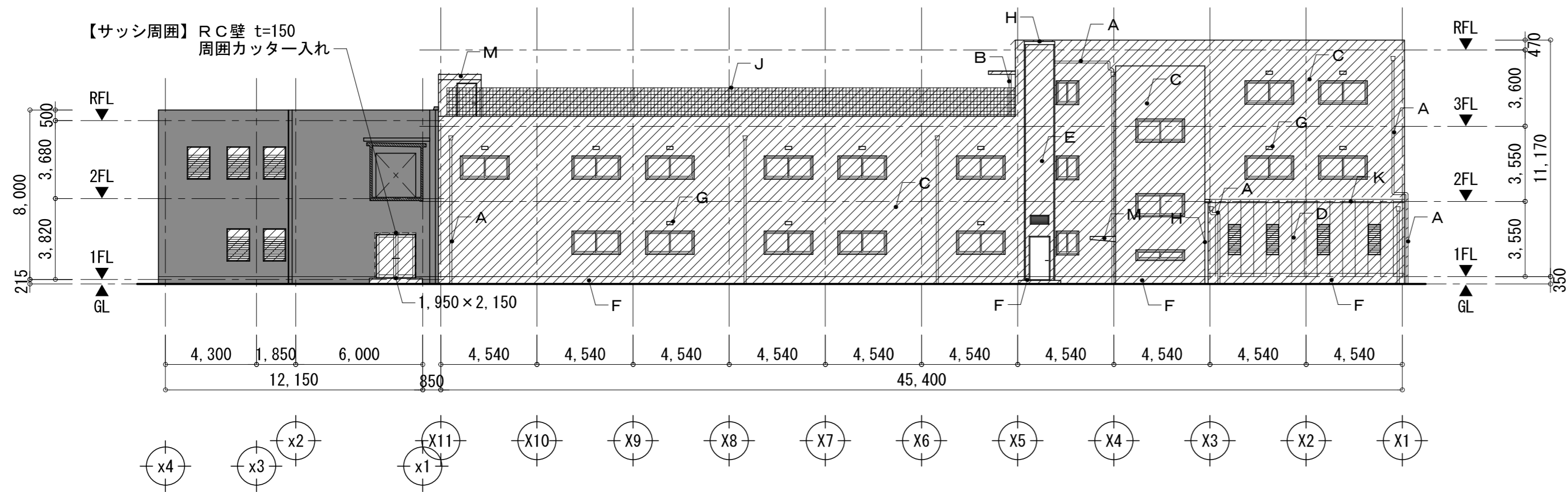
3 階平面図 S: 1/200

- 凡例
- 改修範囲を示す
 - 改修範囲外を示す
 - ☆ 工事完了時化学物質濃度測定箇所を示す

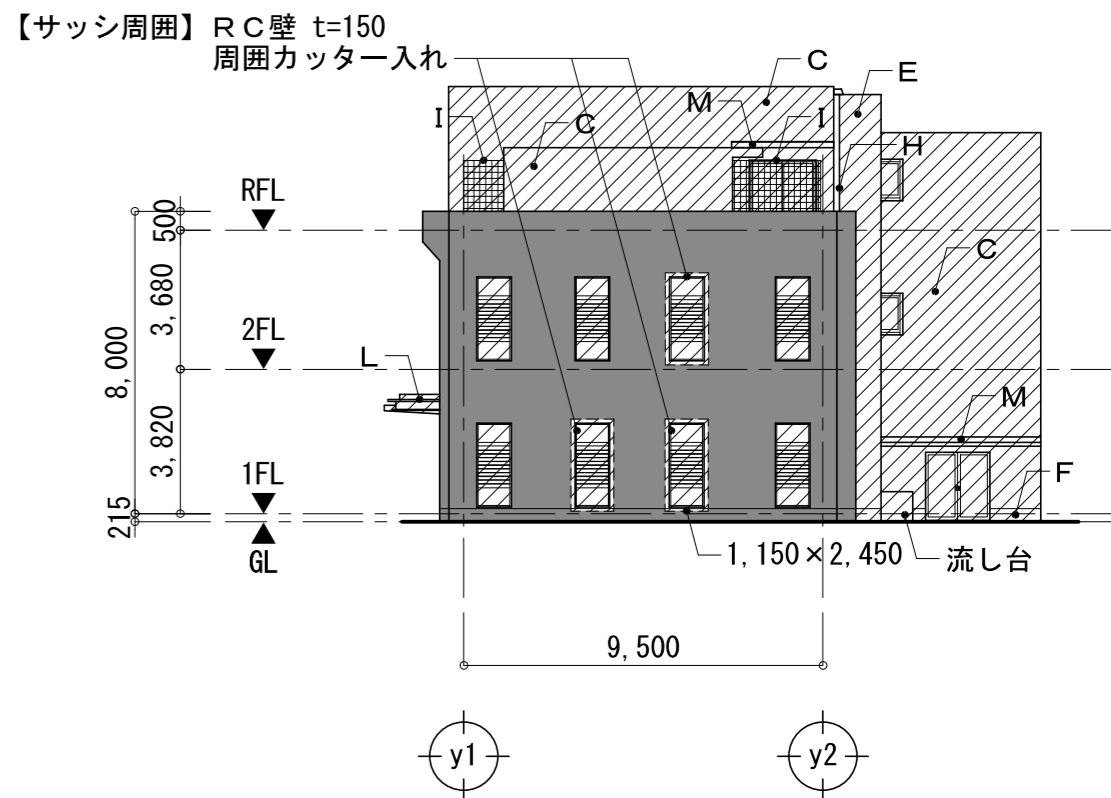


南立面図 S: 1/200

西立面図 S: 1/200



北立面図 S: 1/200



東立面図 S: 1/200

外部仕上表（改修前）					
A	縦樋	カラーV P φ100	H	EXP. J	SUS製 1時間耐火
B		【カラーV P φ100】撤去跡穴埋め	I	フェンス	【スチールネットフェンス OP】切断撤去
C	外壁	校舎本体 外装薄塗材E モルタル下地	J		【縦格子フェンス OP】切断撤去
D		校舎増築部 ALCパネル t=100 複層塗材E	K	パラペット	アルミ笠木
E		小荷物昇降機 ケイカル積層板 t=30 AEP	L	庇見付け	玄関庇 アルミパネル加工
F	巾木	モルタル刷毛引き仕上げ	M		躯体底 外装薄塗材E モルタル下地
G	壁換気孔	パンチングメタル SOP 13ヶ所			

- 躯体の改修について（パラペット・庇・外壁・巾木・犬走り）
- ◆躯体浮きの改修方法
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（一般部：16本/㎡、25ml/穴）
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（見上面、庇鼻先、マグサ隅角部：25本/㎡、25ml/穴）

- ◆躯体ひび割れの改修方法
 - ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法（1mm以下）
 - ・Uカットシーリング材充填工法（1mm以上）

- ◆躯体欠損、爆裂の改修方法
 - ・鉄筋防錆の上、樹脂モルタル充填

- ◆打継誘発目地はシーリング打替を行う。
- ◆既存フィルム貼り撤去すること。

凡例

改修範囲を示す

改修範囲外を示す

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

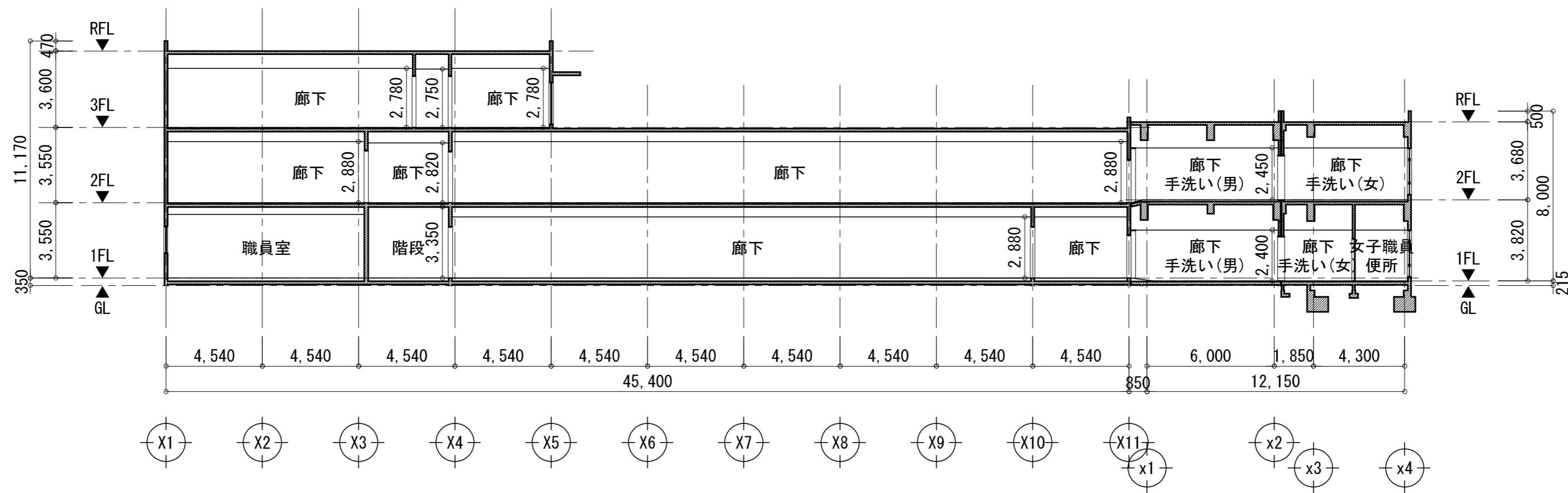
津市立安濃小学校校長寿命化改修工事

立面図（改修前）

A - 17

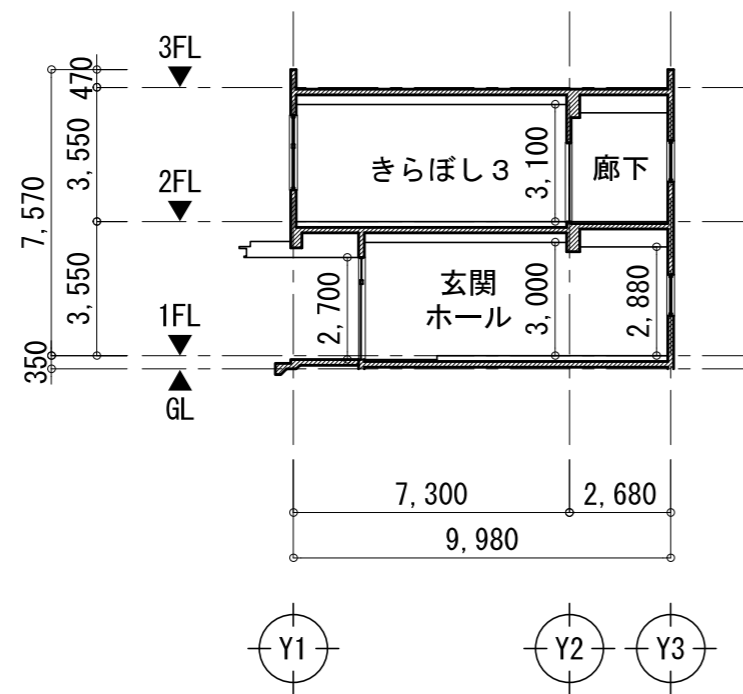
S: 1/200

S : 1/200

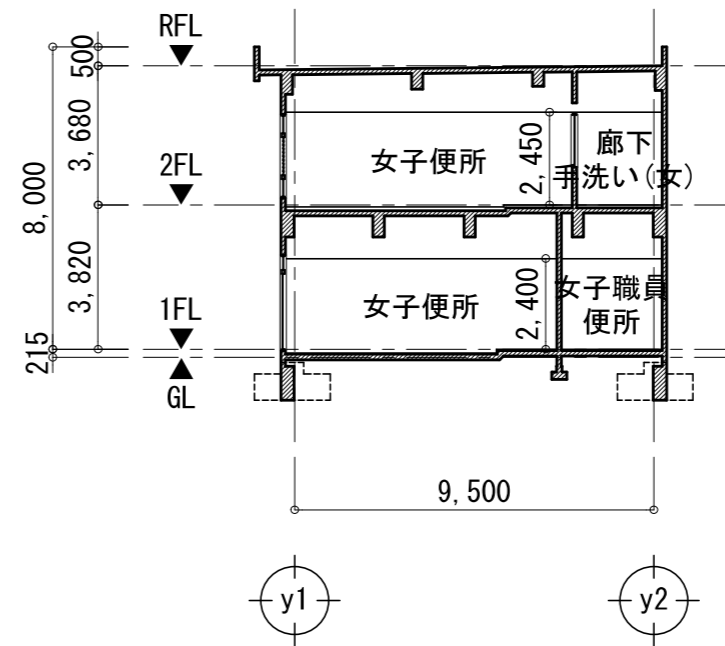


A-A' 断面図 S: 1/200

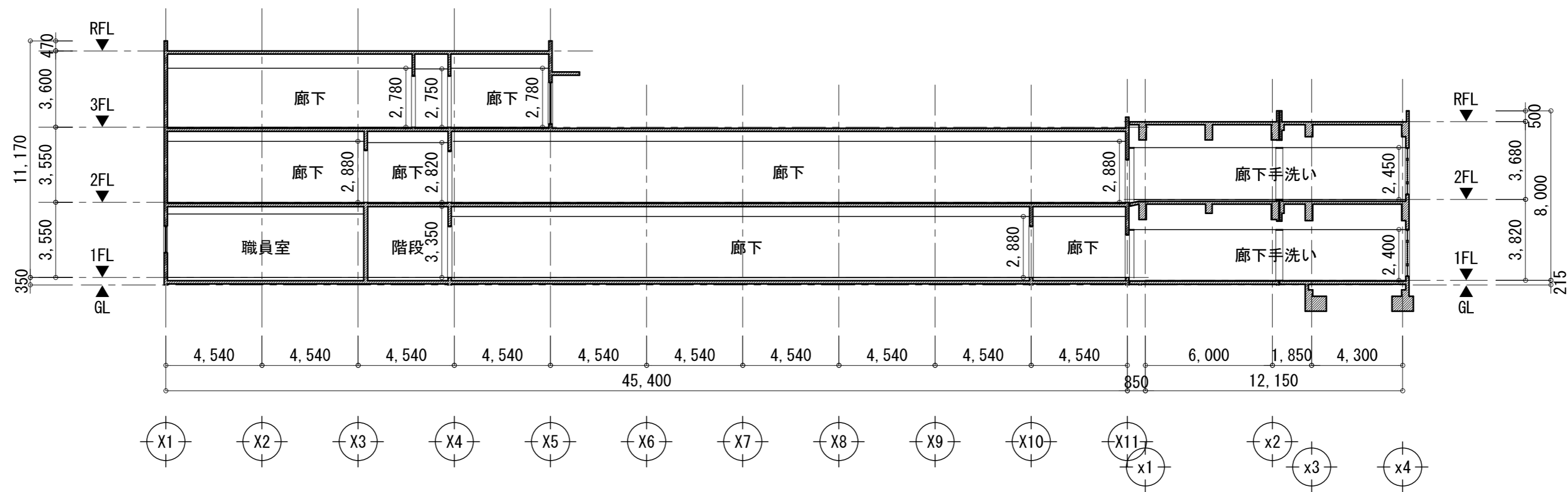
※ 便所棟 1 F L = 校舎中央棟 1 F L-135
※ 便所棟 2 F L = 校舎中央棟 2 F L+135



B-B' 断面図 S: 1/200

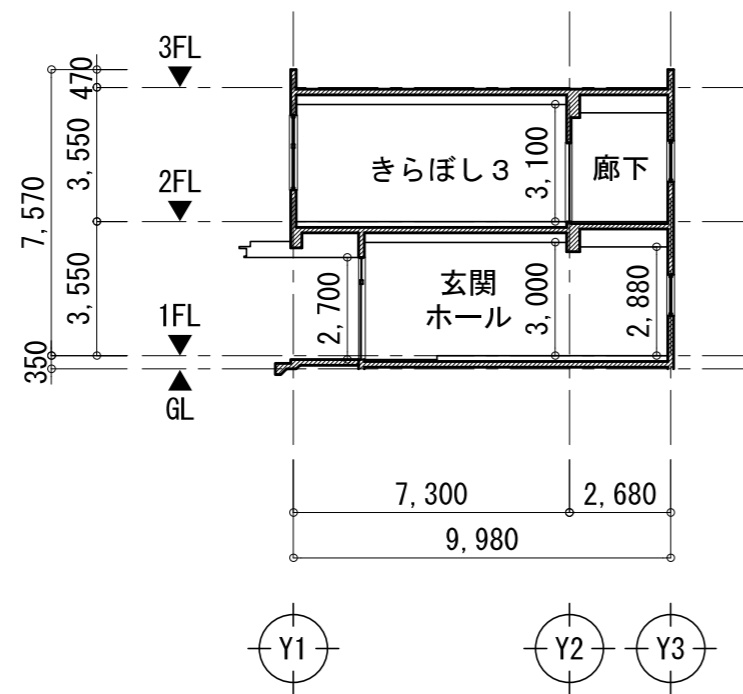


C-C' 断面図 S: 1/200

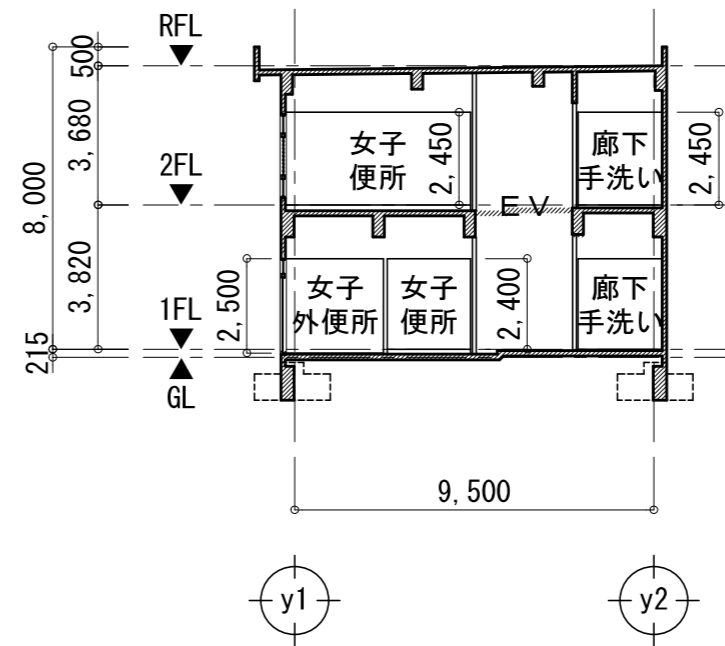


A-A' 断面図 S: 1/200

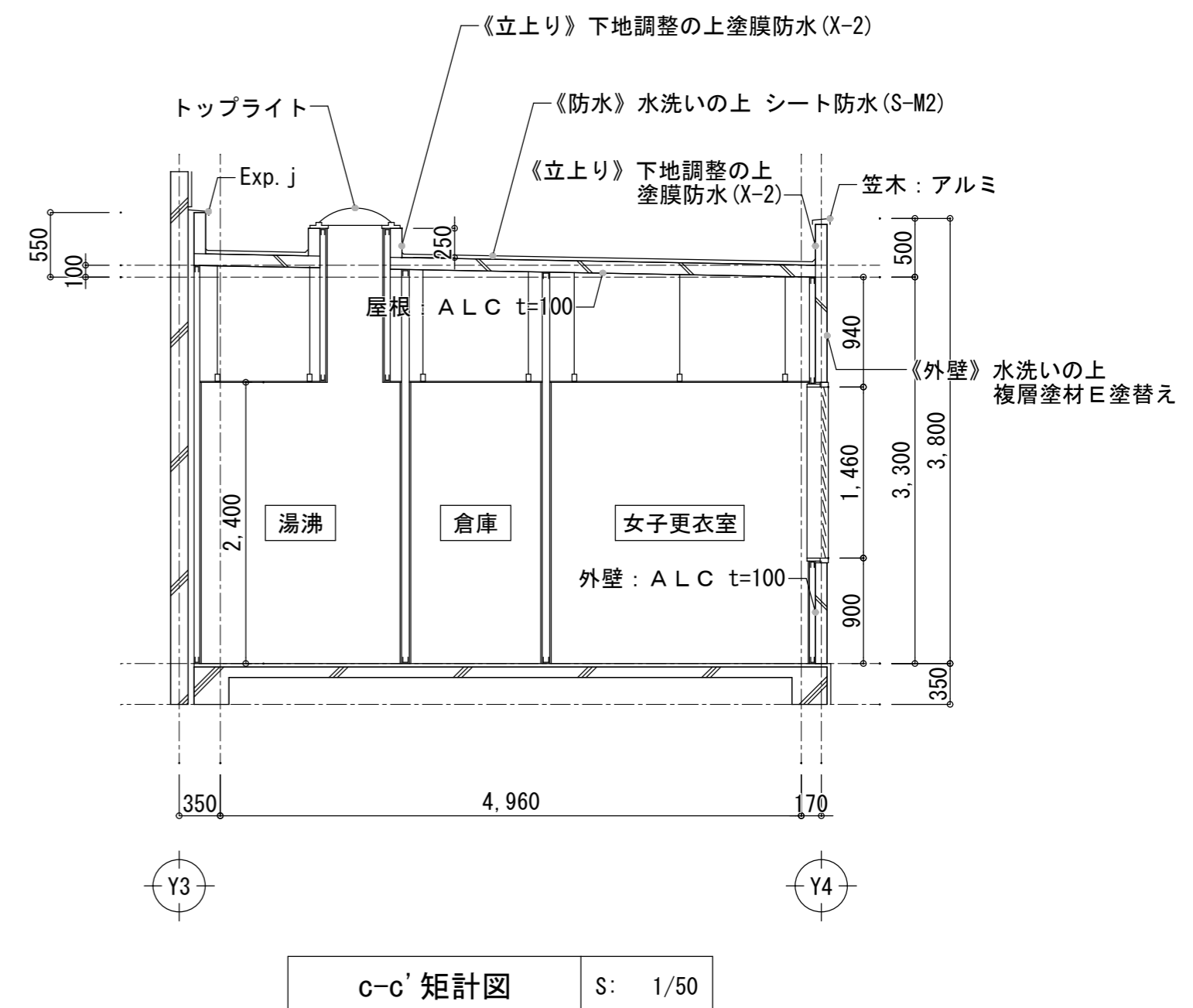
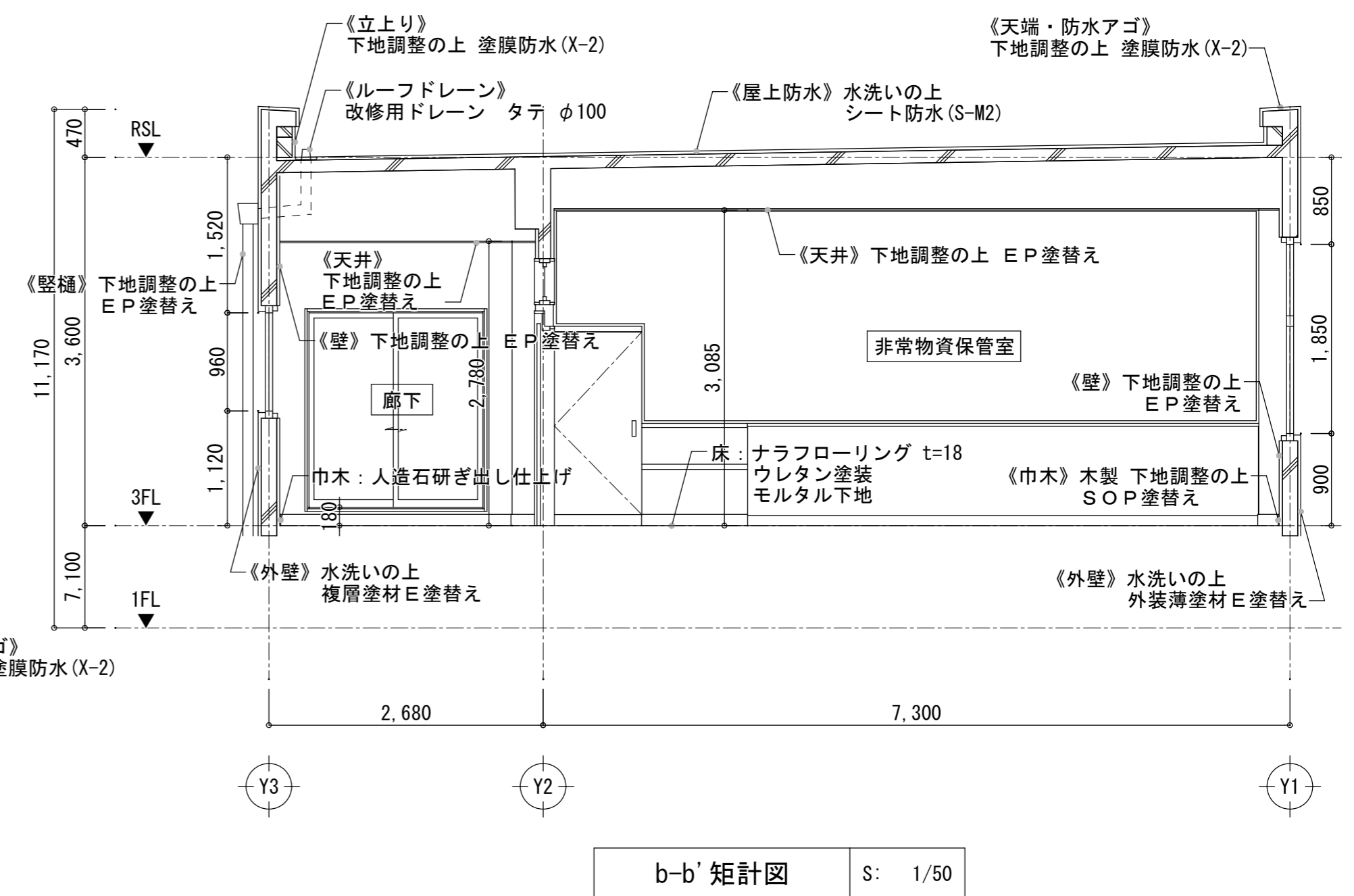
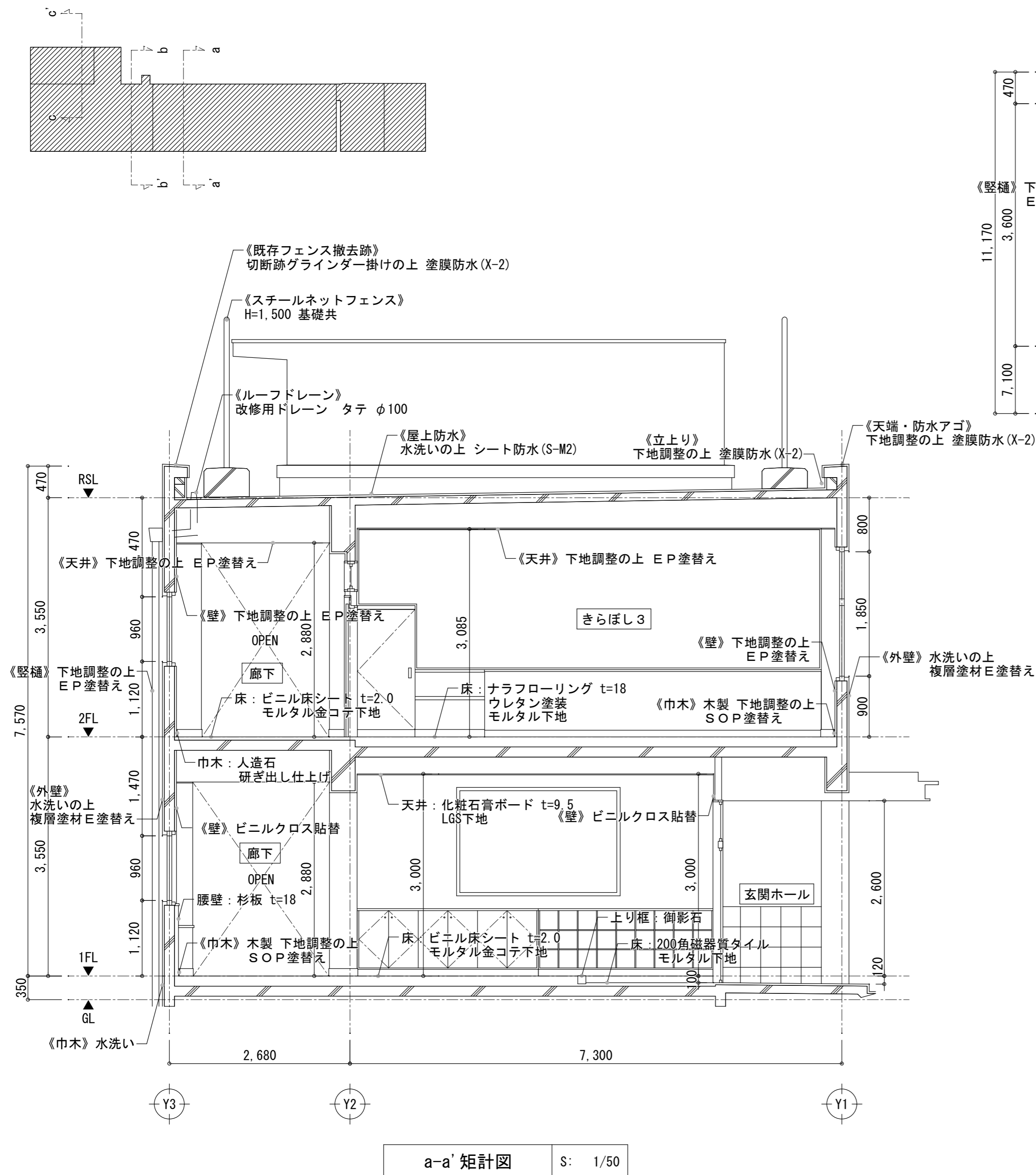
※ 便所棟 1 F L = 校舎中央棟 1 F L-135
※ 便所棟 2 F L = 校舎中央棟 2 F L+135

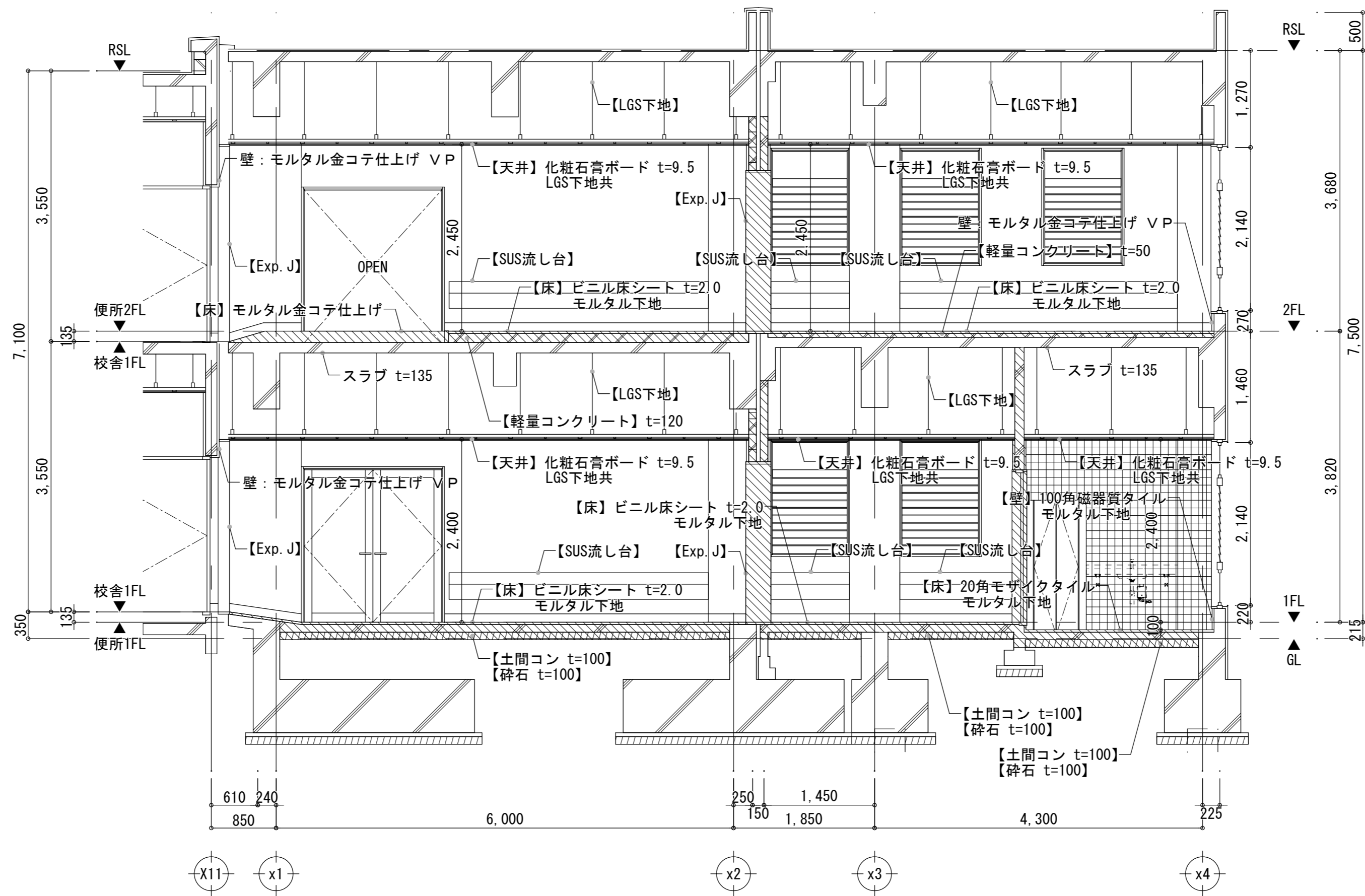
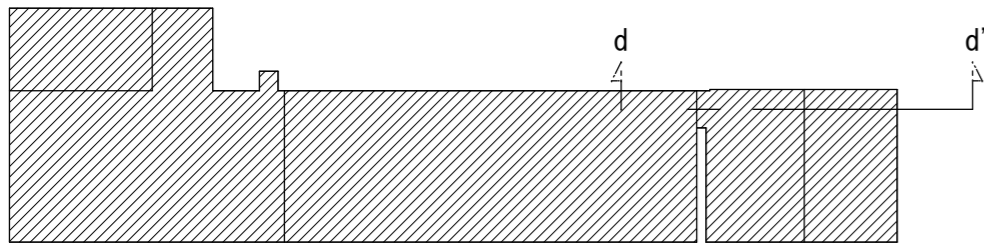


B-B' 断面図 S: 1/200



C-C' 断面図 S: 1/200





d-d' 矩計図 S: 1/50

凡例



撤去範囲を示す
周囲カッター入れ共 (RC・CB)

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図: A2

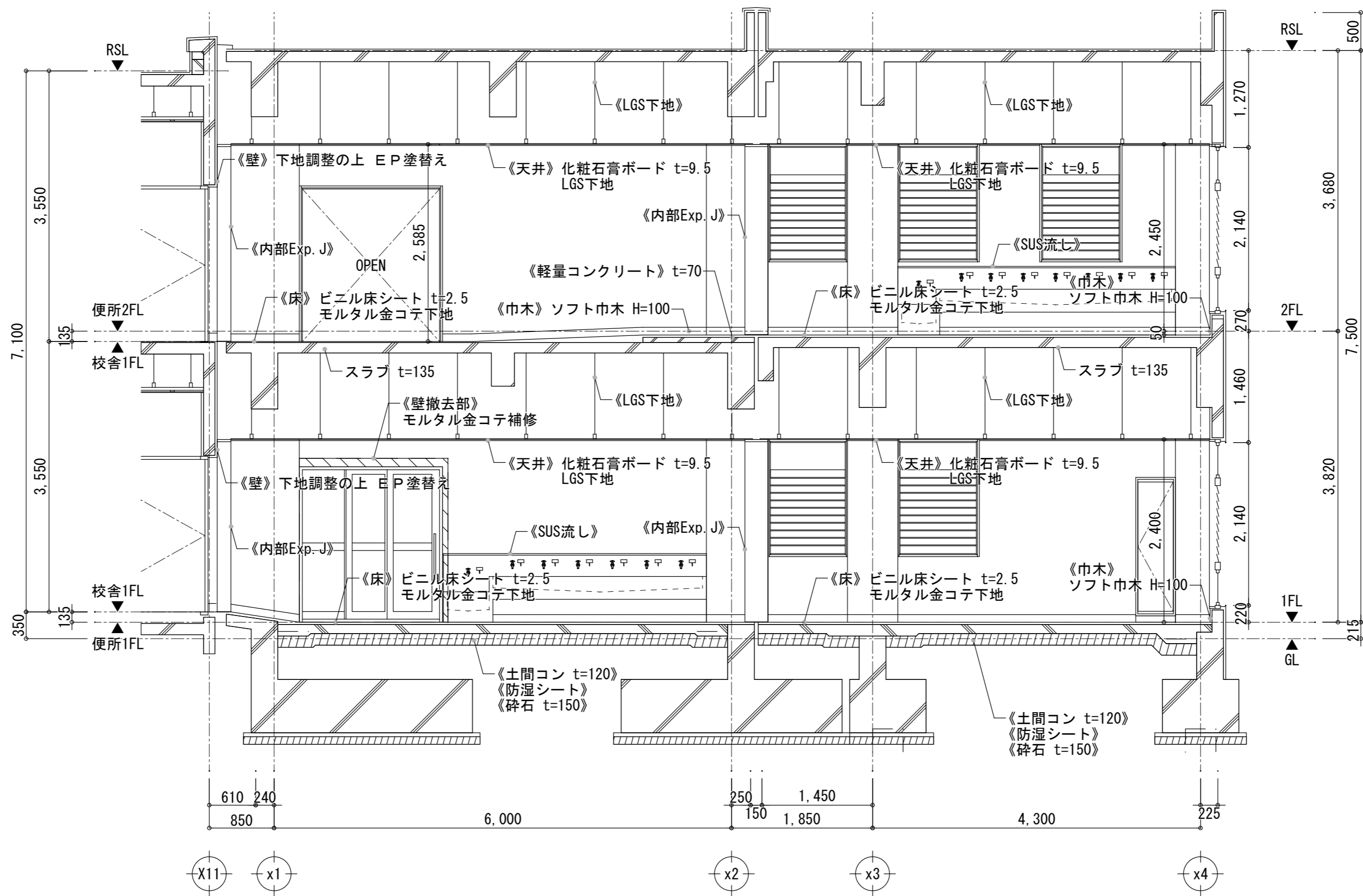
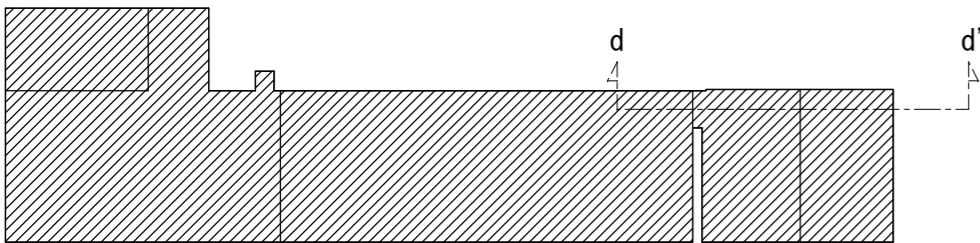
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

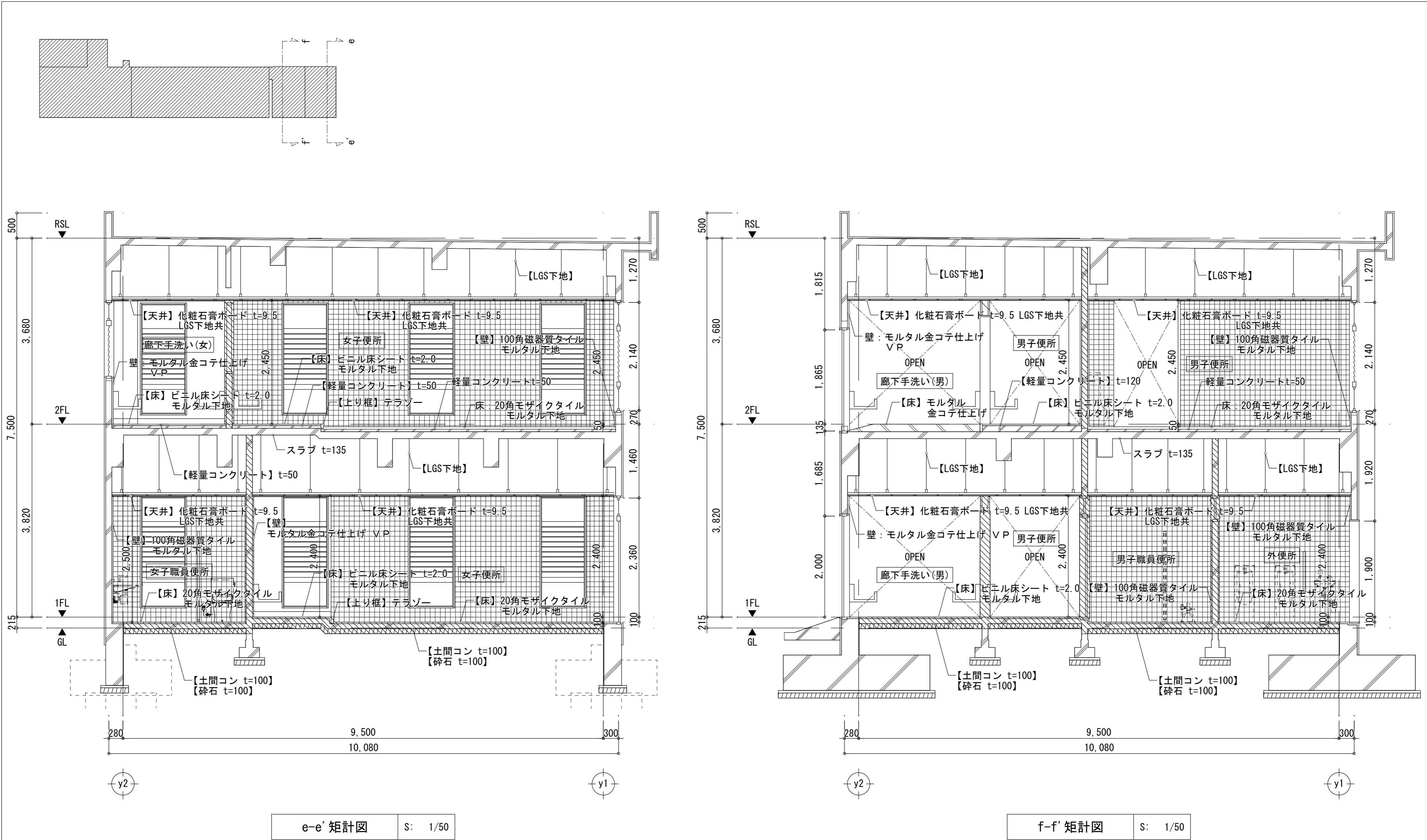
便所棟矩計図1(改修前)

A - 22

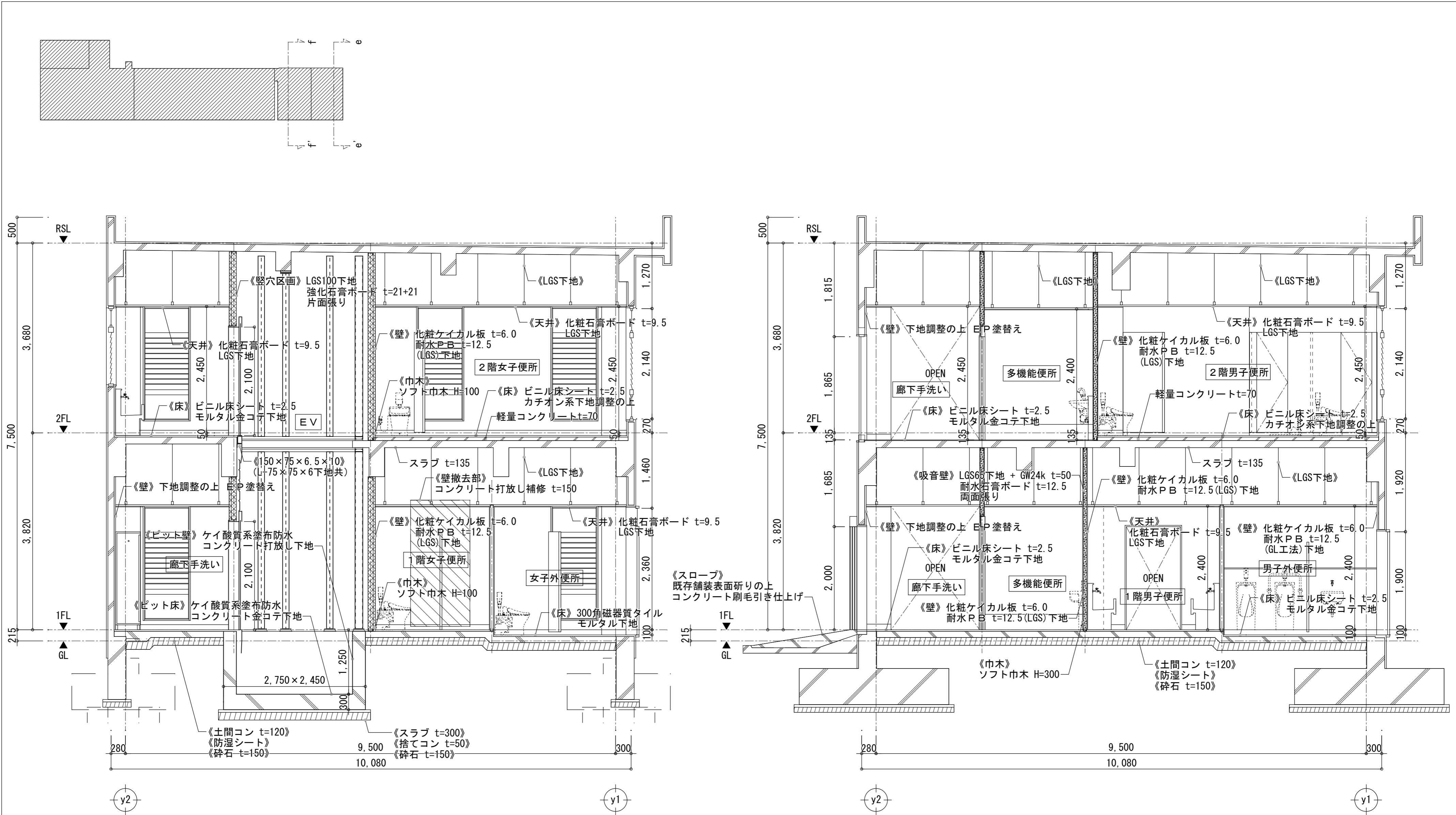
S: 1/50



d-d' 矩計図 S: 1/50



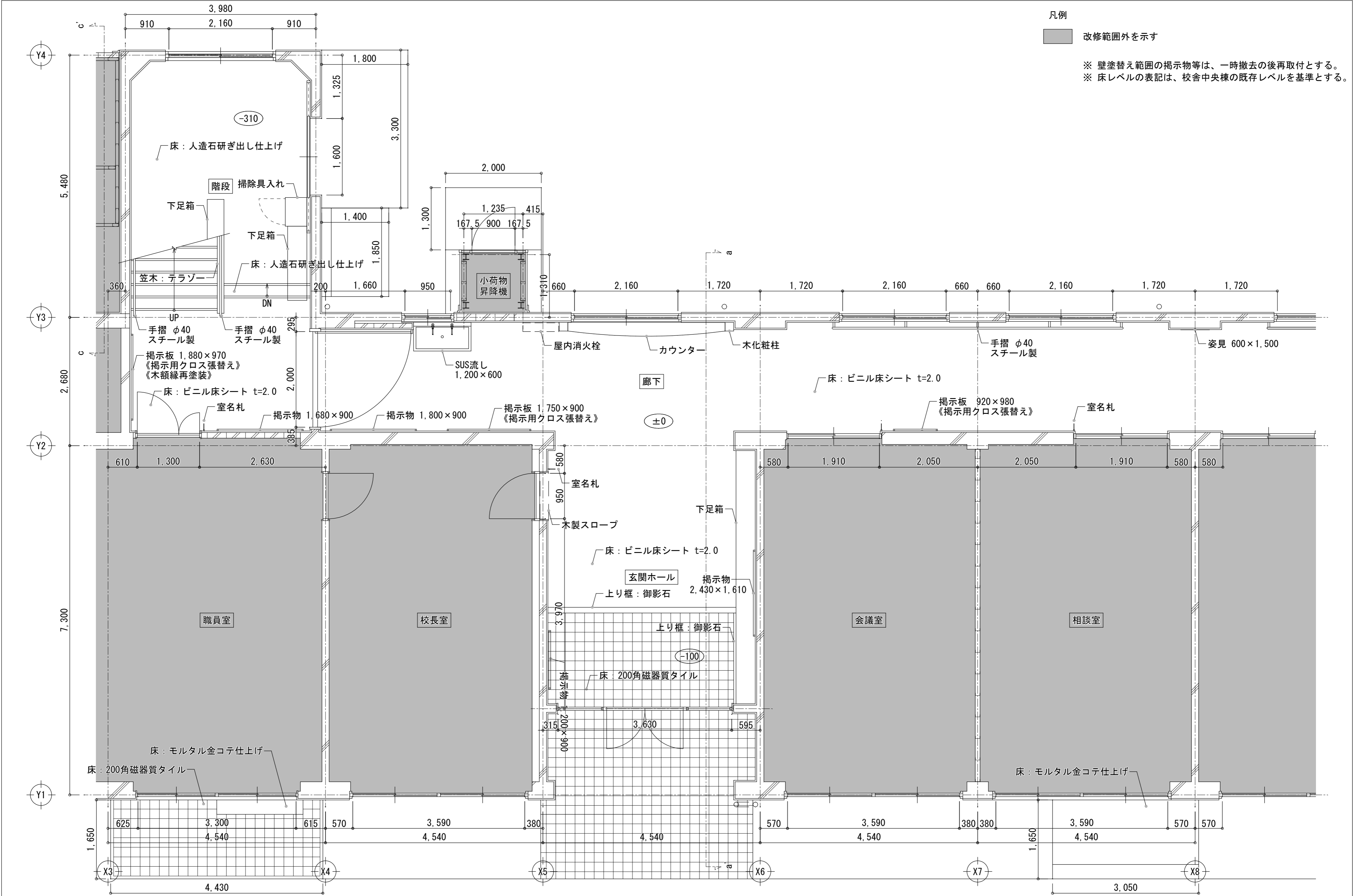
凡例
撤去範囲を示す
周囲カッター入れ共 (RC・CB)



e-e' 矩計図 S: 1/50

f-f' 矩計図 S: 1/50

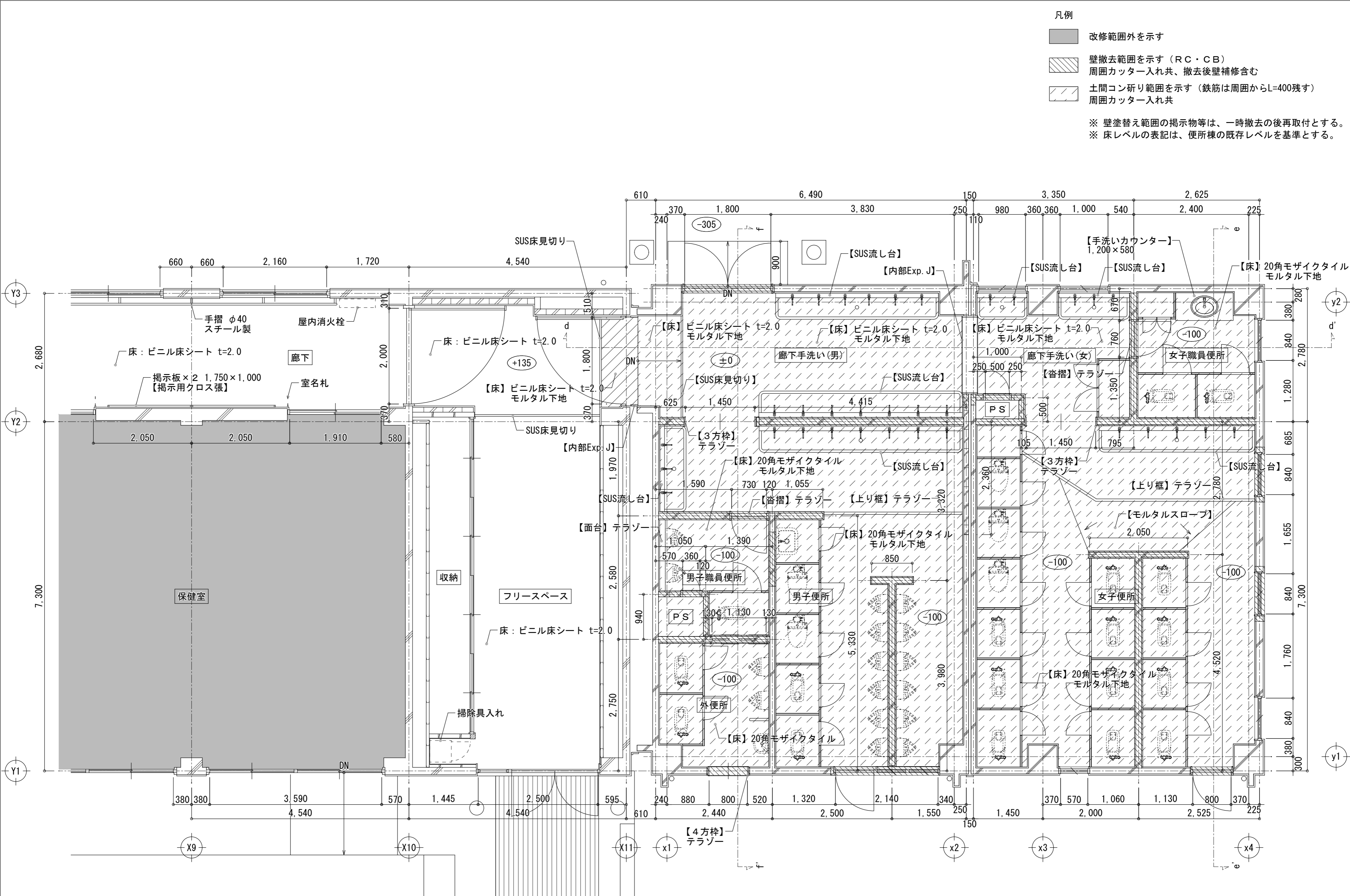
- 凡例
- 《堅穴区画》LGS100下地 + 強化石膏ボード t=21+21 片面張り
軽量壁下地、ボード共に上部スラブまで達しめること。
 - 《吸音壁》LGS65下地 + GW24k t=50 + 耐水石膏ボード t=12.5 両面張り
全て上部スラブまで達しめること。

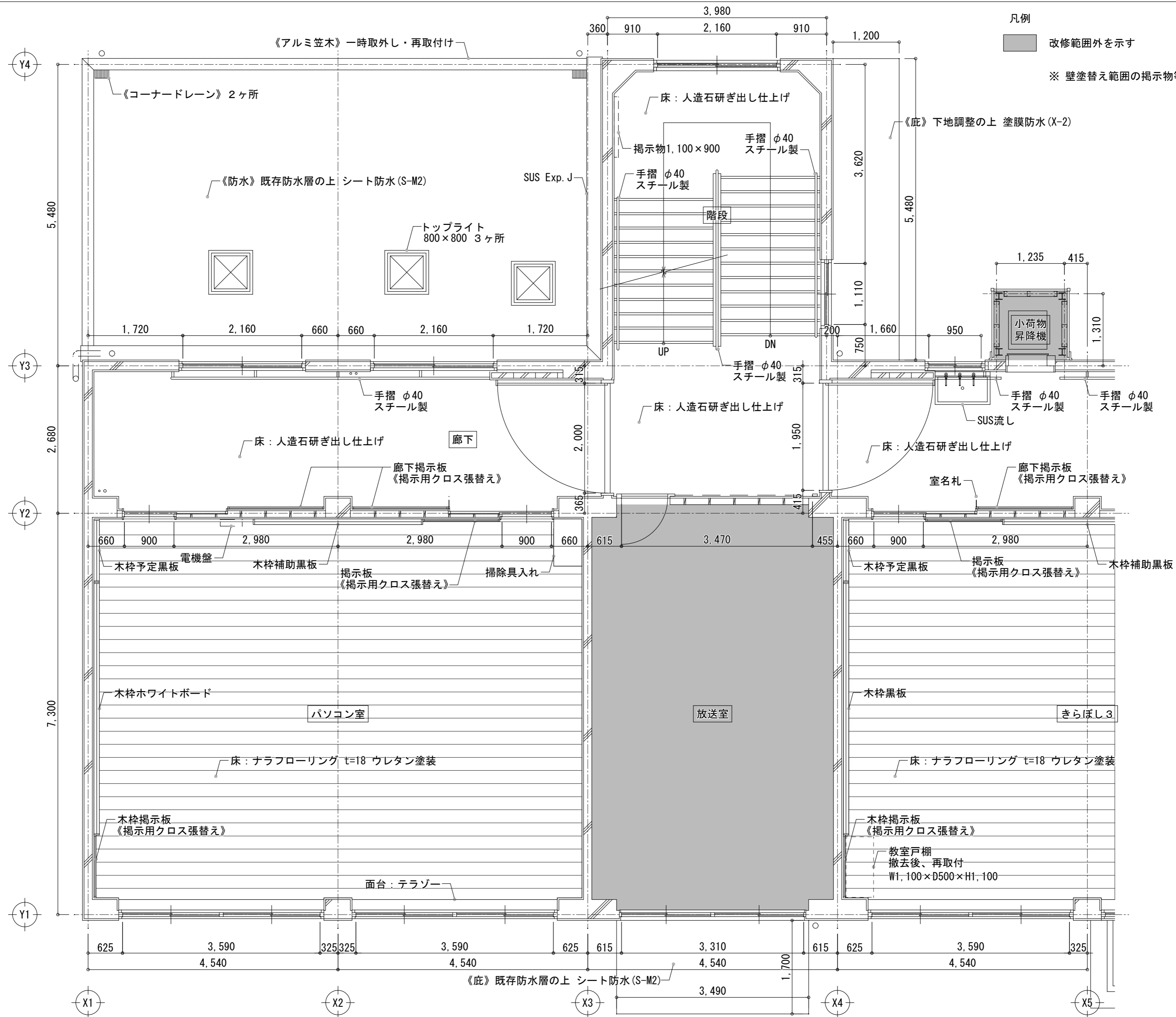


凡例

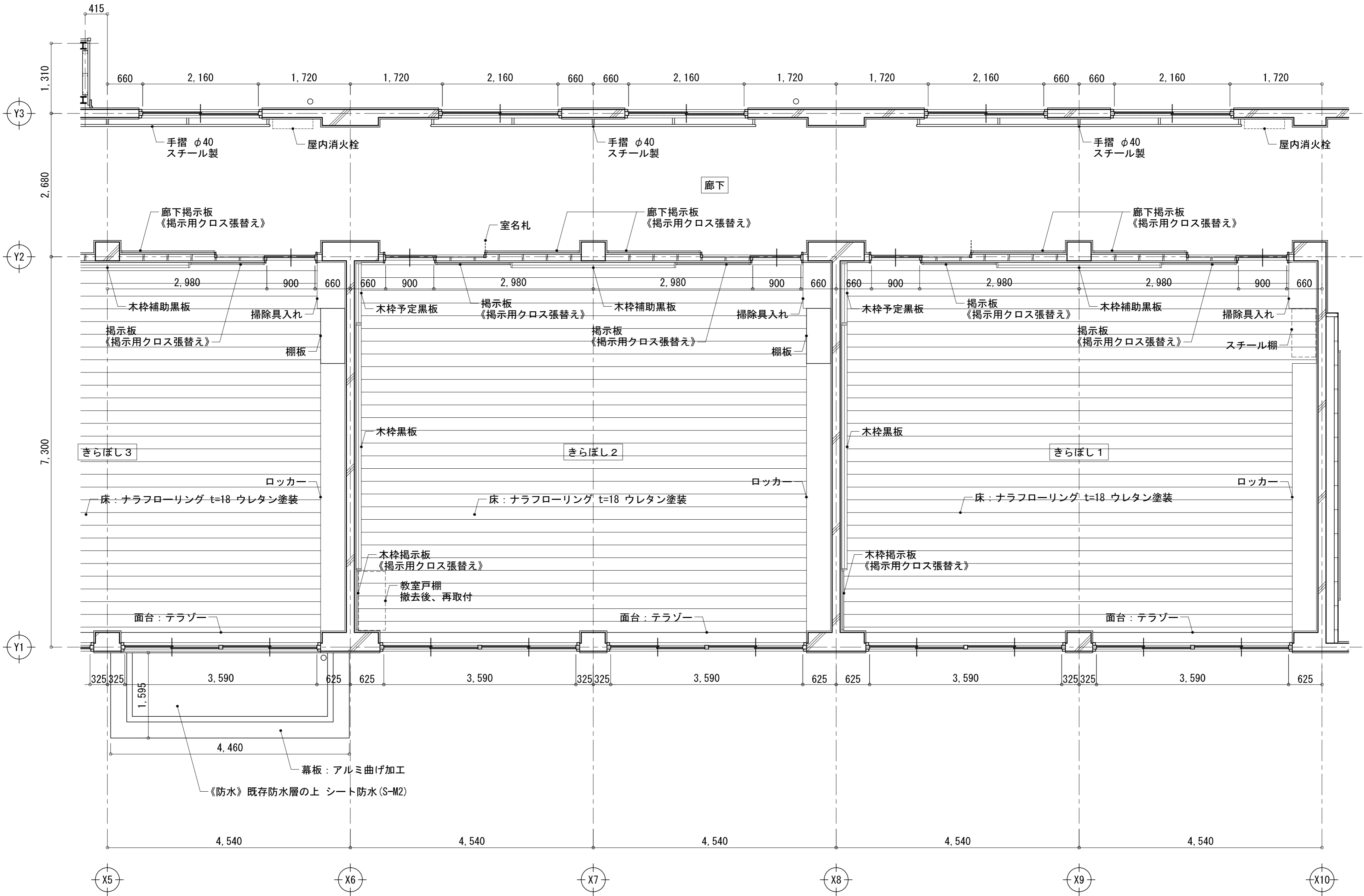
改修範囲外を示す

※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。
※ 床レベルの表記は、校舎中央棟の既存レベルを基準とする。





※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。



アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

2階平面詳細図2

A - 30

S : 1/50

凡例

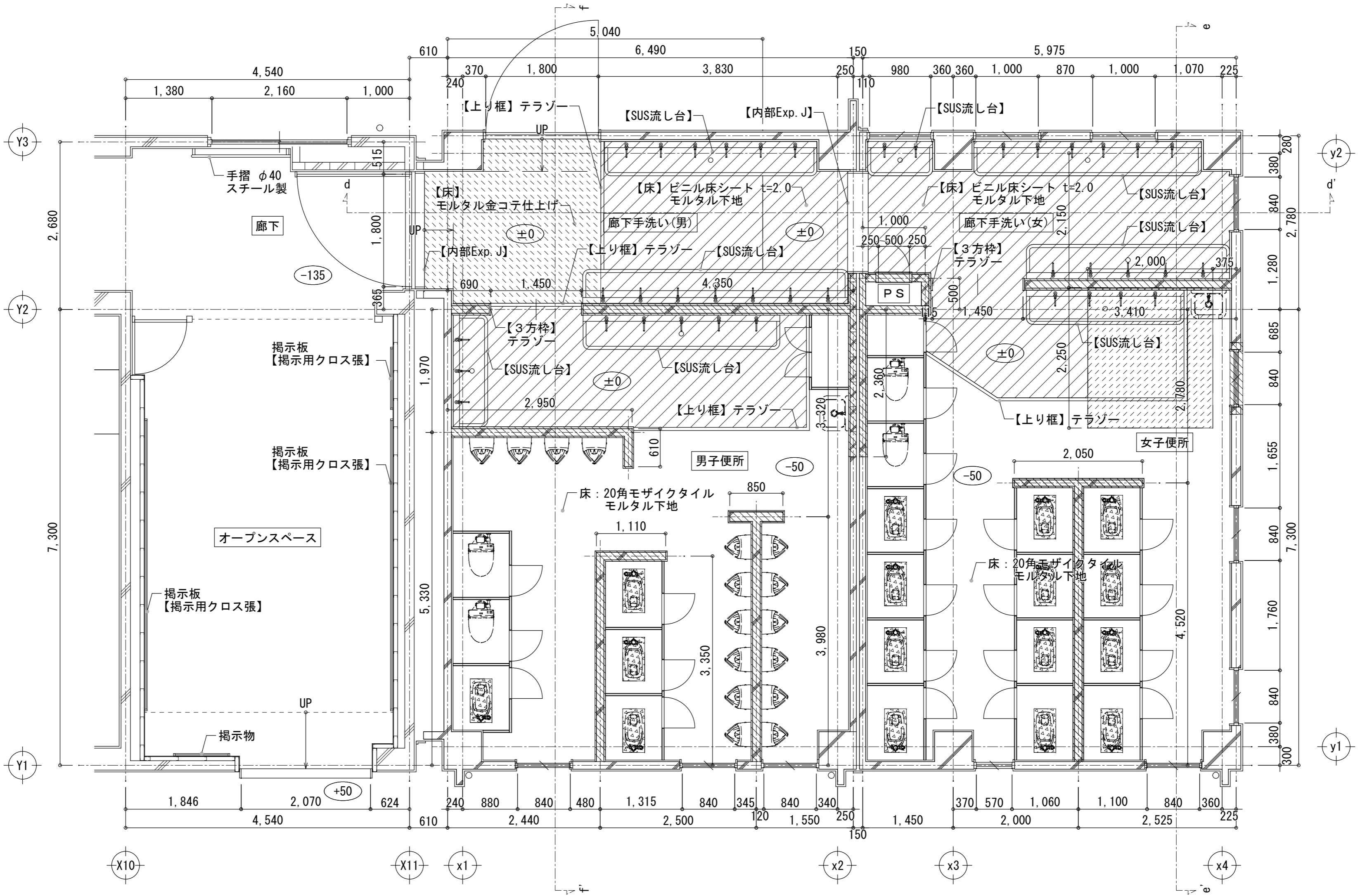
- 床軽量コンクリート研り範囲を示す (t=50、120)
周囲カッター入れ共

スラブ、床軽量コンクリート研り範囲を示す
周囲カッター入れ共 (鉄筋は周囲からL=400残す)

スラブ、床軽量コンクリート研り範囲を示す
周囲カッター入れ共
- 壁撤去範囲を示す (RC・CB)
周囲カッター入れ共、撤去後壁補修含む

モルタル研り範囲を示す (t=0~150)

※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。
※ 床レベルの表記は、便所棟の既存レベルを基準とする。



アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

2階平面詳細図3 (改修前)

A - 31

S : 1/50

凡例



ビニル床シート t=2.5 + モルタル金コテ下地 t=15~100



ビニル床シート t=2.5 + モルタル金コテ下地 t=35



ビニル床シート t=2.5
(カチオン系下地調整材にて既存タイル目地埋め)



ビニル床シート t=2.5 + モルタル金コテ下地 t=30
軽量コンクリート t=90 + ワイヤーメッシュ φ6×100×100
床スラブ復旧 t=135 D10-200@ ㄴ30共(既存取合部：差筋アンカー D10-200@)



ビニル床シート t=2.5 + 軽量コンクリート t=100
+ ワイヤーメッシュ φ6×100×100

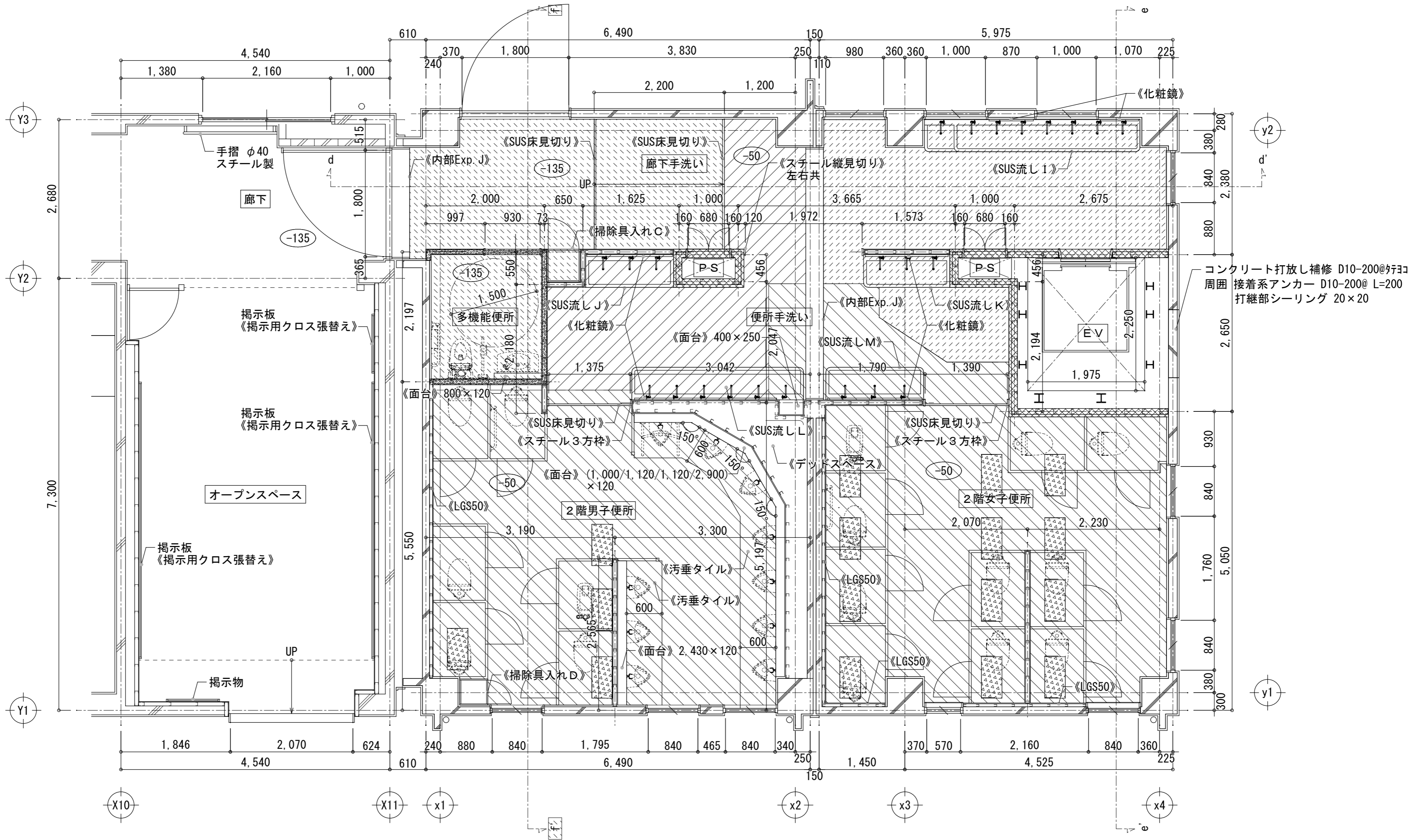


《堅穴区画》LGS100下地 + 強化石膏ボード t=21+21 片面張り
軽量壁下地、ボード共に上部スラブまで達しめること。



《吸音壁》LGS65下地 + GW24k t=50 + 耐水石膏ボード t=12.5 両面張り
全て上部スラブまで達しめること。

※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。
※ 新設壁下地は、特記無き限りLGS65とする。
※ 床レベルの表記は、便所棟の既存レベルを基準とする。
※ スロープ部は、防滑性ビニル床シートとする。



アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

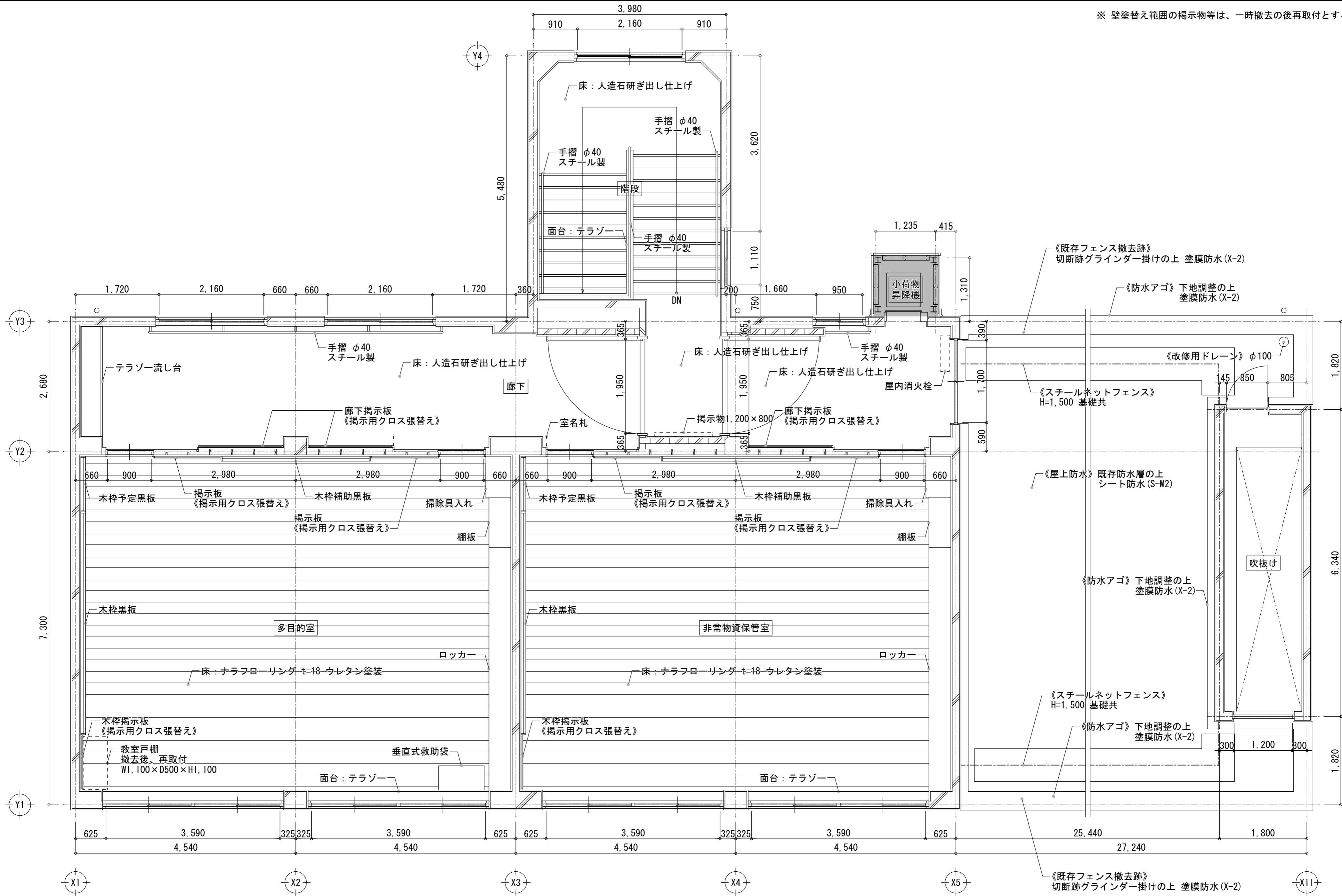
津市立安濃小学校長寿命化改修工事

2階平面詳細図3 (改修後)

A - 32

S : 1/50

※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。



アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

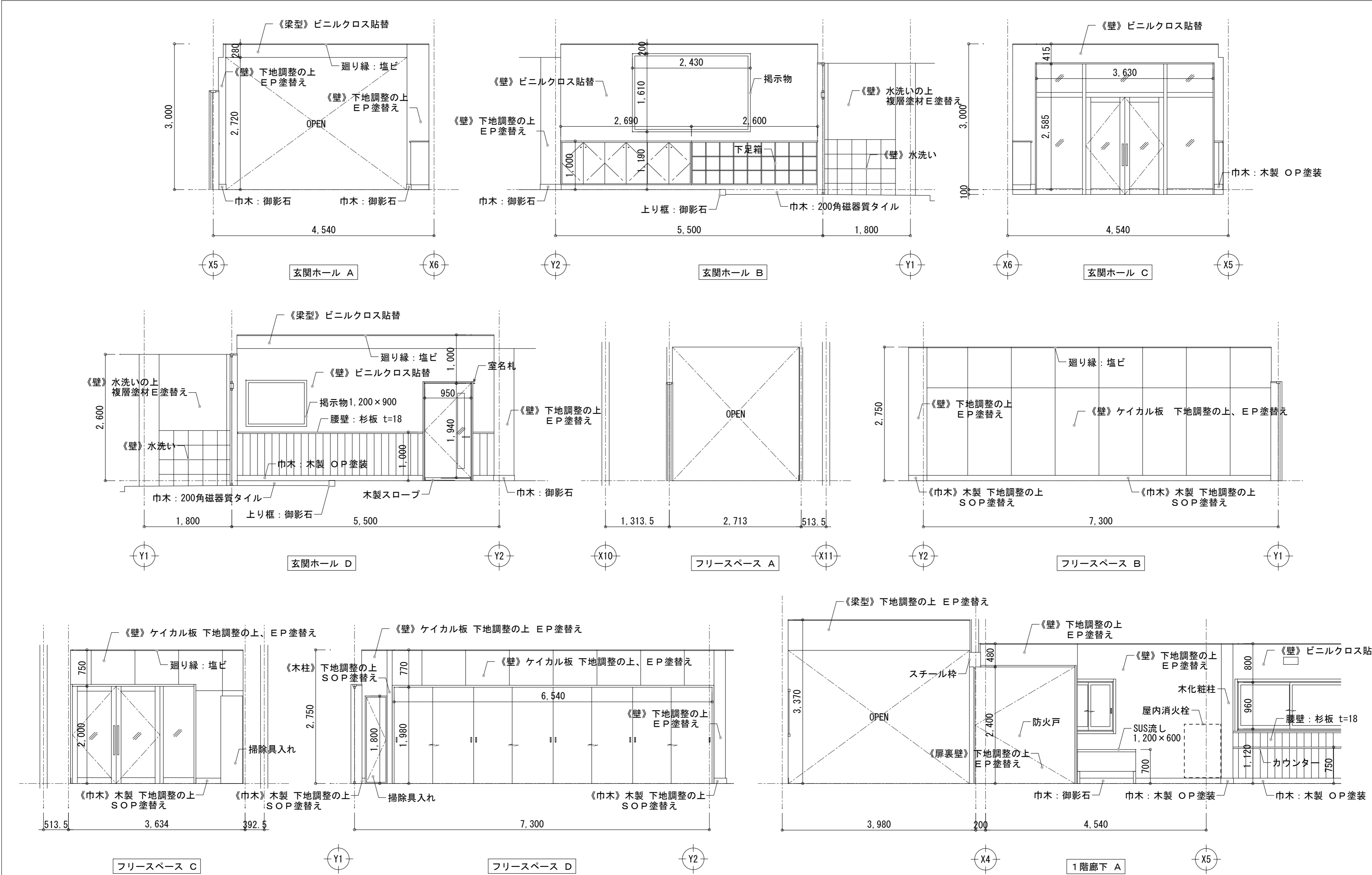
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

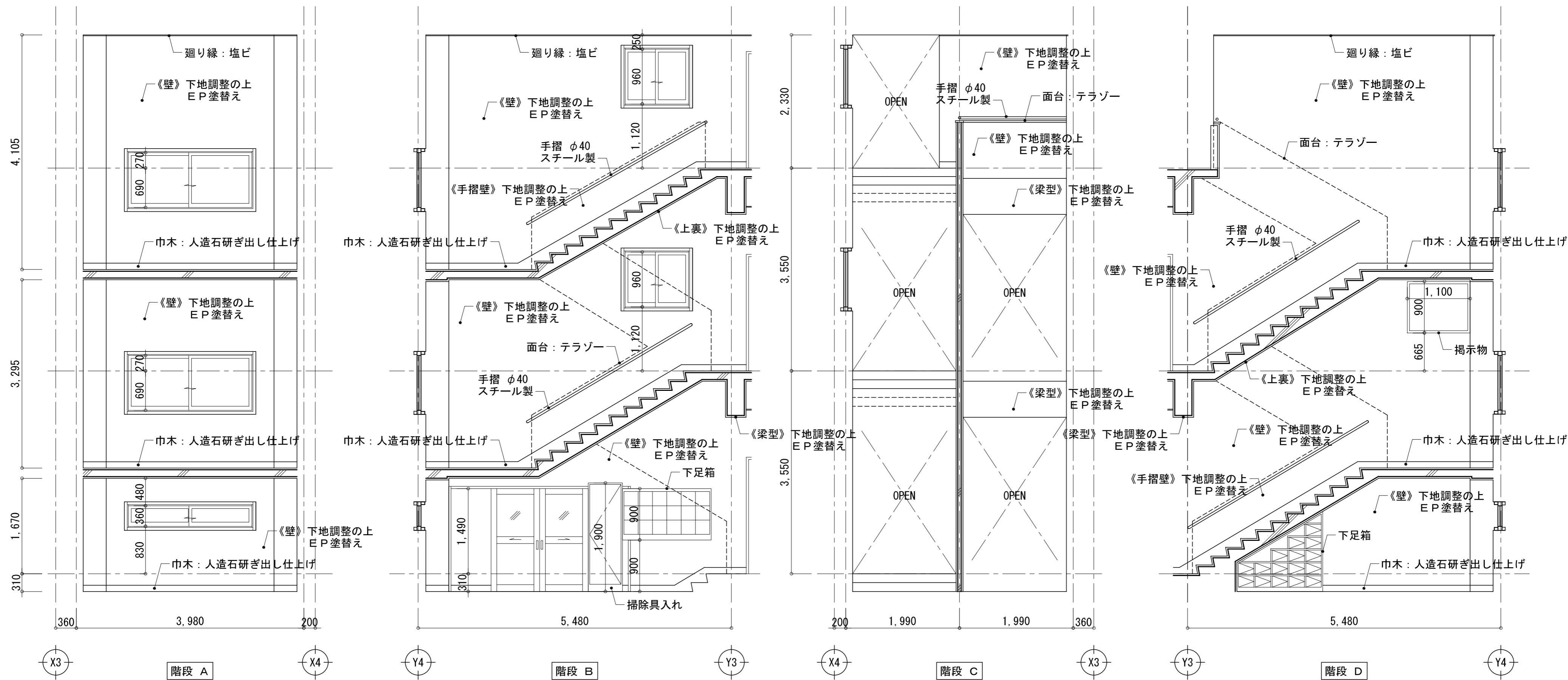
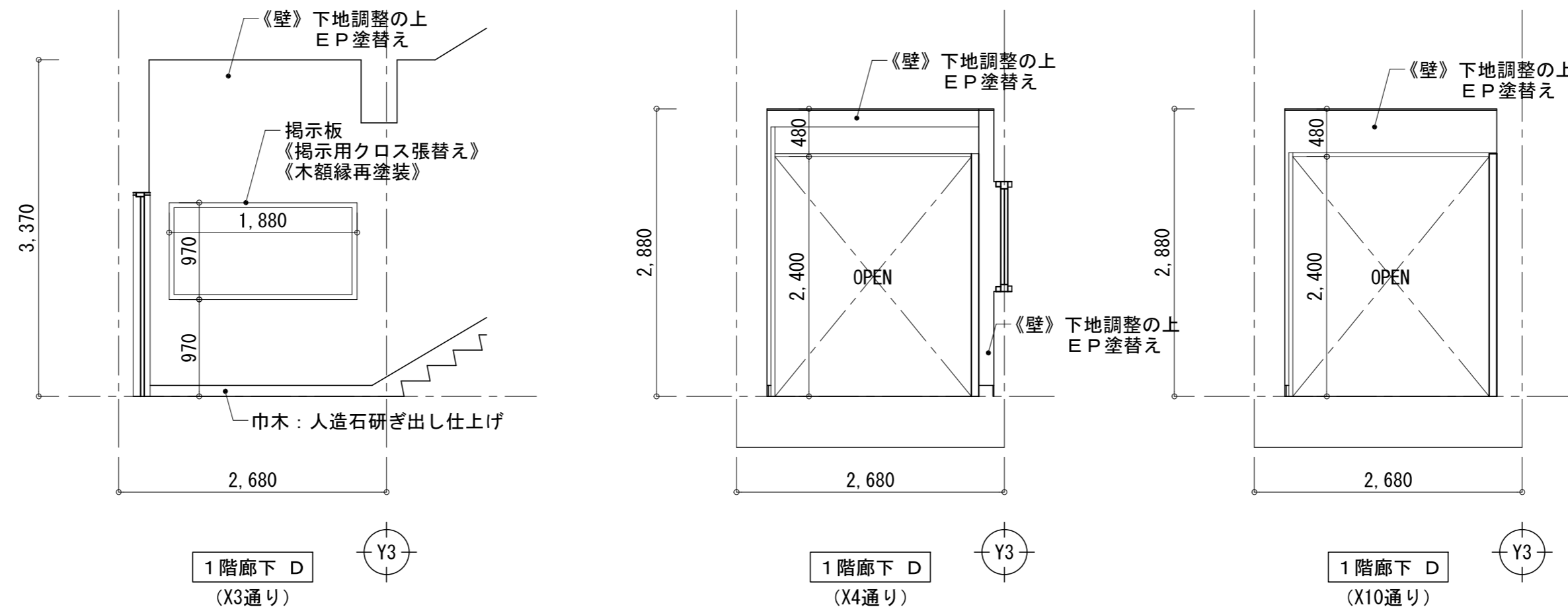
3階平面詳細図

A - 33

S : 1/50



※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。



※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

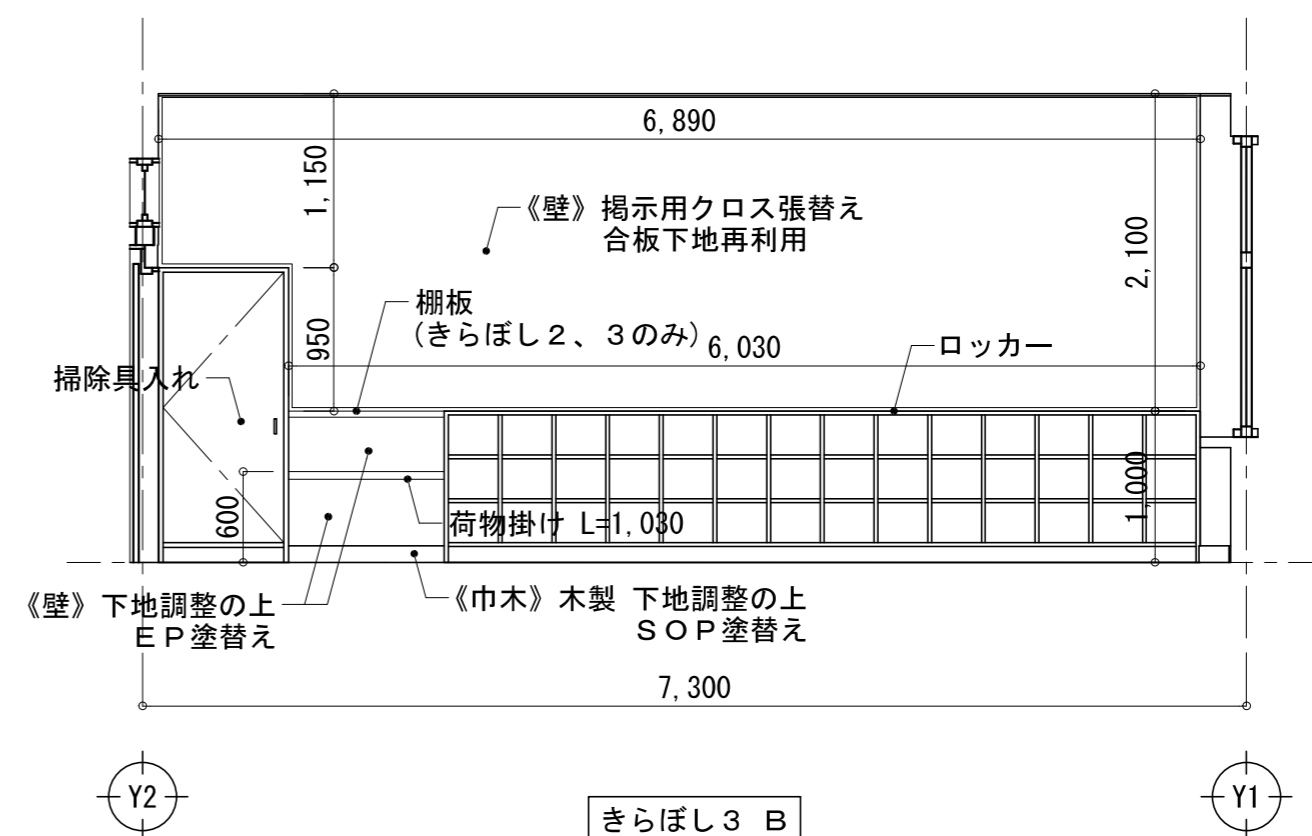
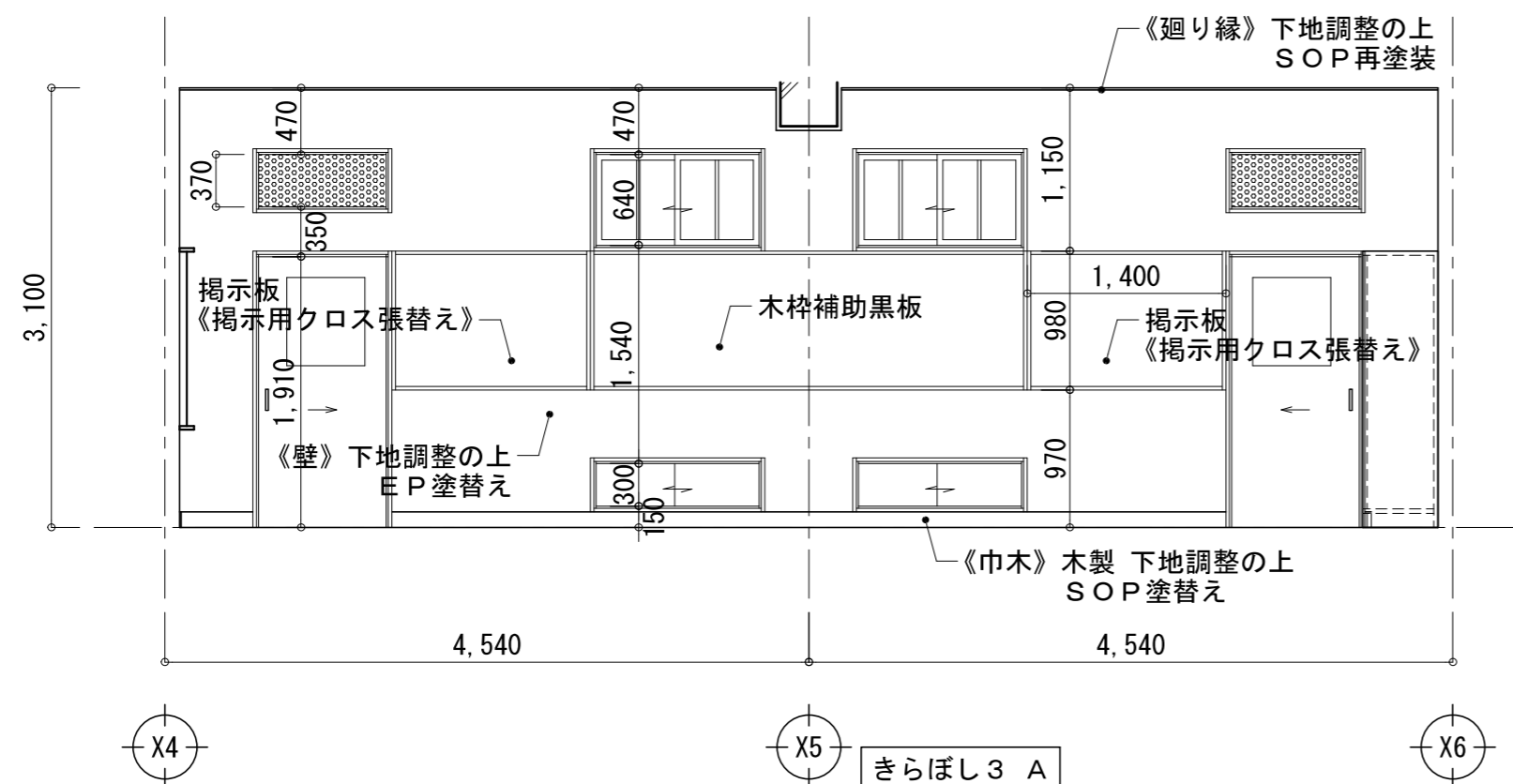
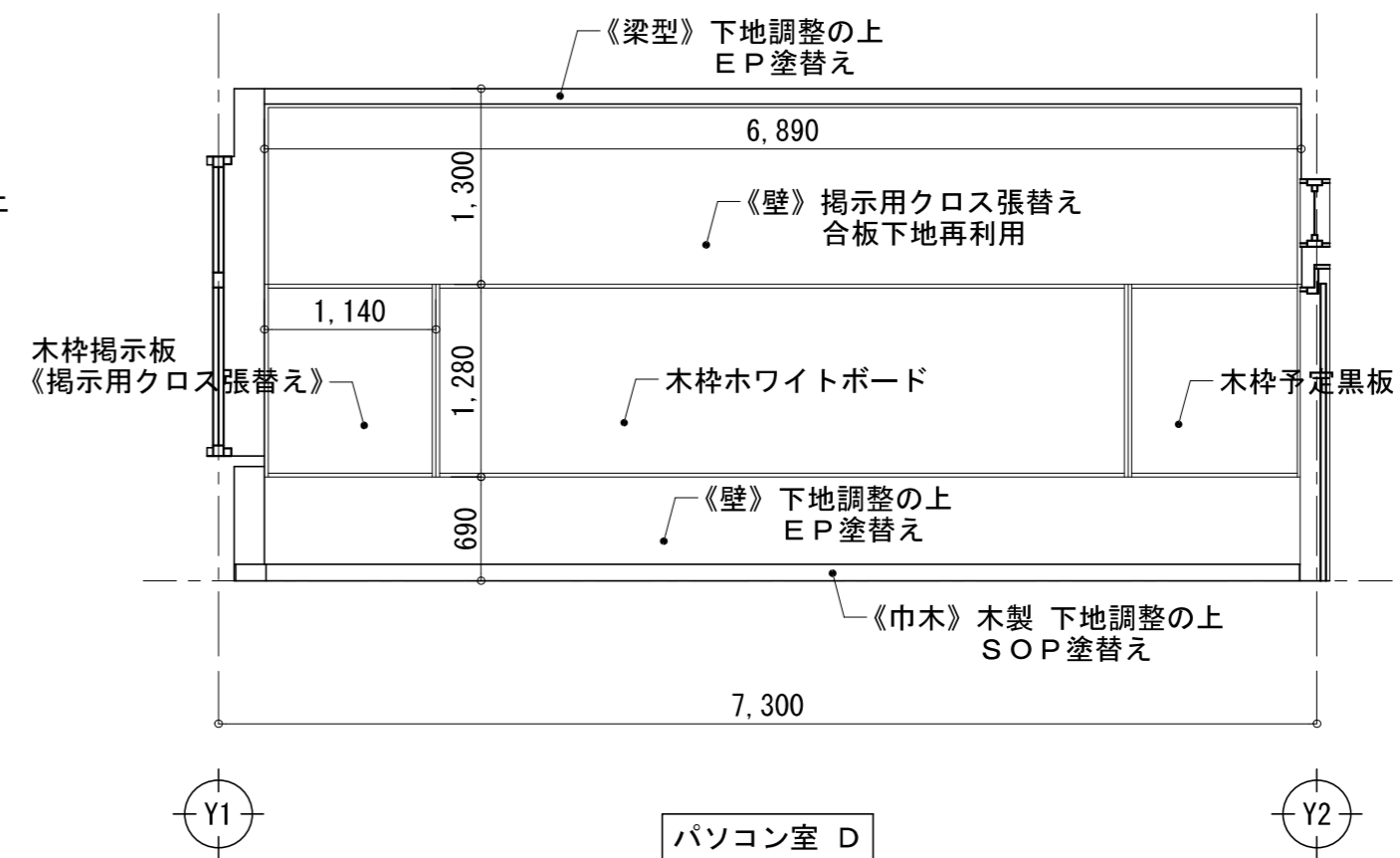
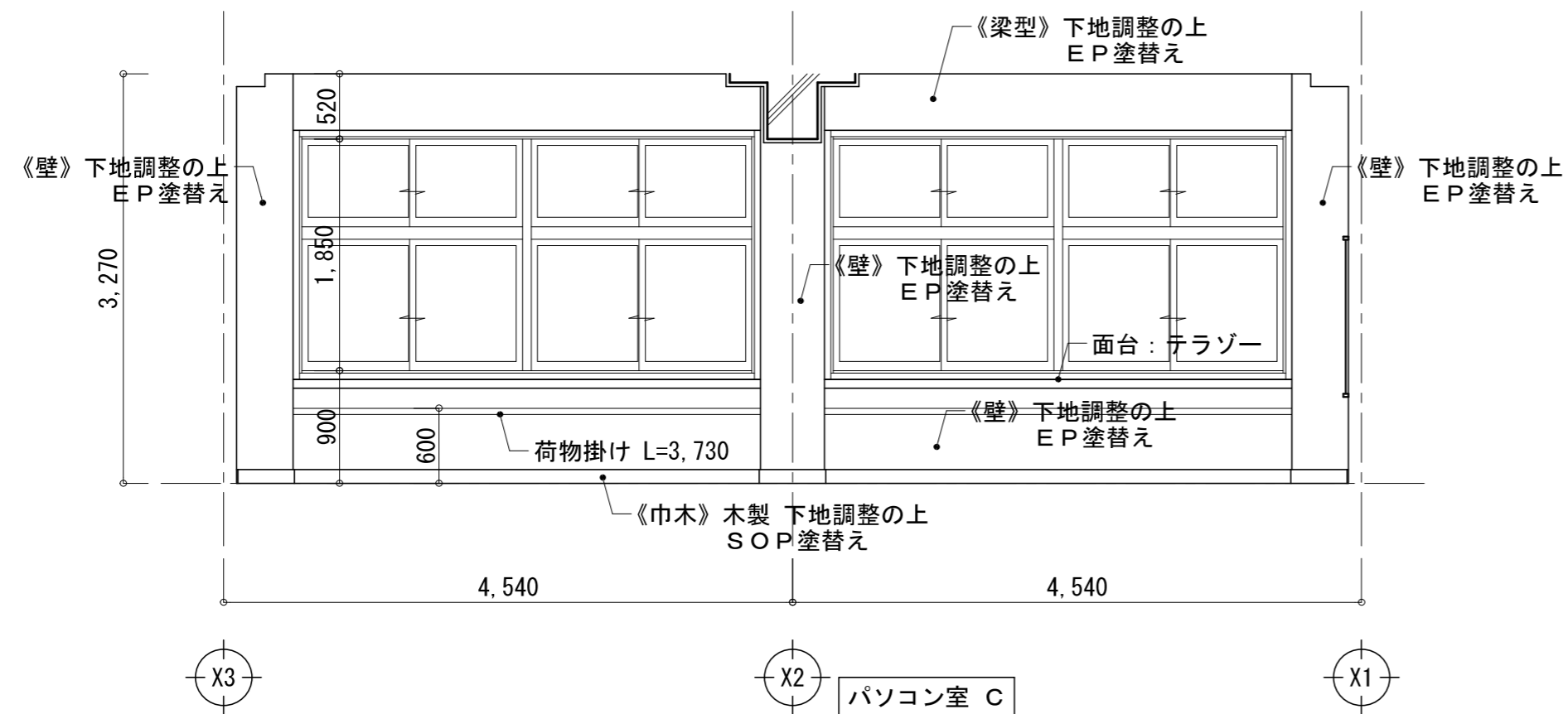
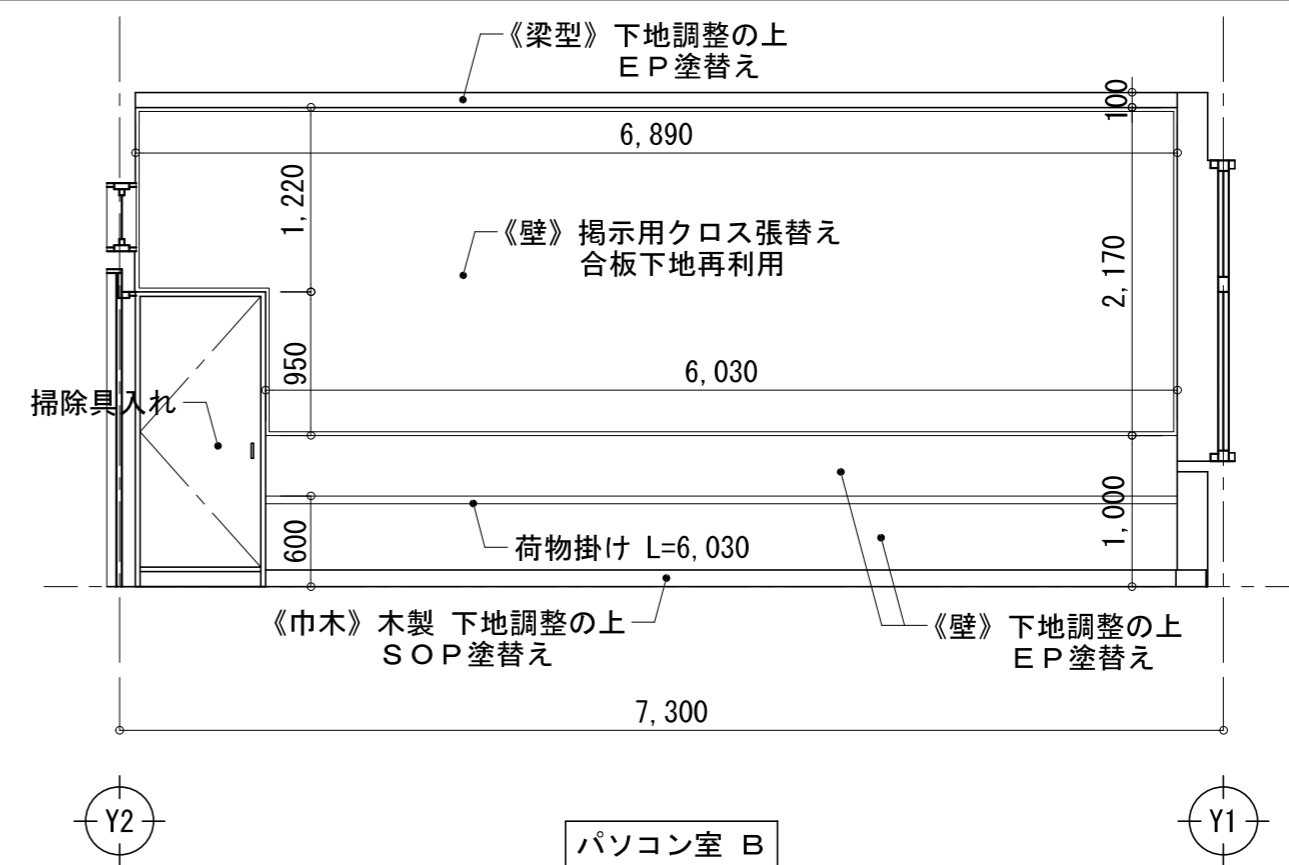
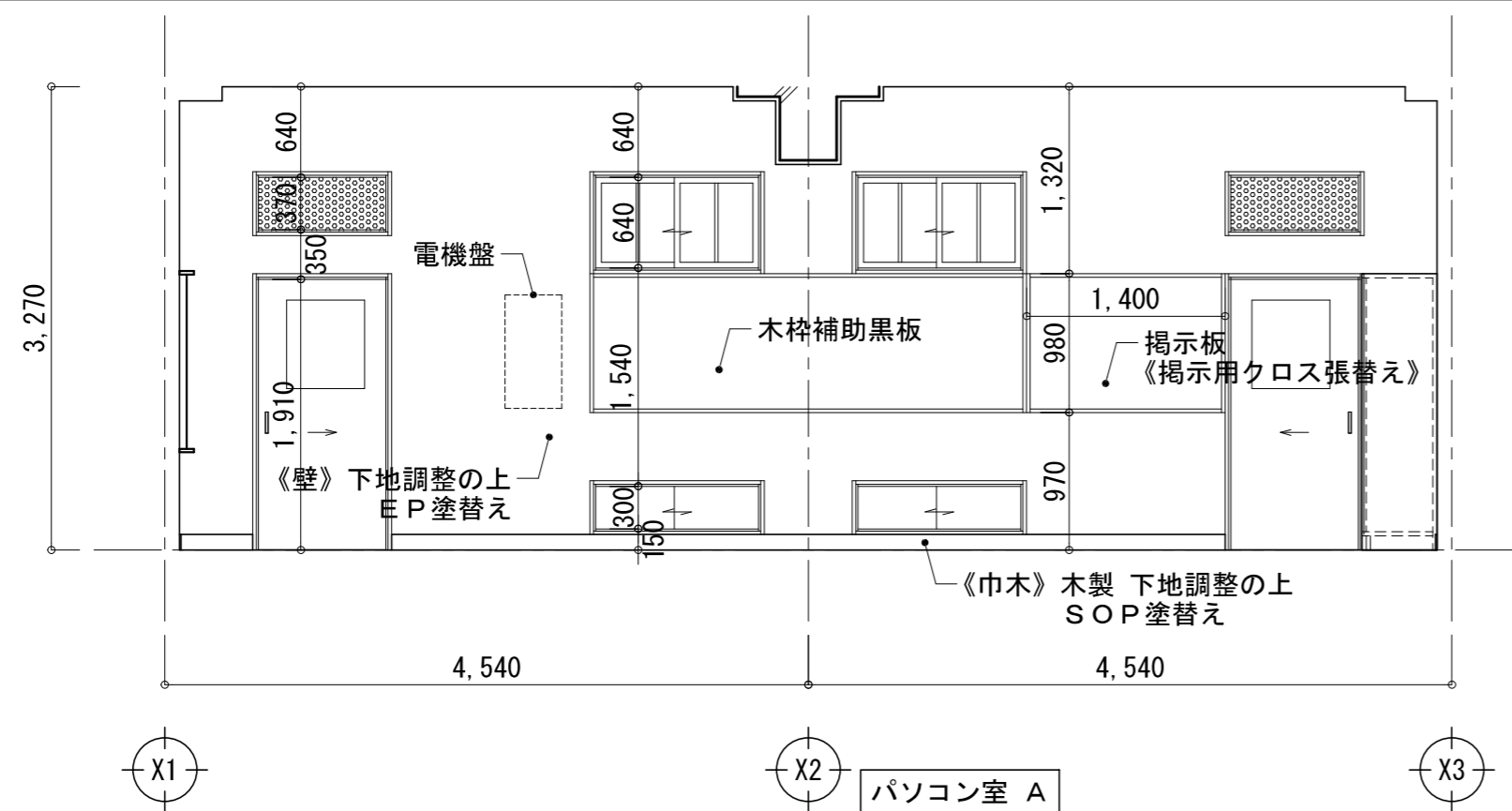
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校校長寿命化改修工事

校舎中央棟 1階展開図 3

A - 36

S : 1/50



※ きらぼし 1、2はきらぼし 3に準ずる。
※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

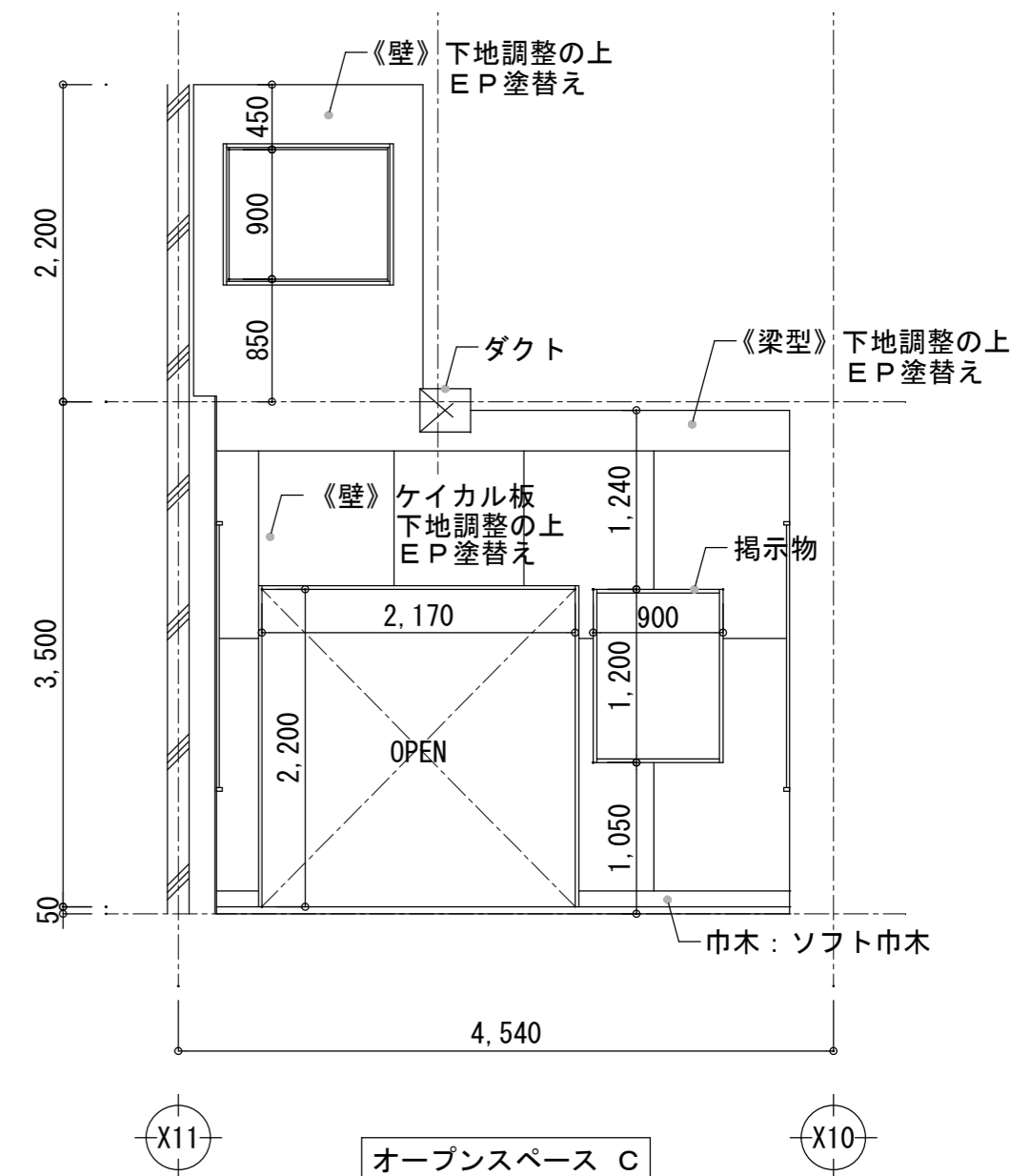
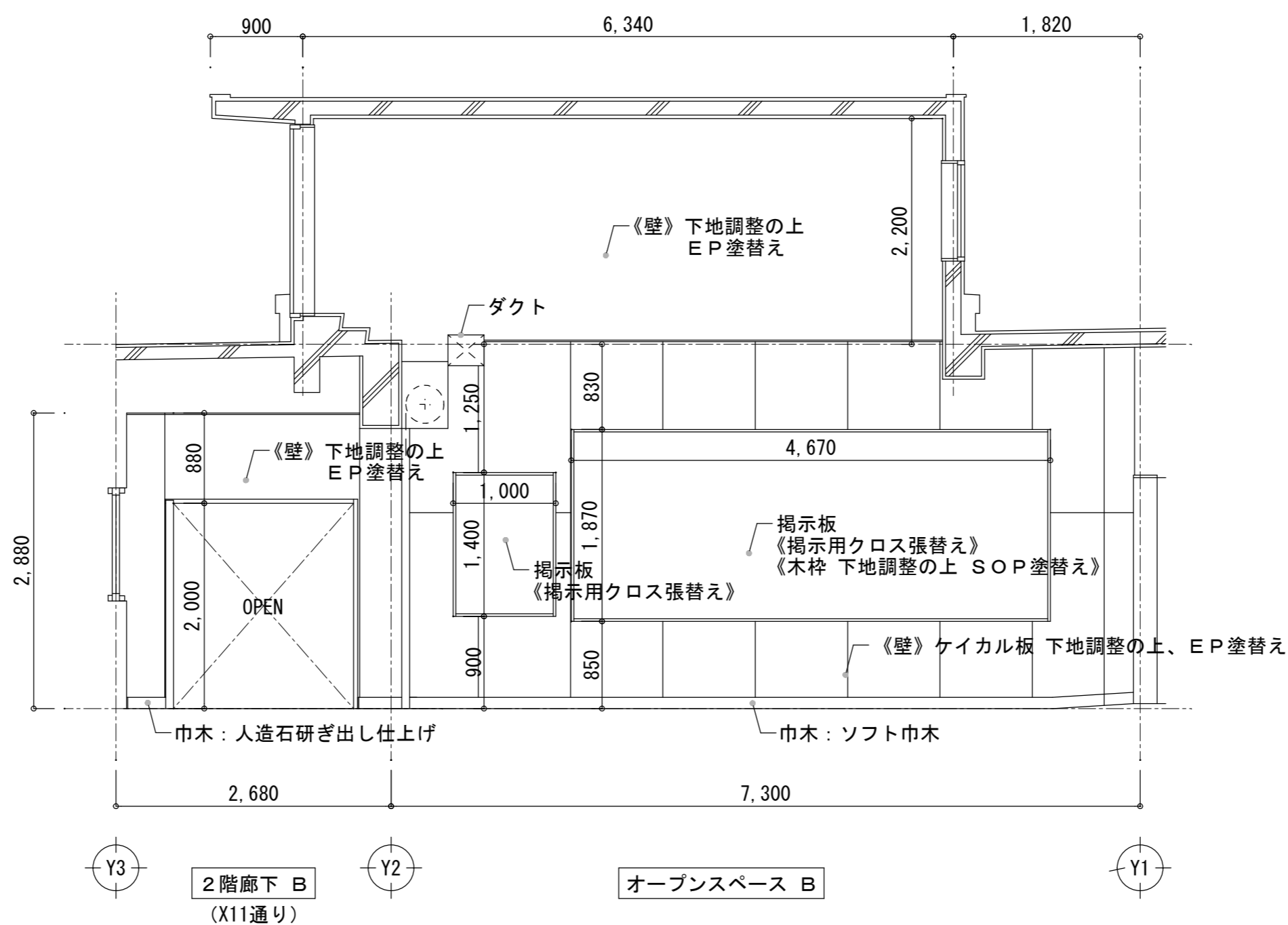
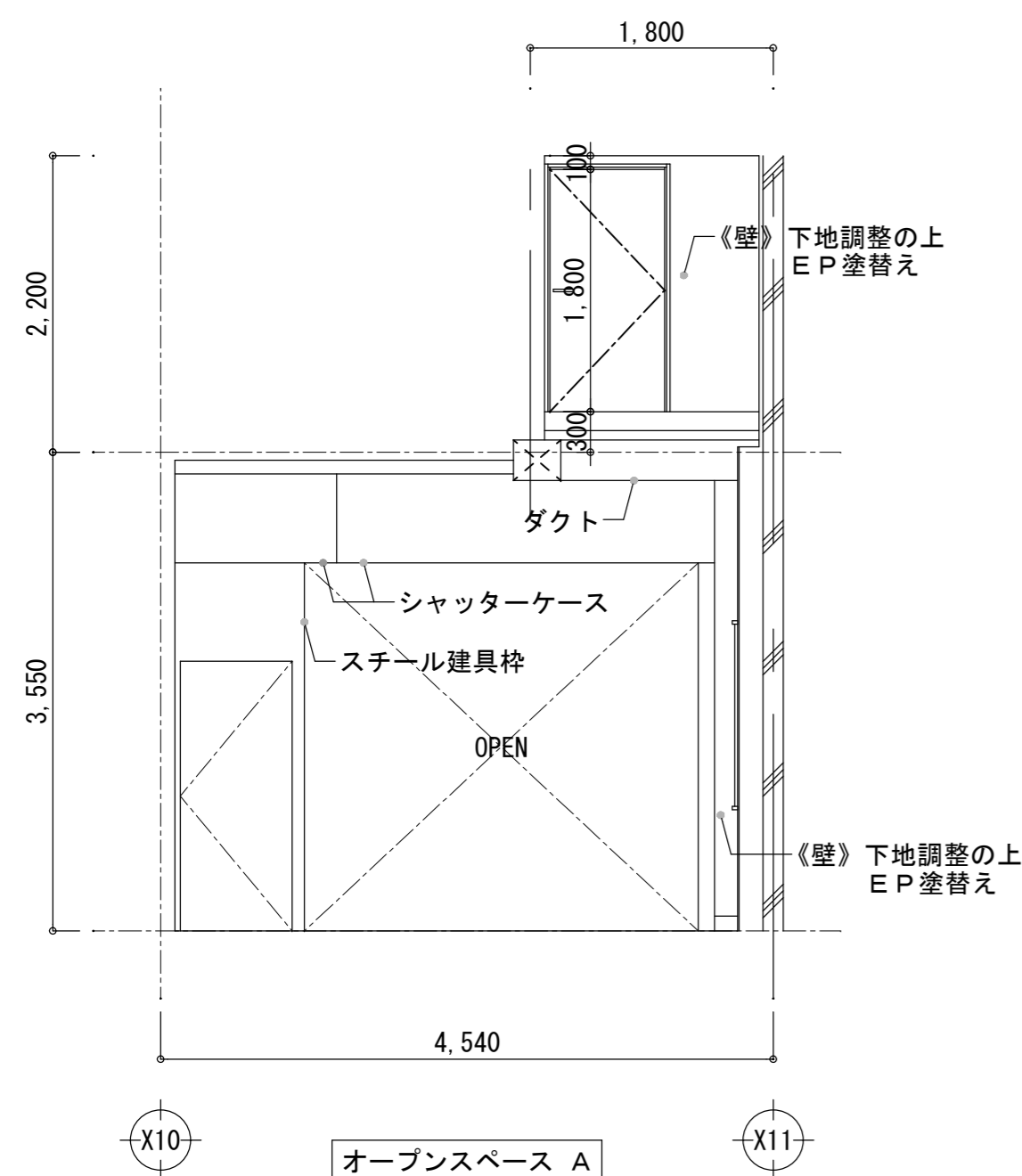
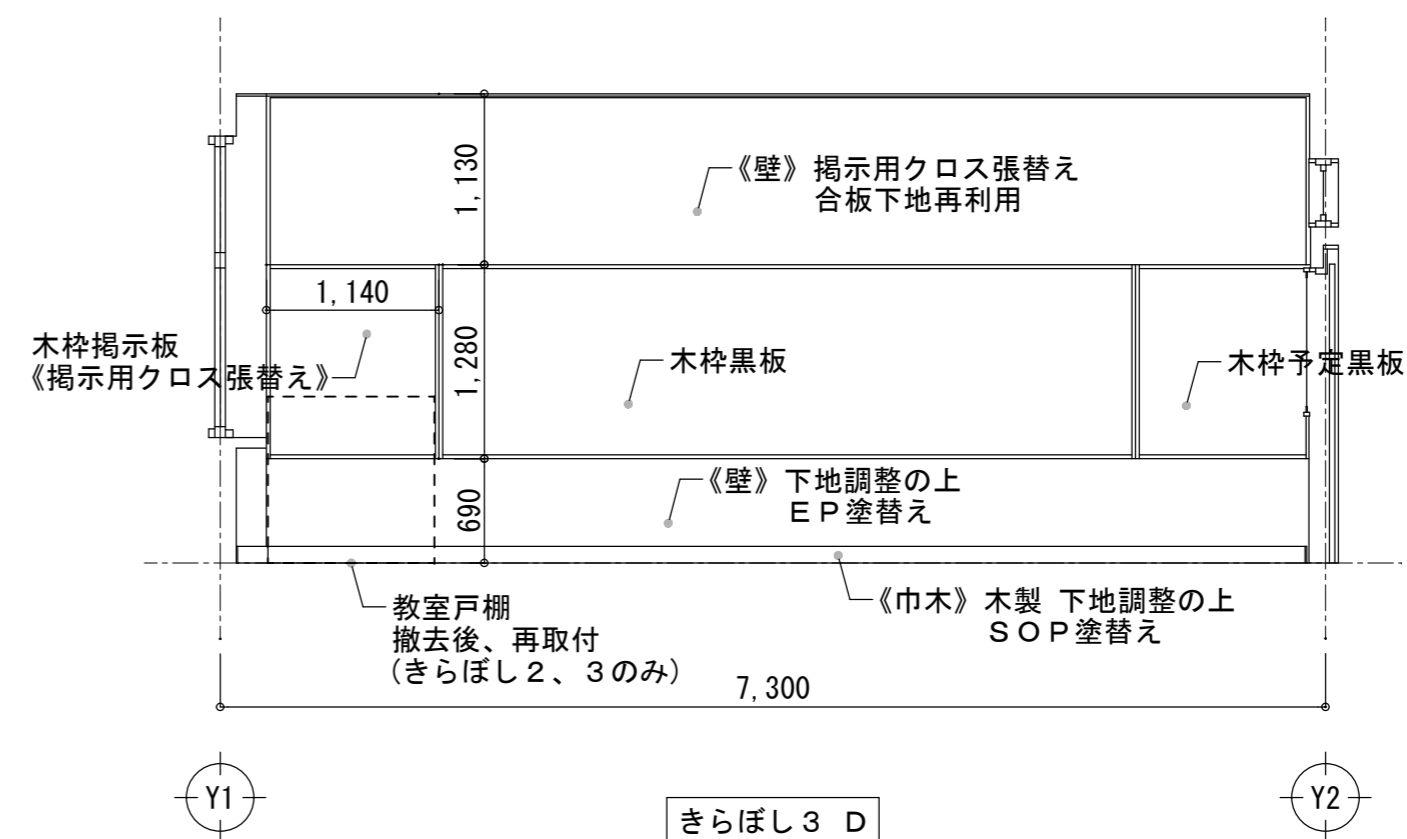
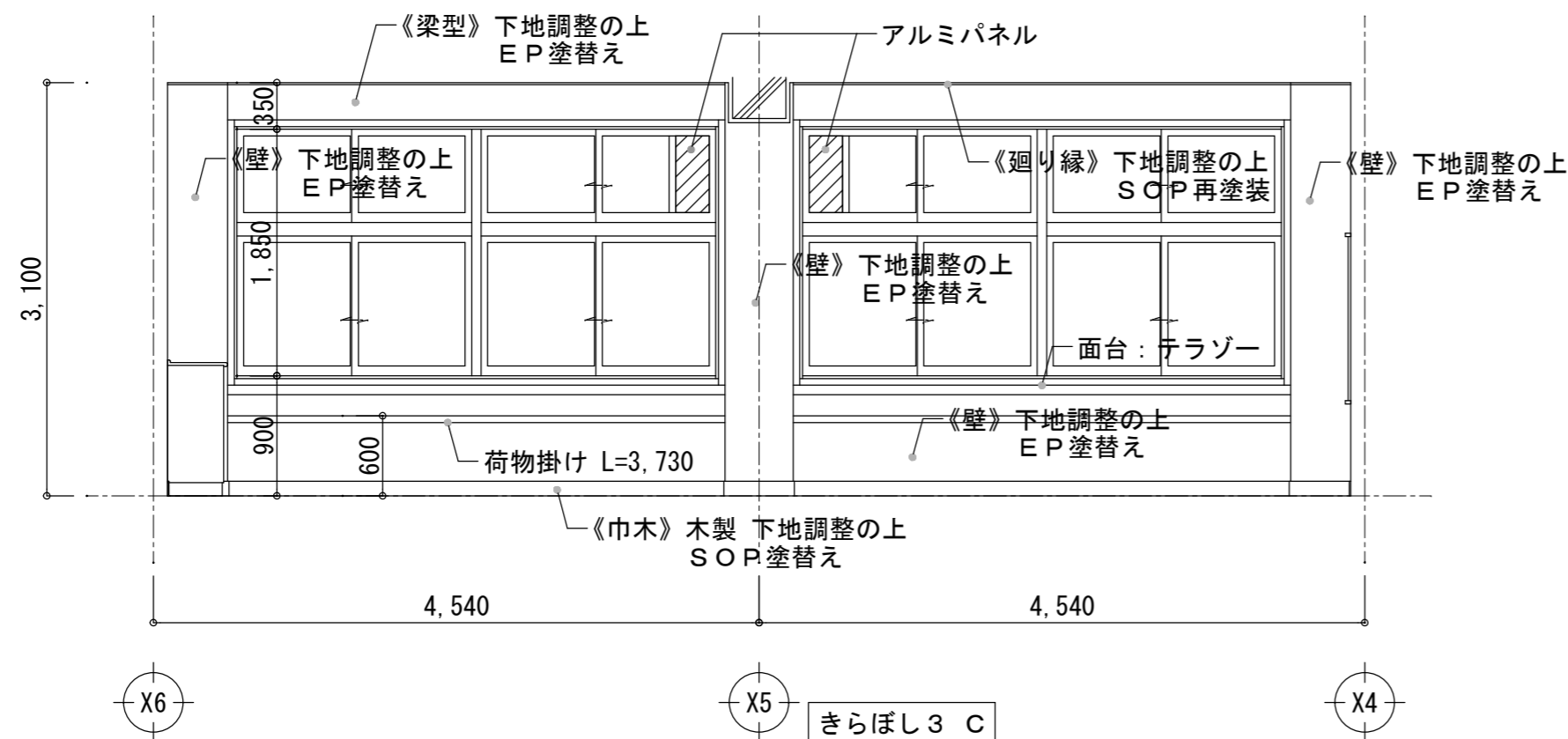
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校校長寿命化改修工事

校舎中央棟 2階展開図 1

A - 37

S : 1/50



※ きらぼし 1、2はきらぼし 3に準ずる。
※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。

アルテック設計

津市大谷町 2 3 3 番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

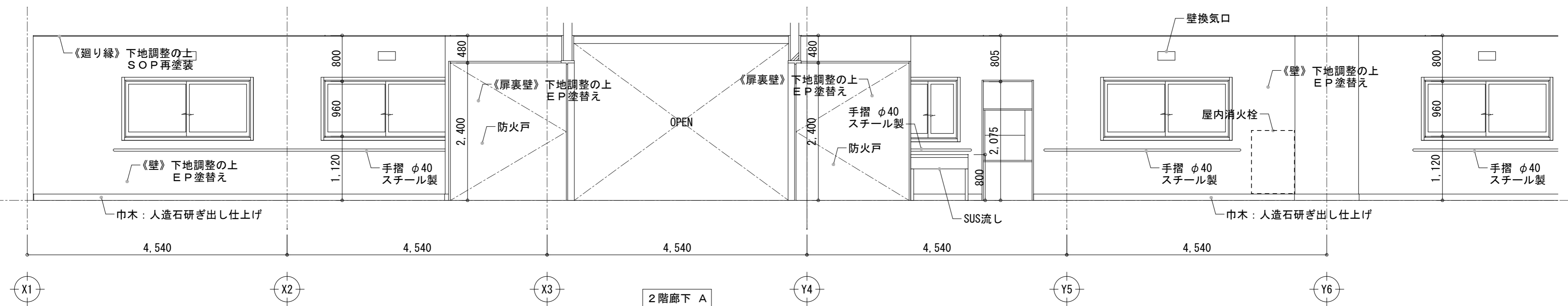
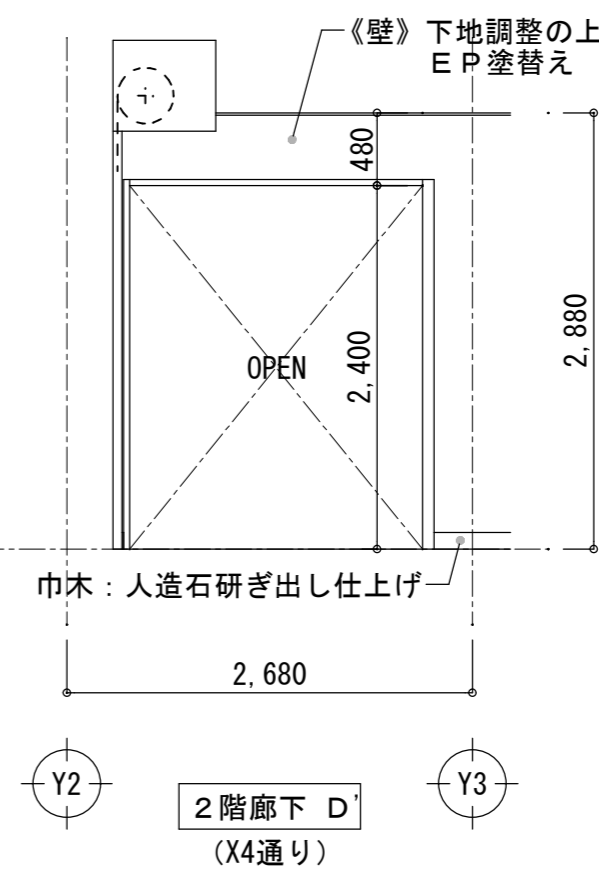
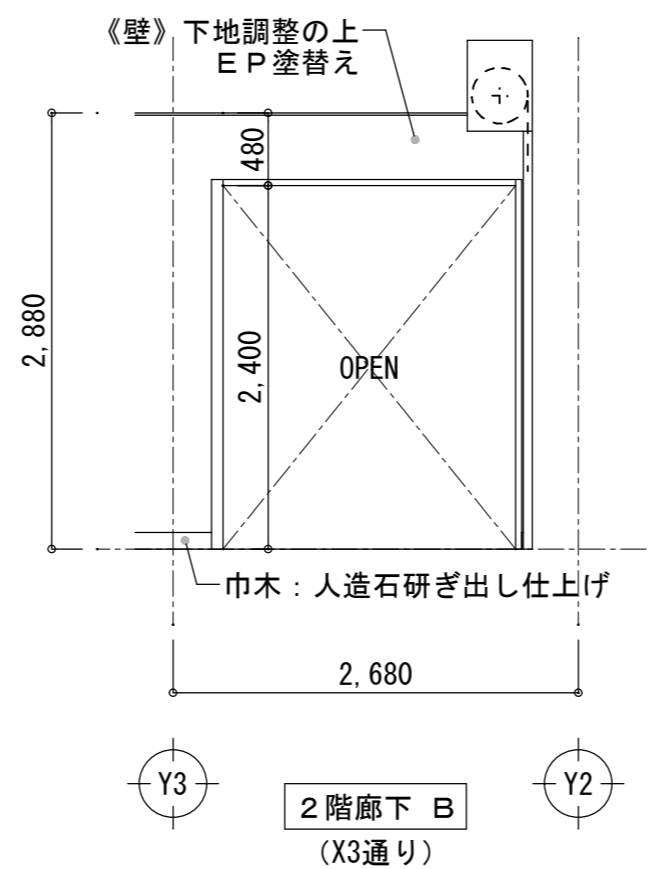
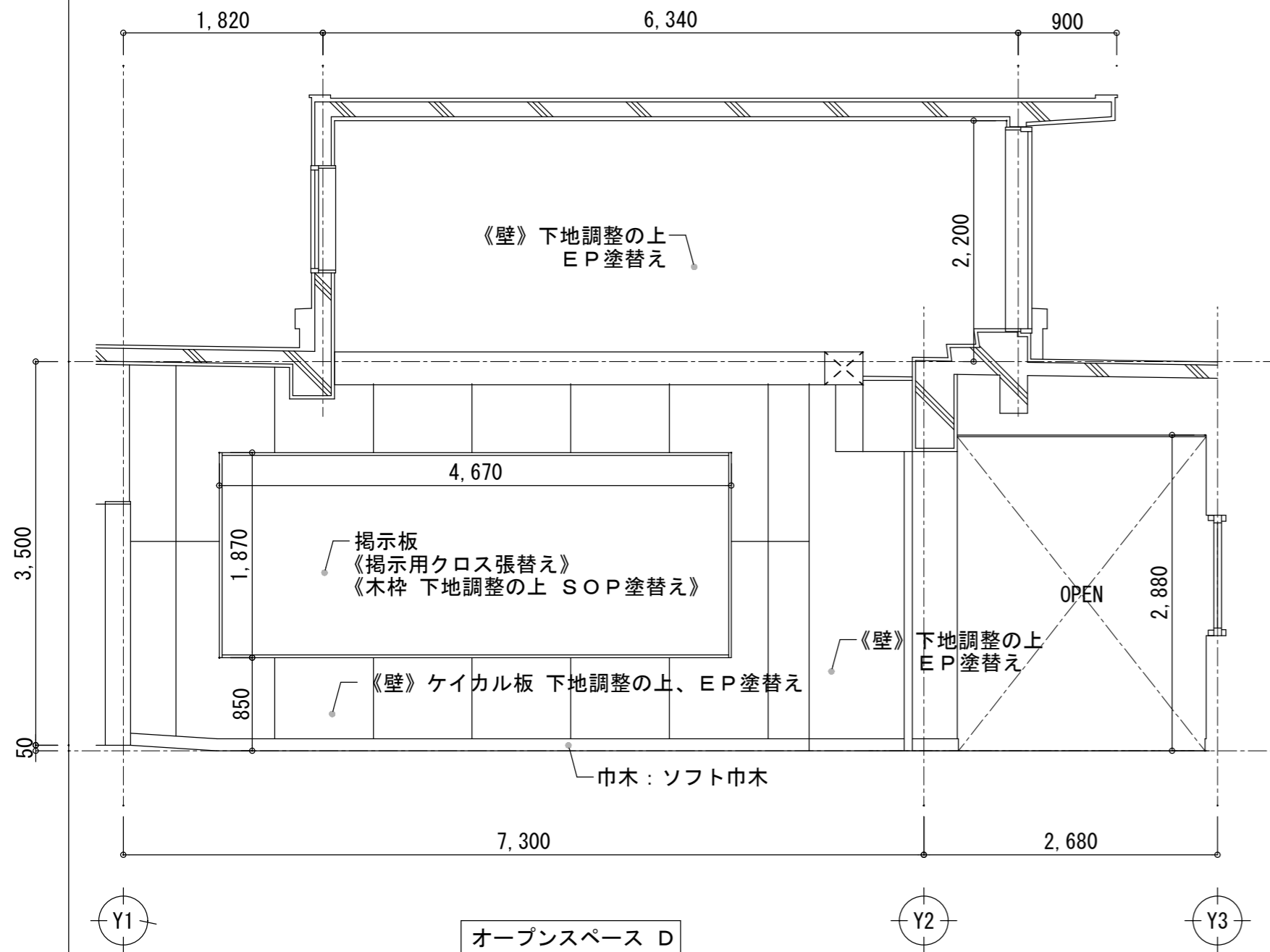
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校校長寿命化改修工事

校舎中央棟 2階展開図 2

A - 38

S: 1/50



アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

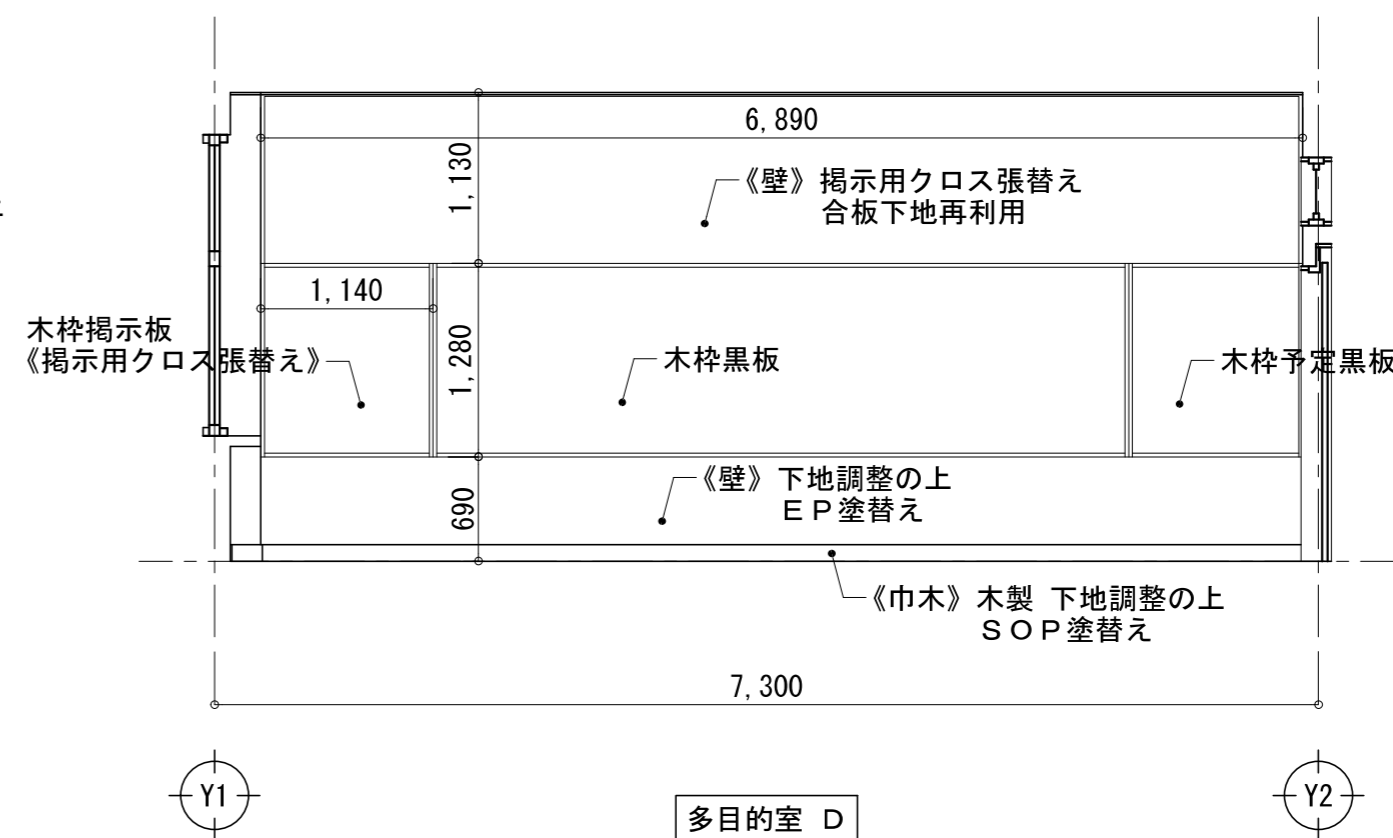
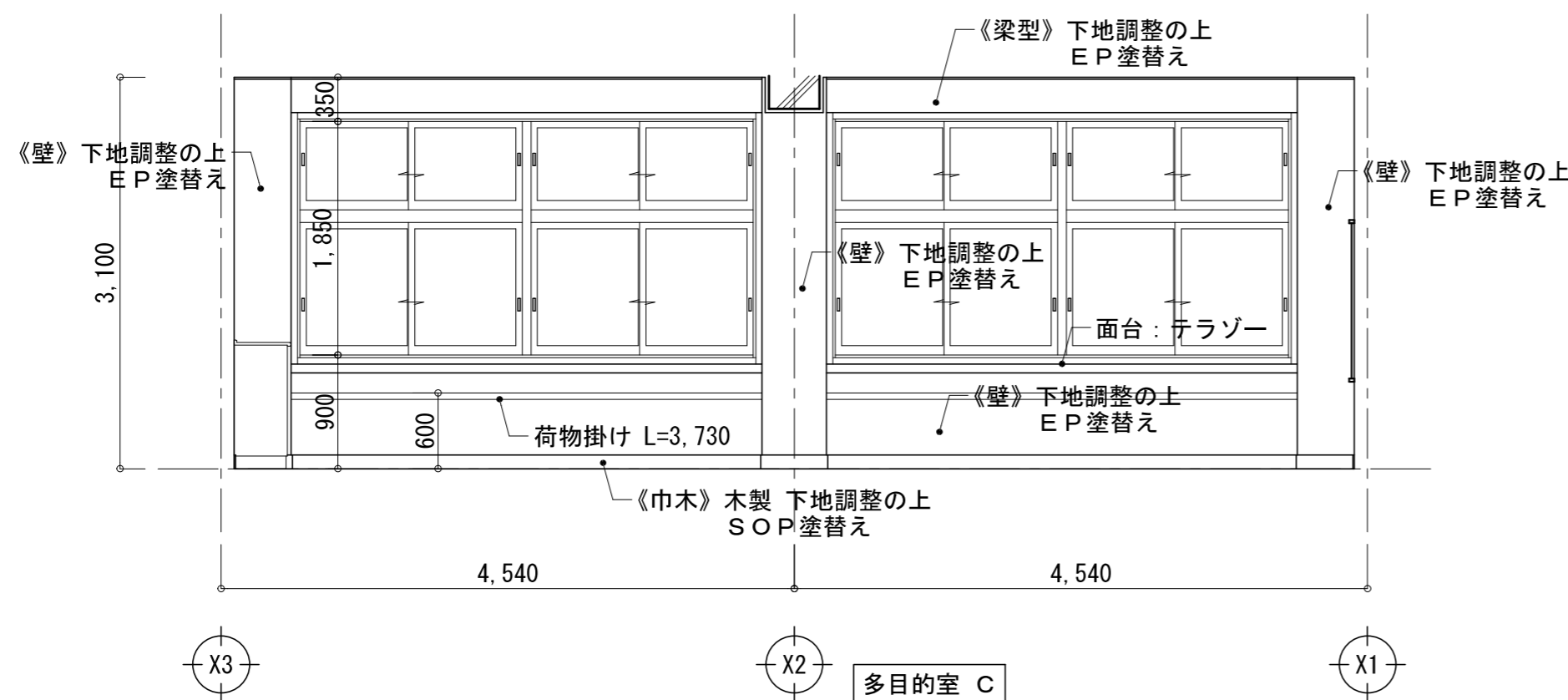
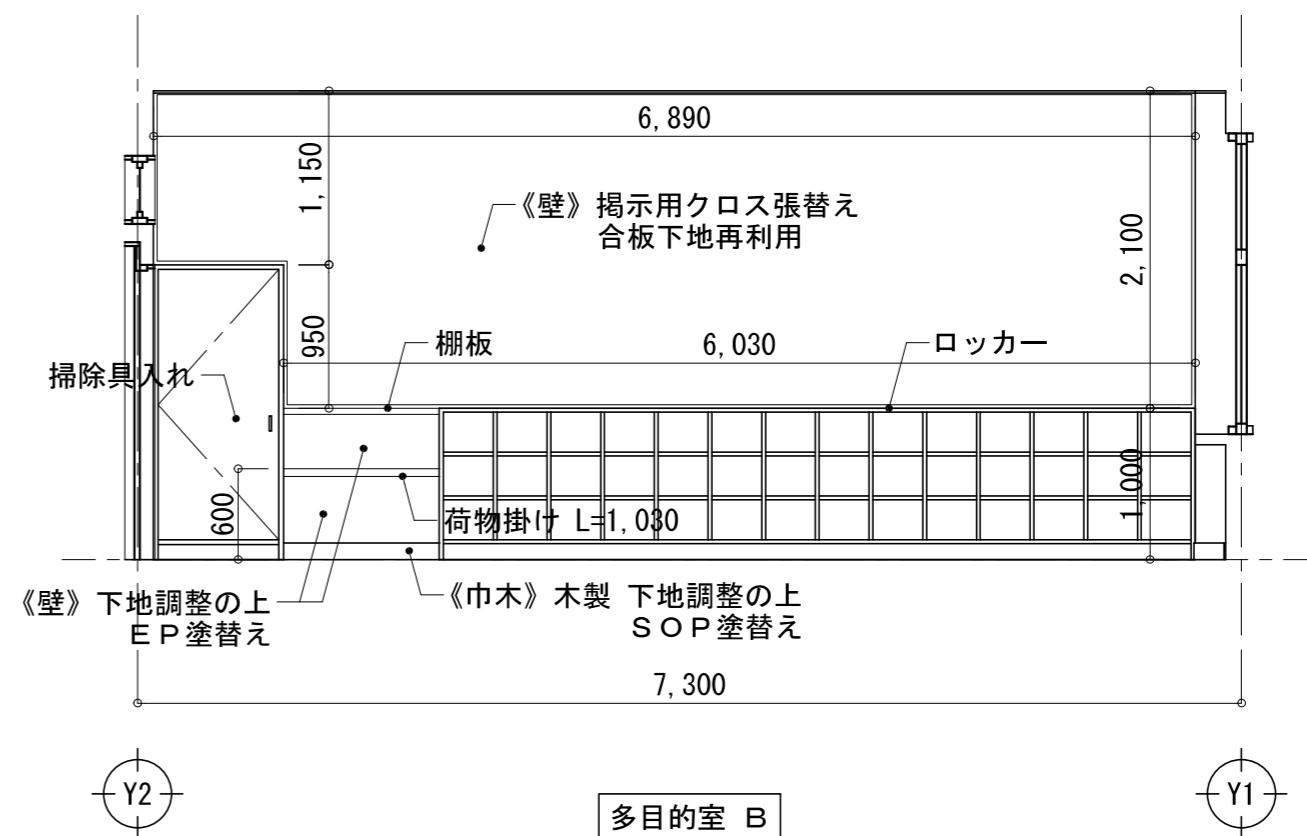
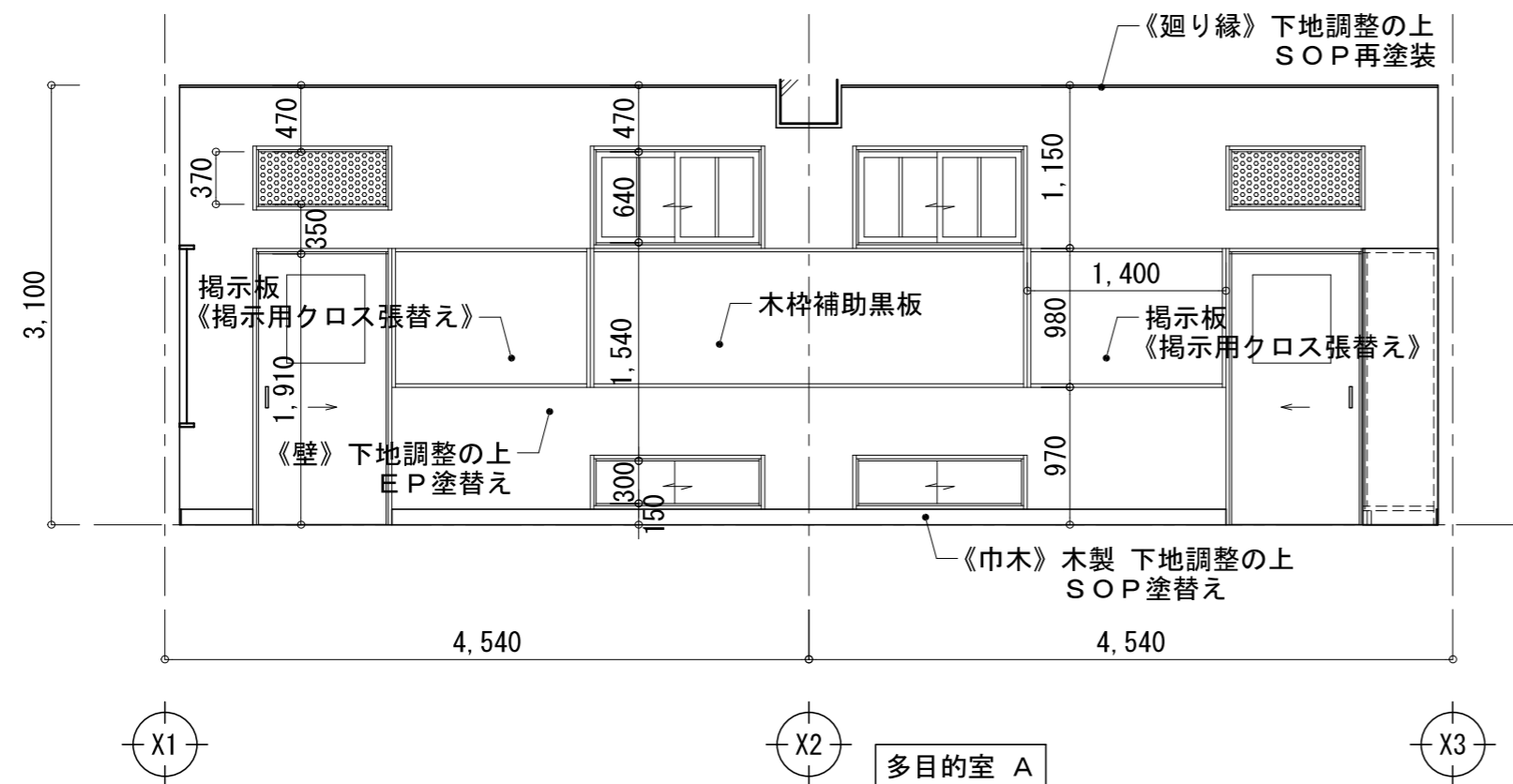
校舎中央棟 2階展開図3

A - 39

S: 1/50



※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。



※ 非常物資保管室は多目的室に準ずる。
※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

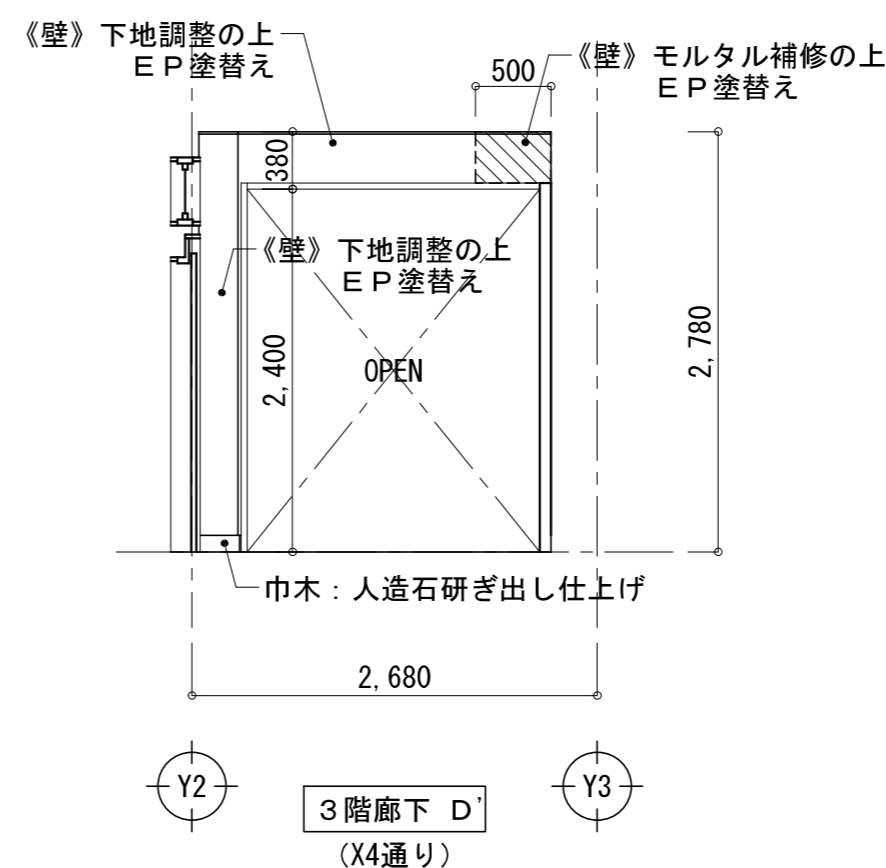
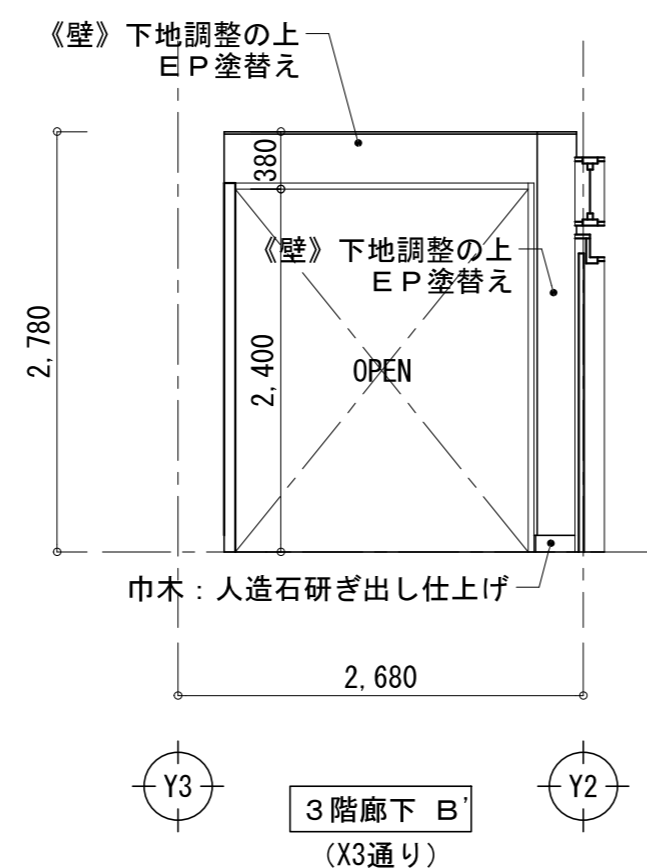
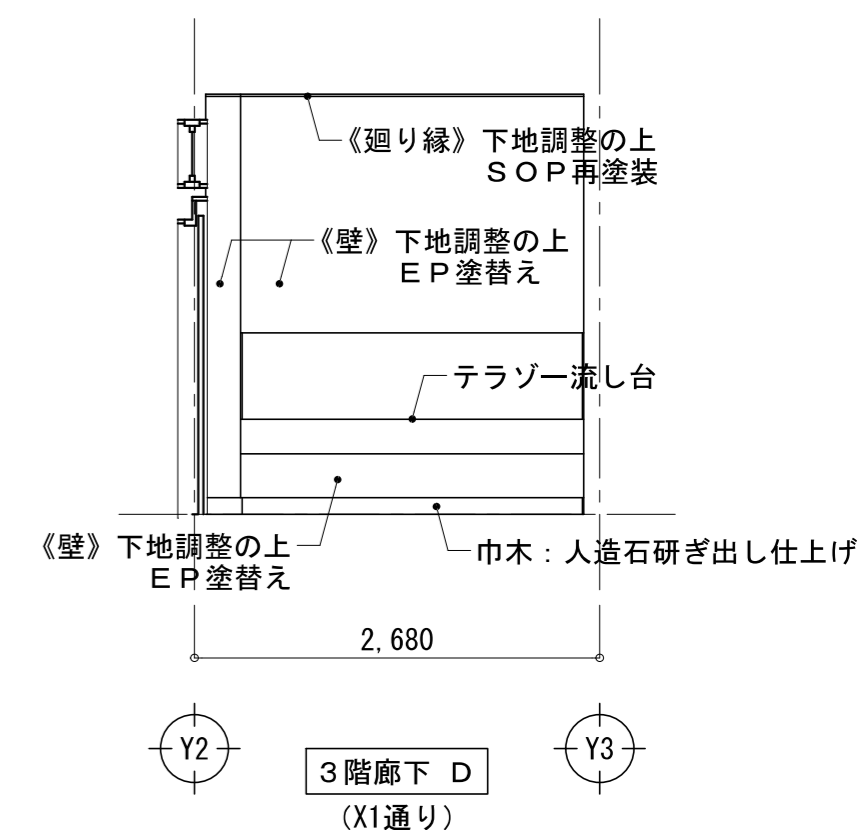
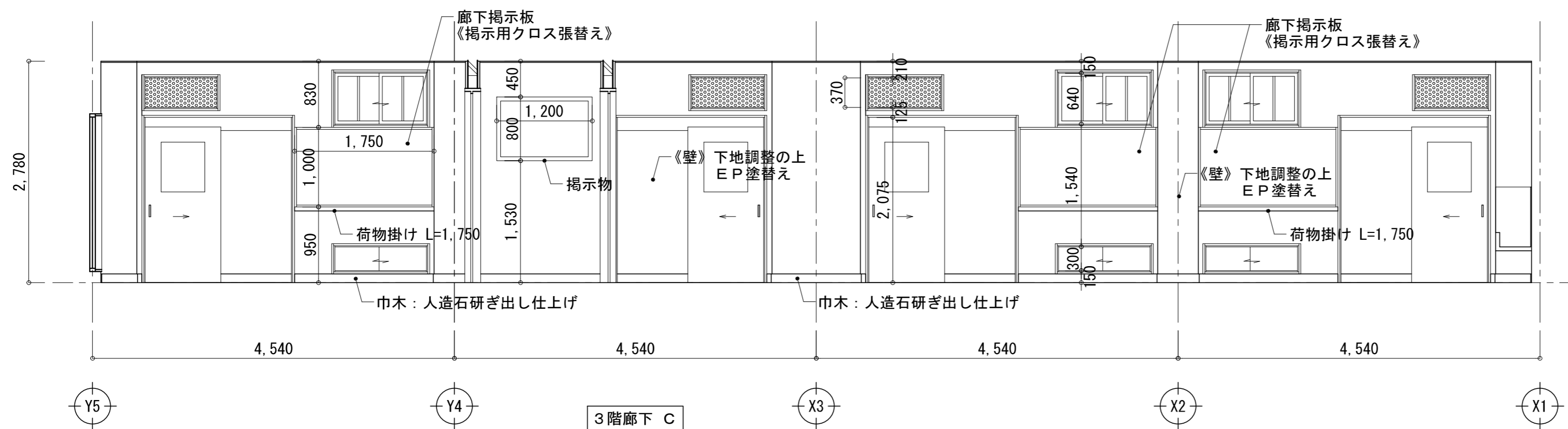
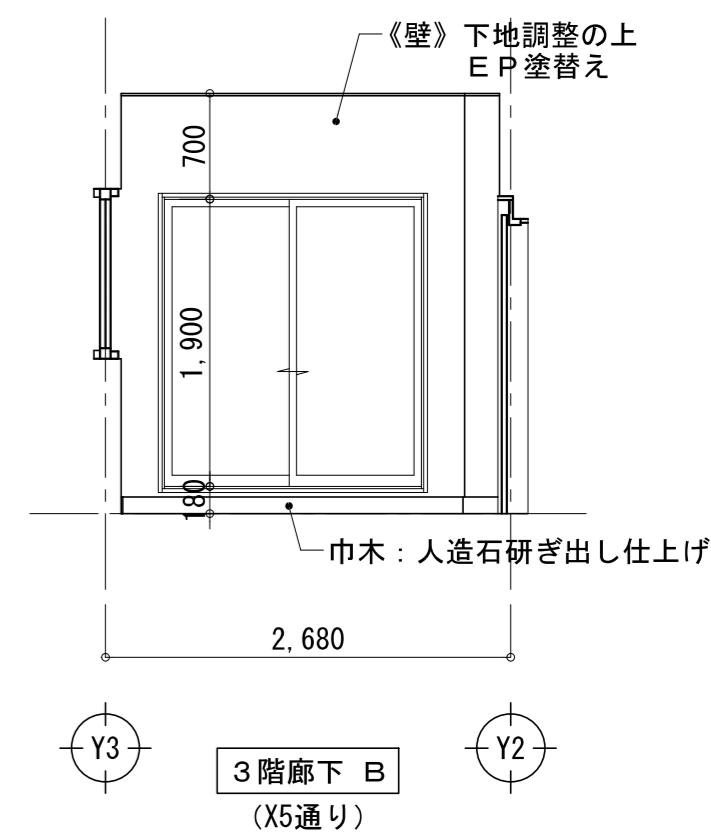
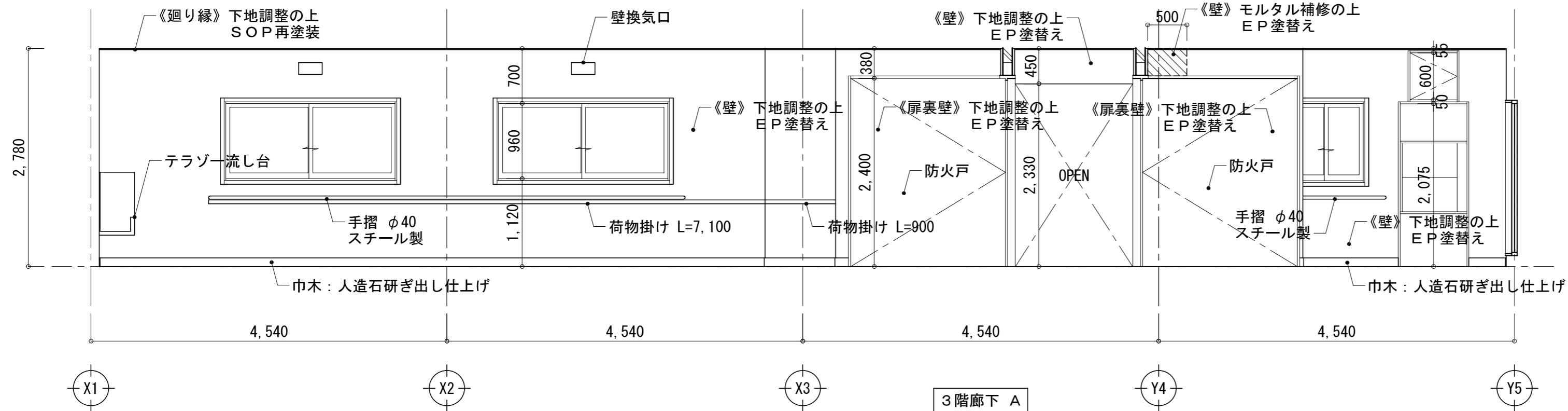
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校校長寿命化改修工事

校舎中央棟 3階展開図1

A - 41

S : 1/50



※ 壁塗替え範囲の掲示物等は、一時撤去の後再取付とする。

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

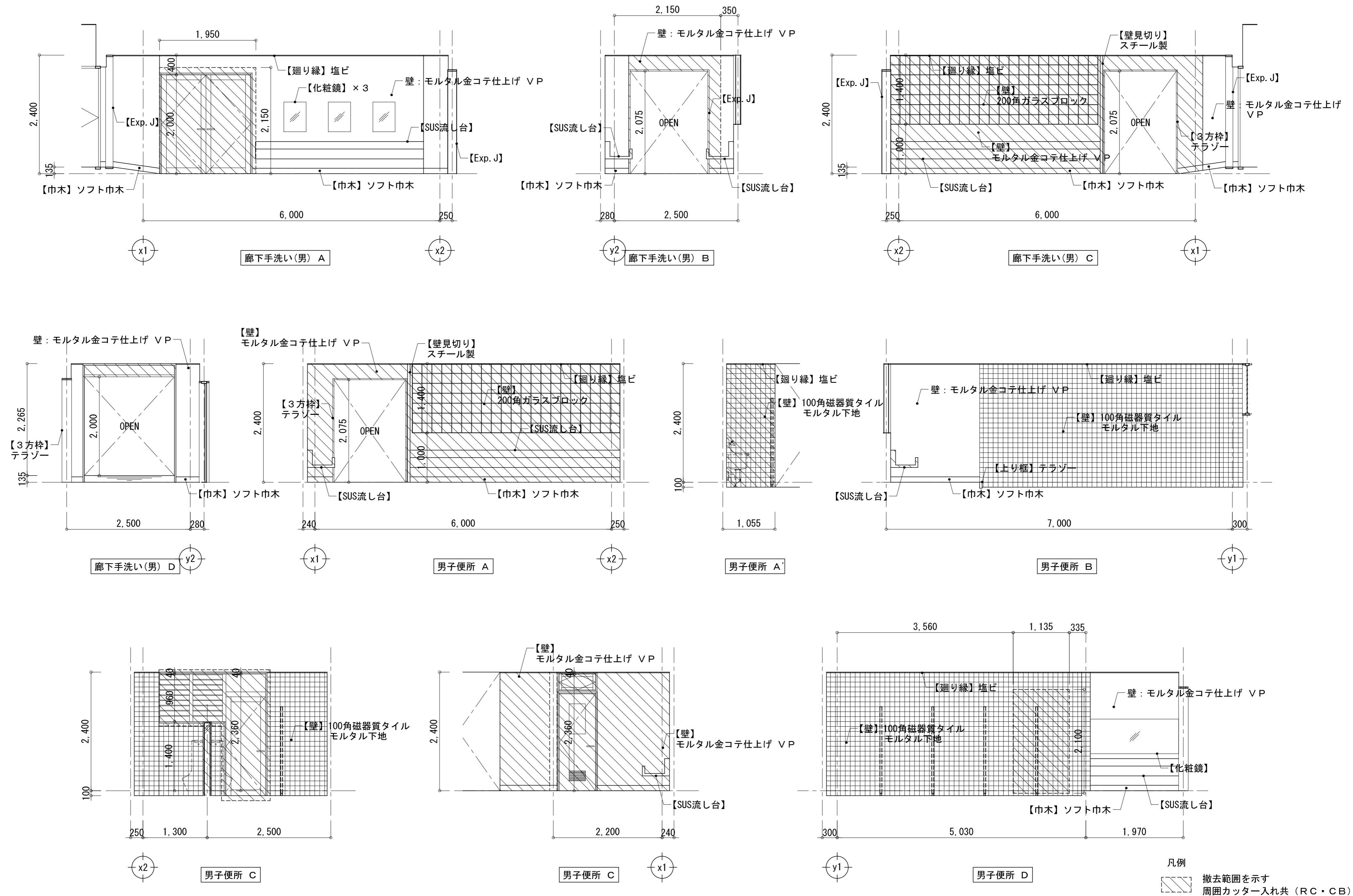
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しのものは既存のままとする。

津市立安濃小学校校長寿命化改修工事

校舎中央棟 3階展開図 2

A - 42

S : 1/50



アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

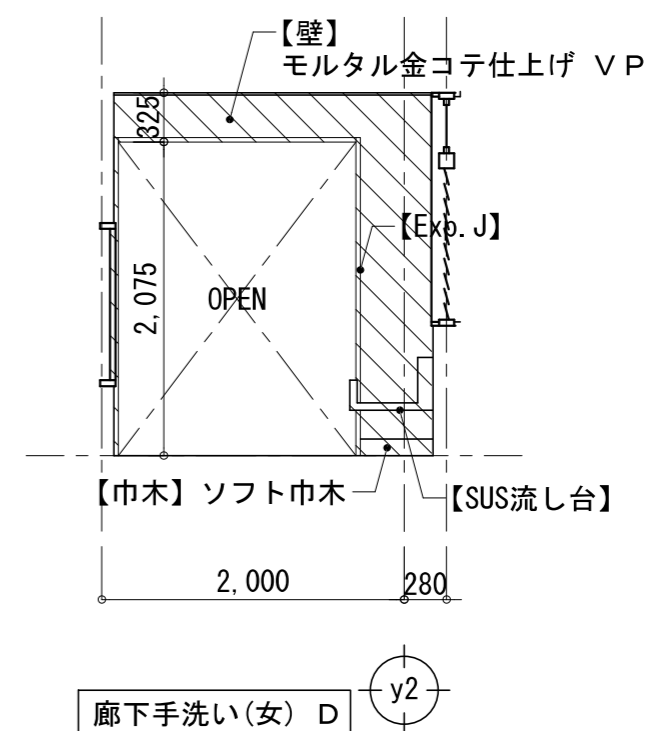
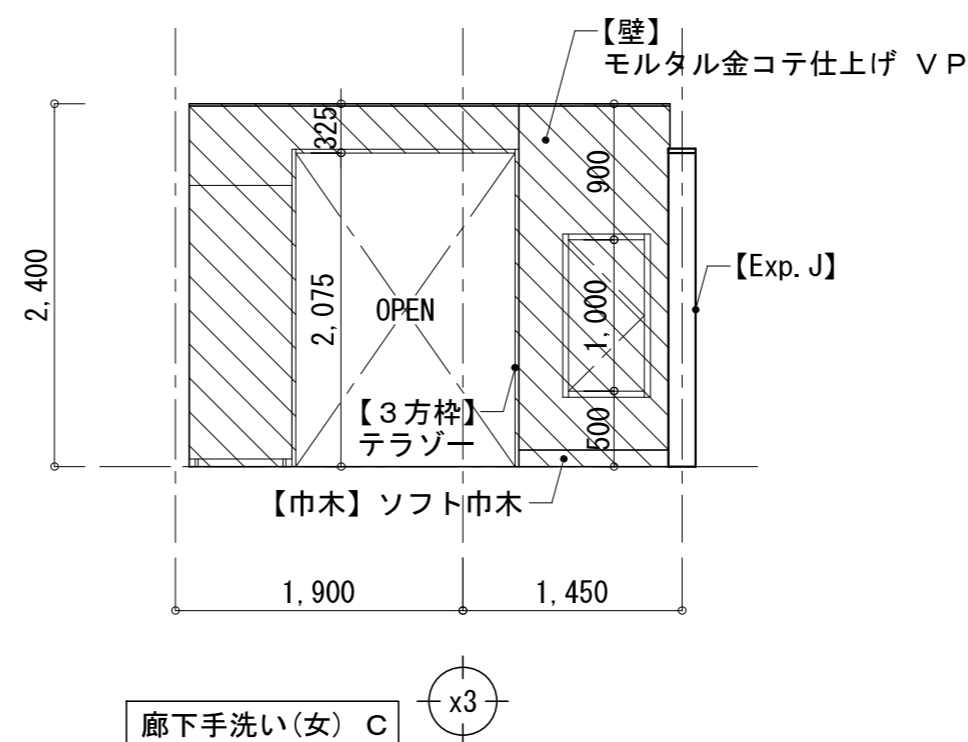
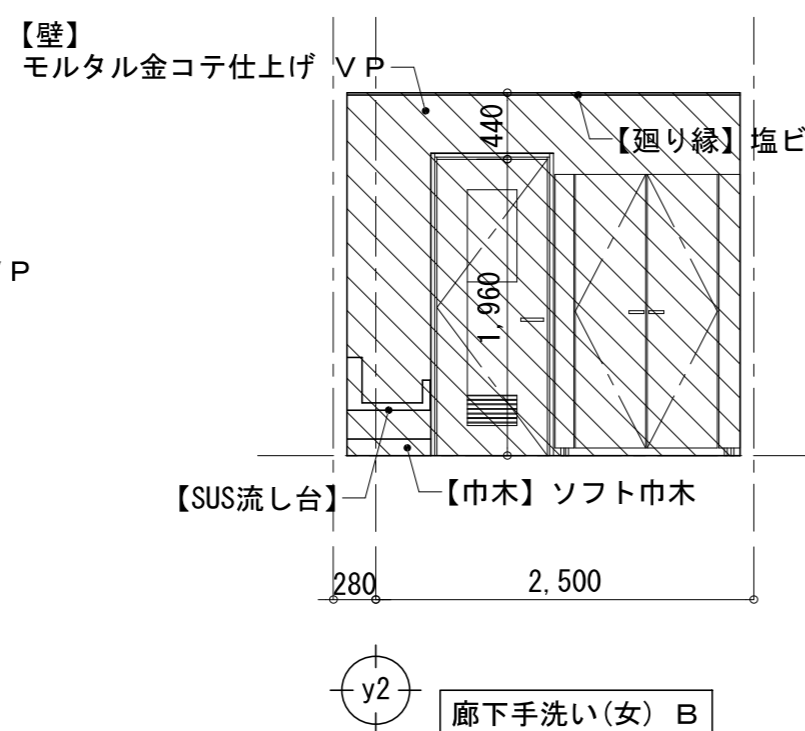
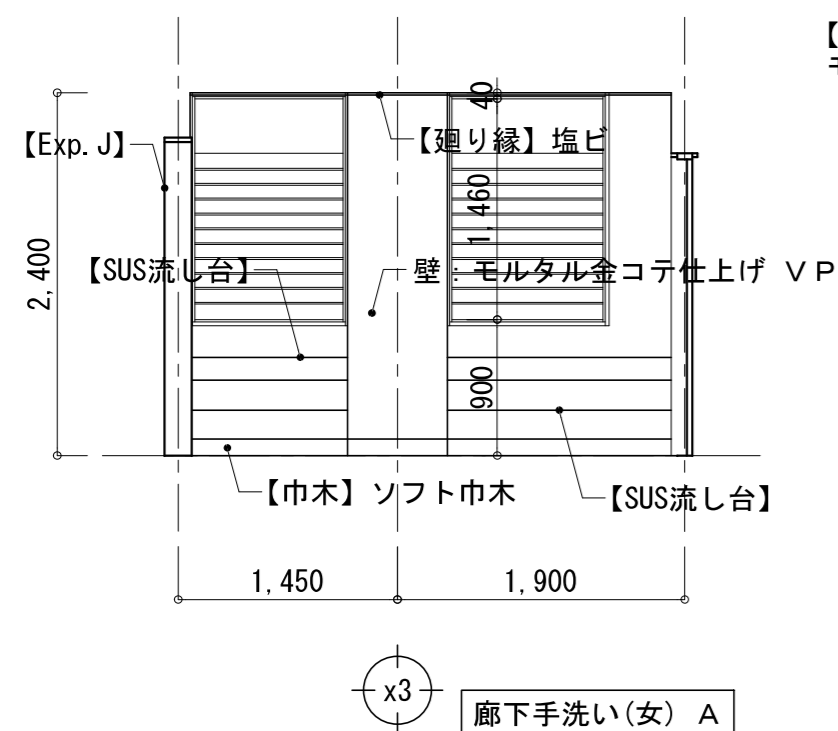
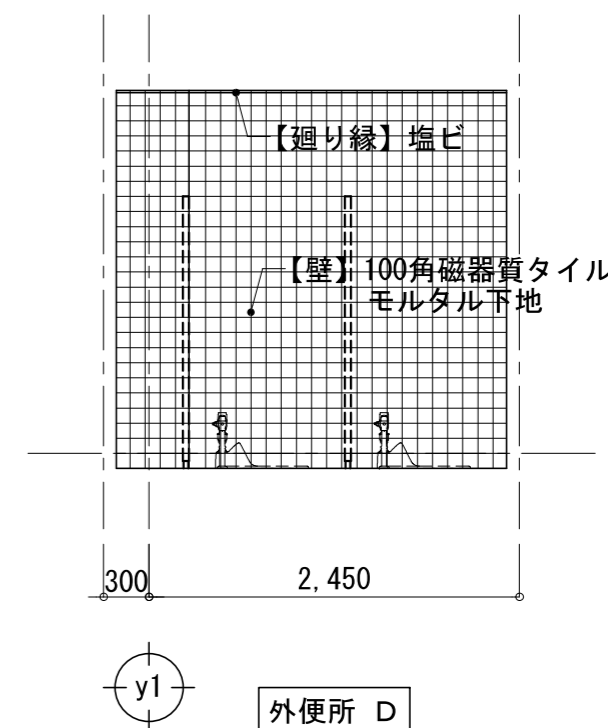
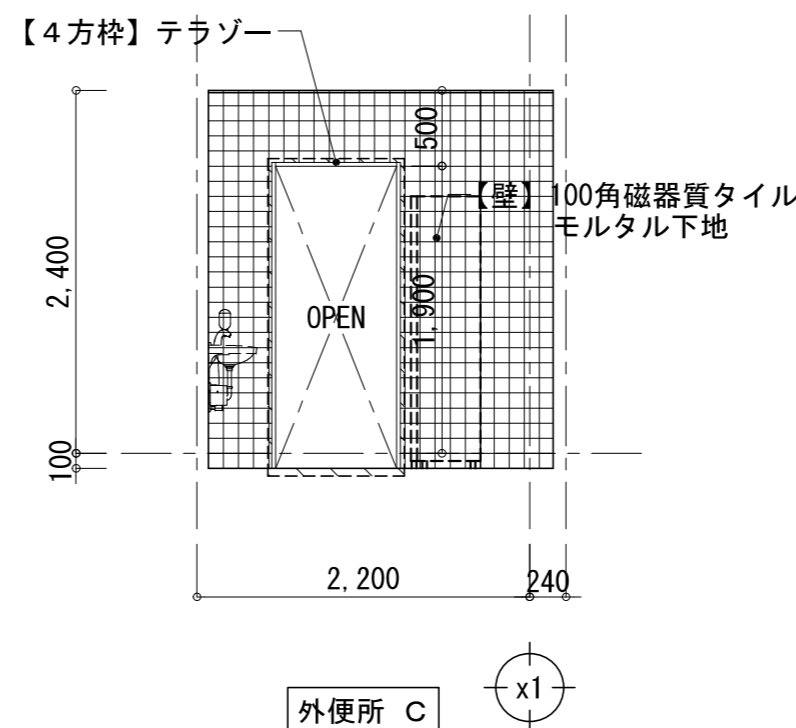
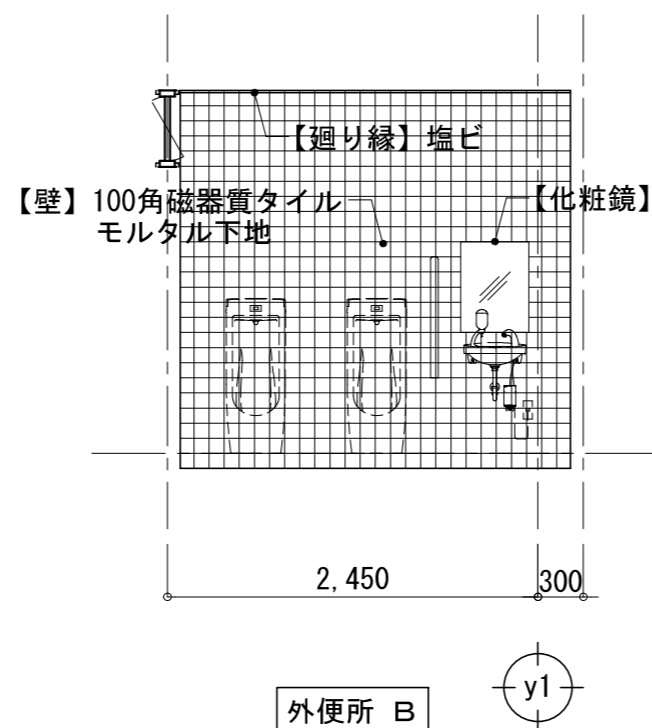
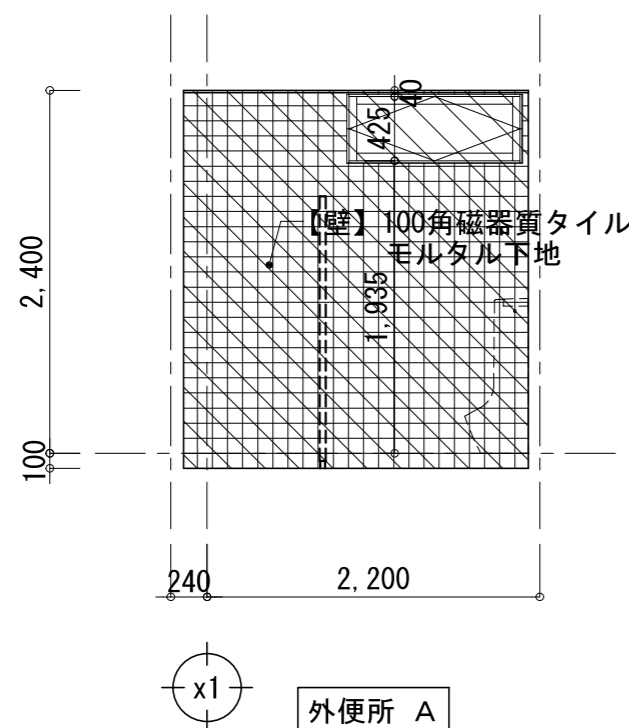
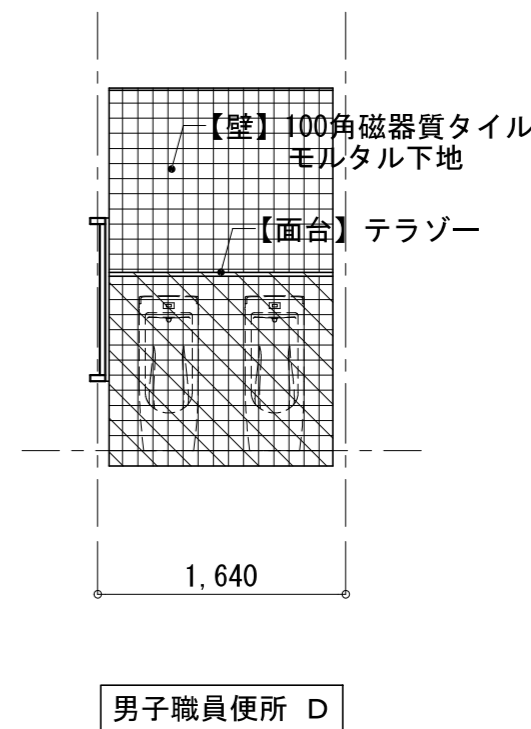
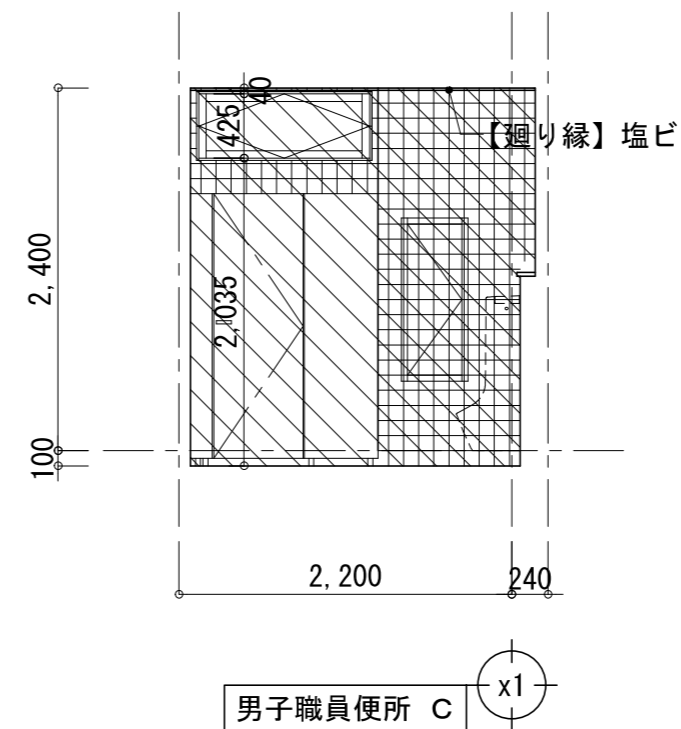
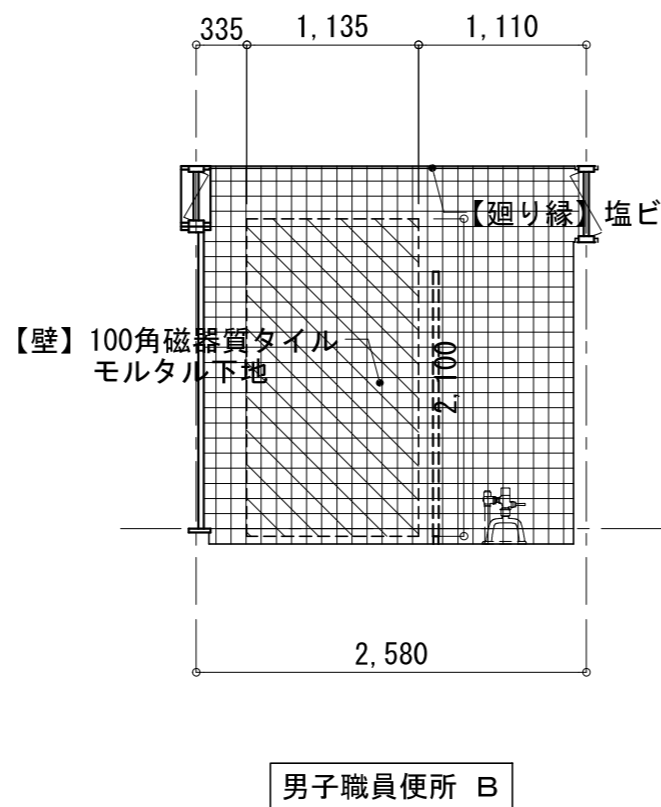
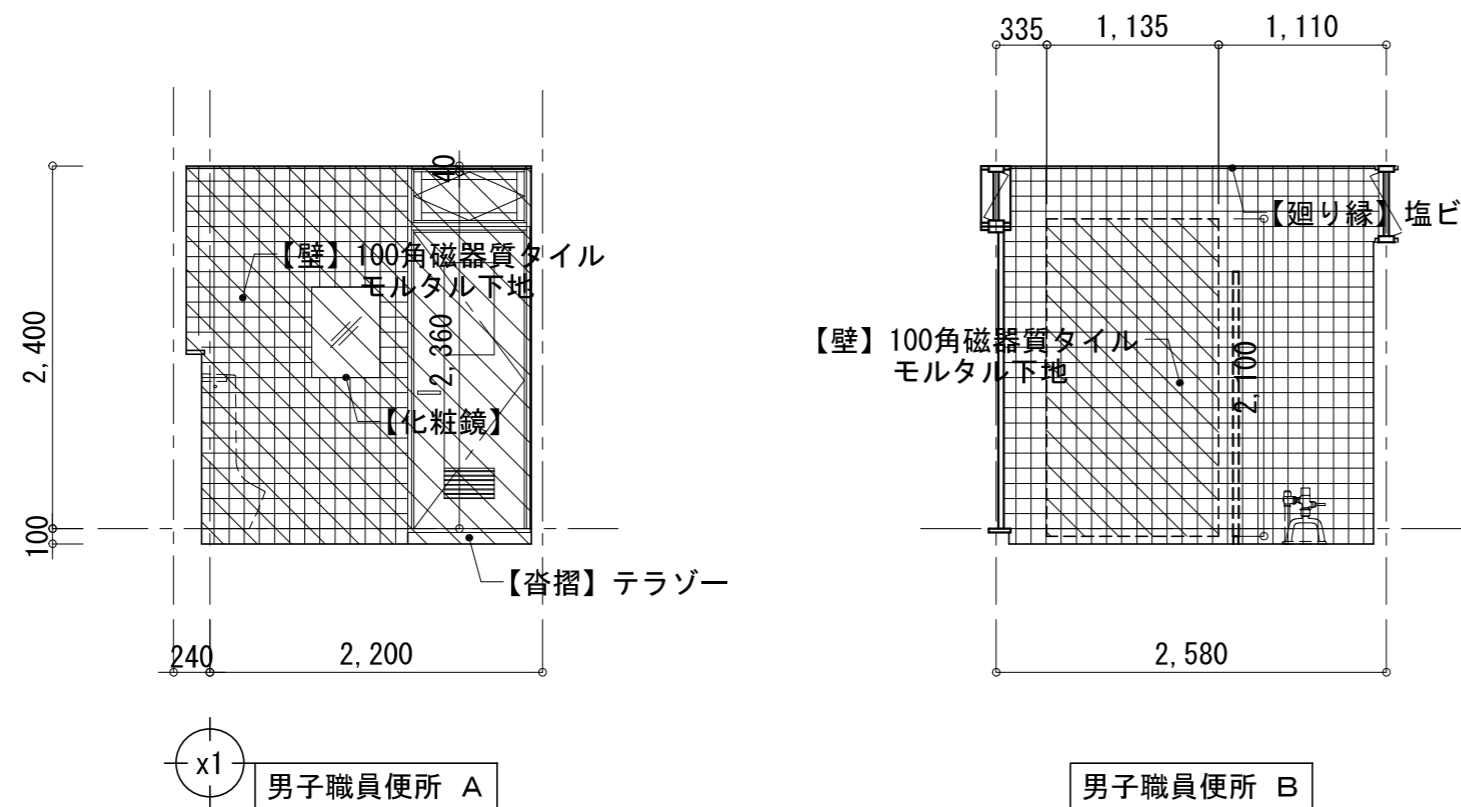
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

便所棟(改修前) 1階展開図1

A - 43

S: 1/50



凡例
撤去範囲を示す
周囲カッター入れ共 (RC・CB)

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図: A2

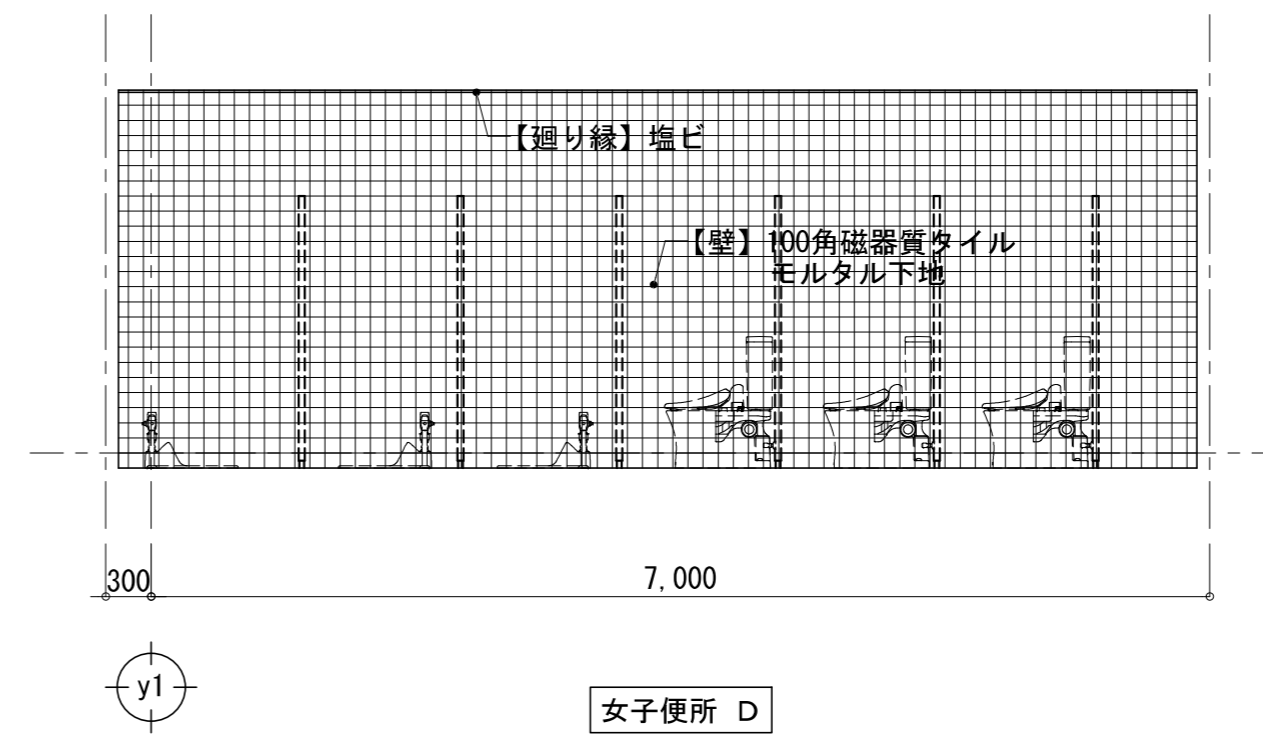
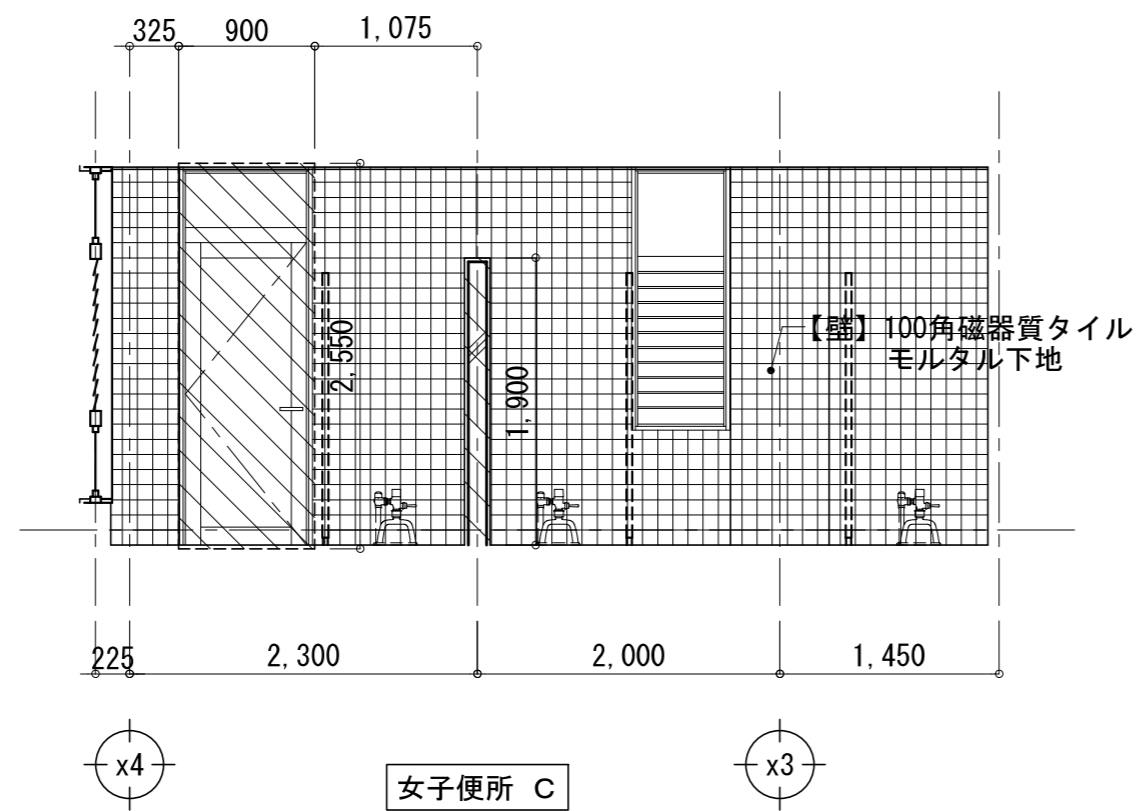
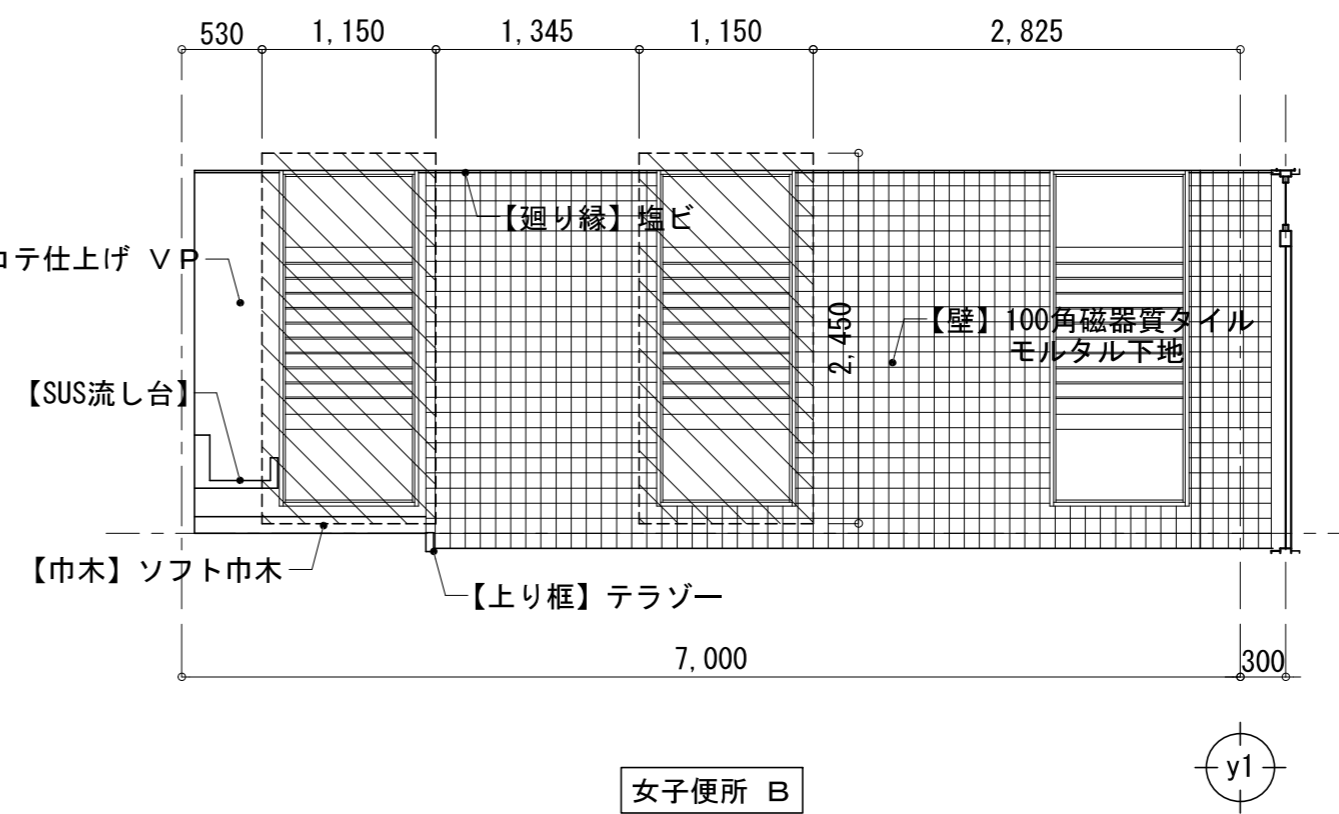
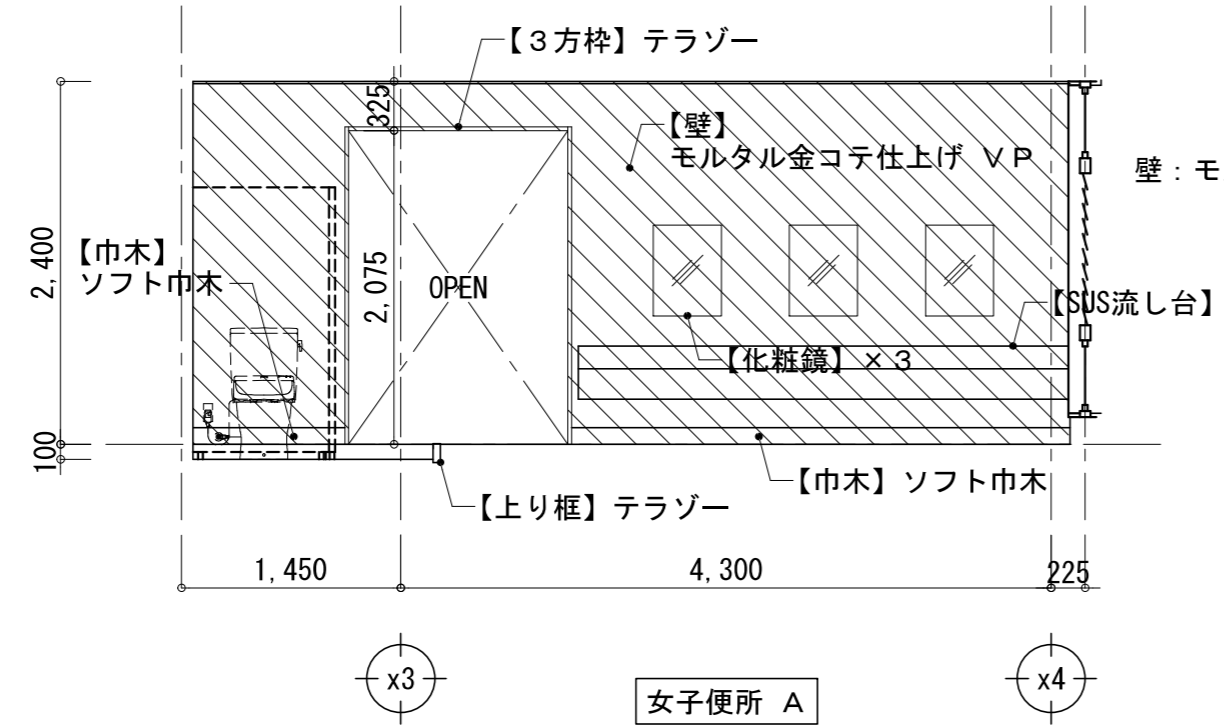
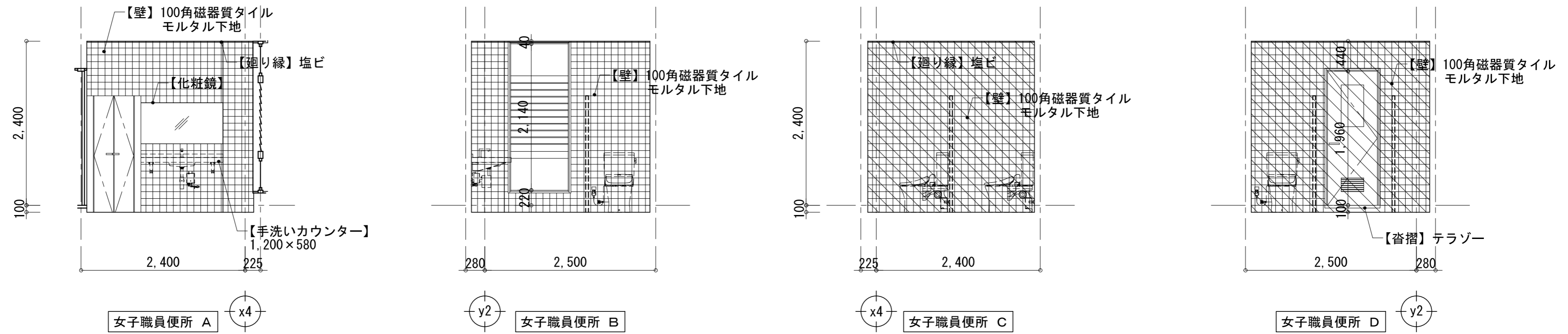
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しのものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

便所棟(改修前) 1階展開図2

A - 44

S: 1/50



凡例
撤去範囲を示す
周囲カッター入れ共 (RC・CB)

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図: A2

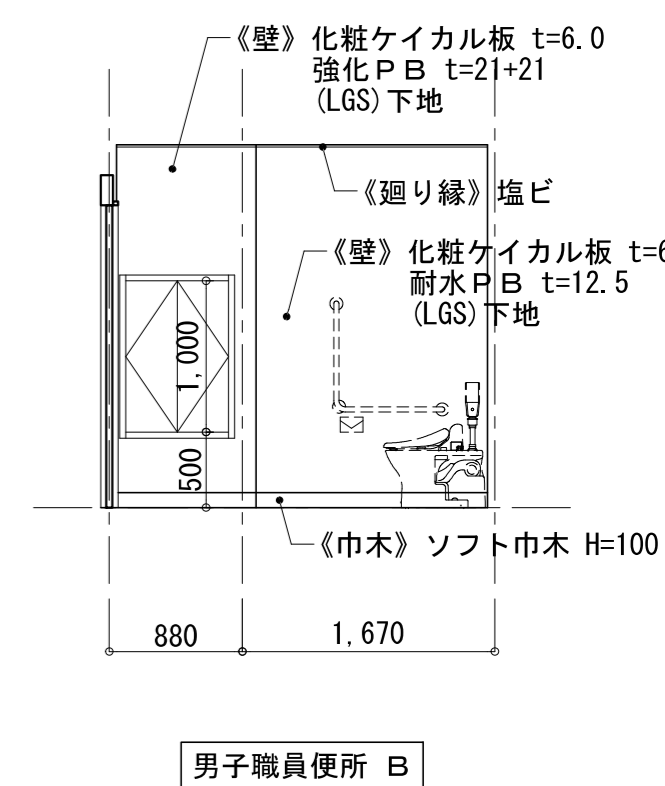
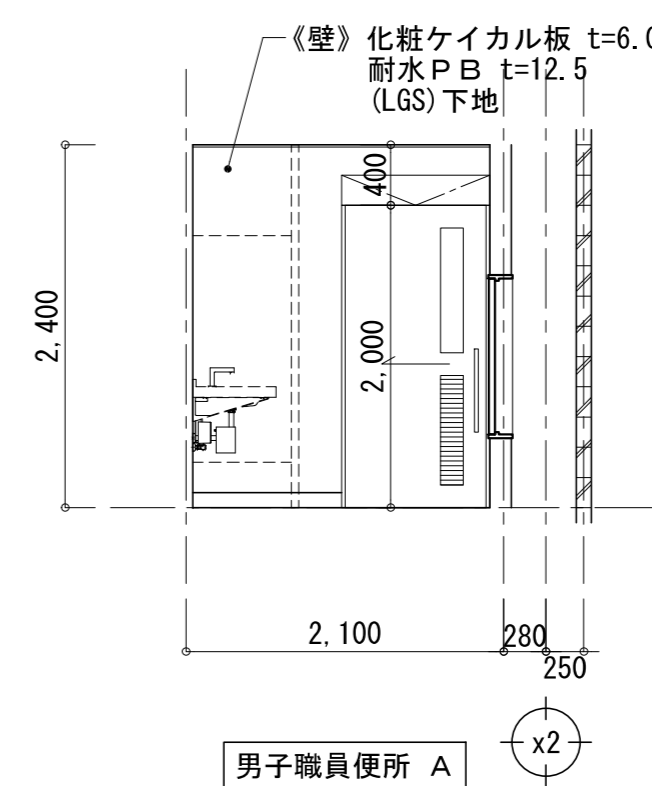
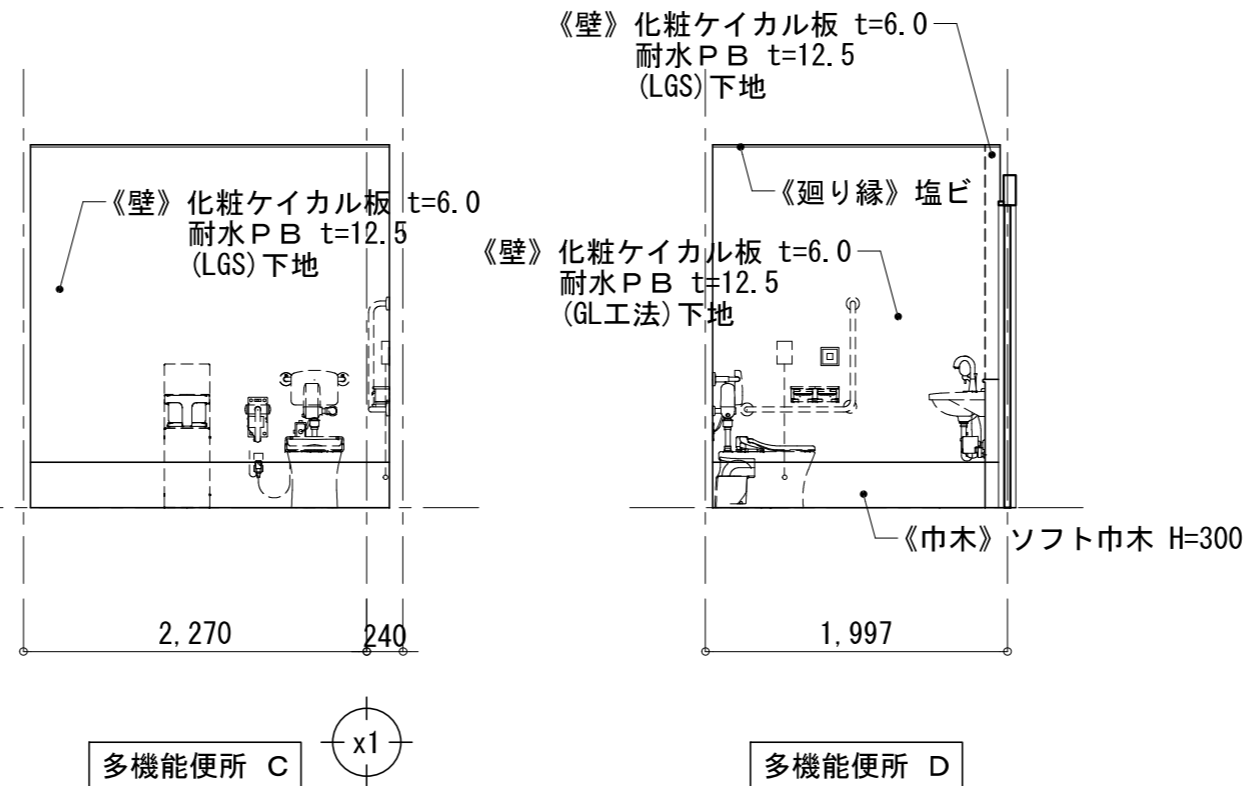
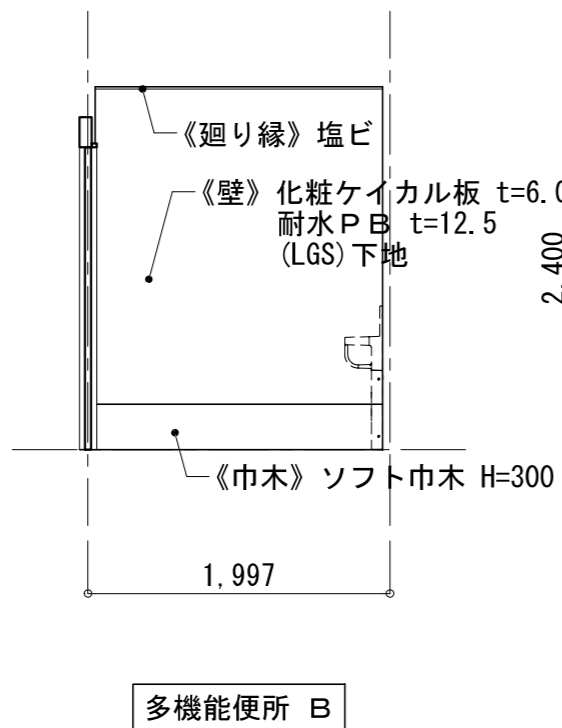
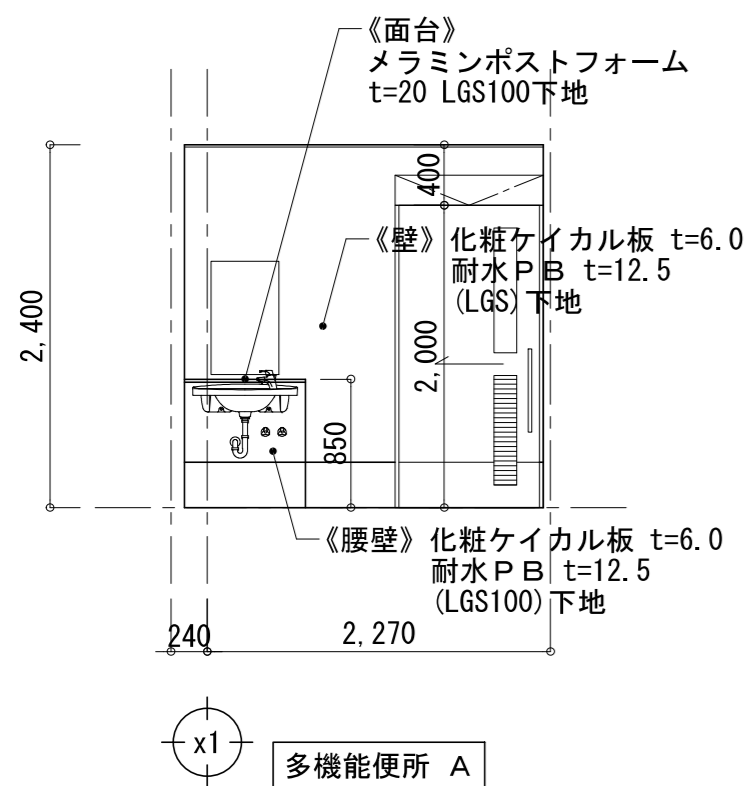
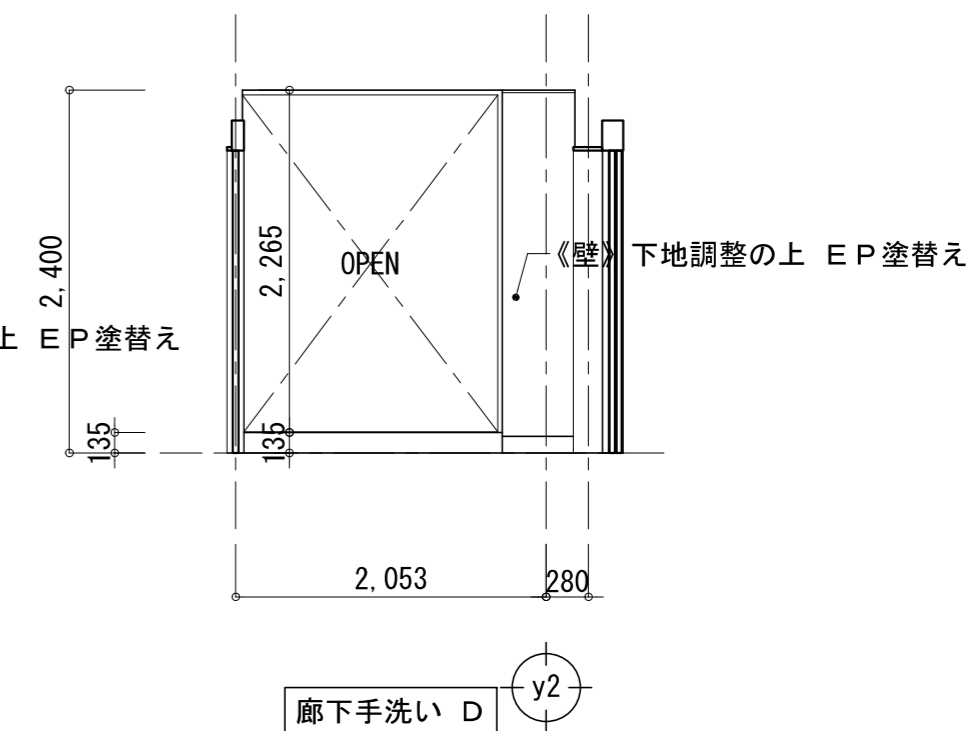
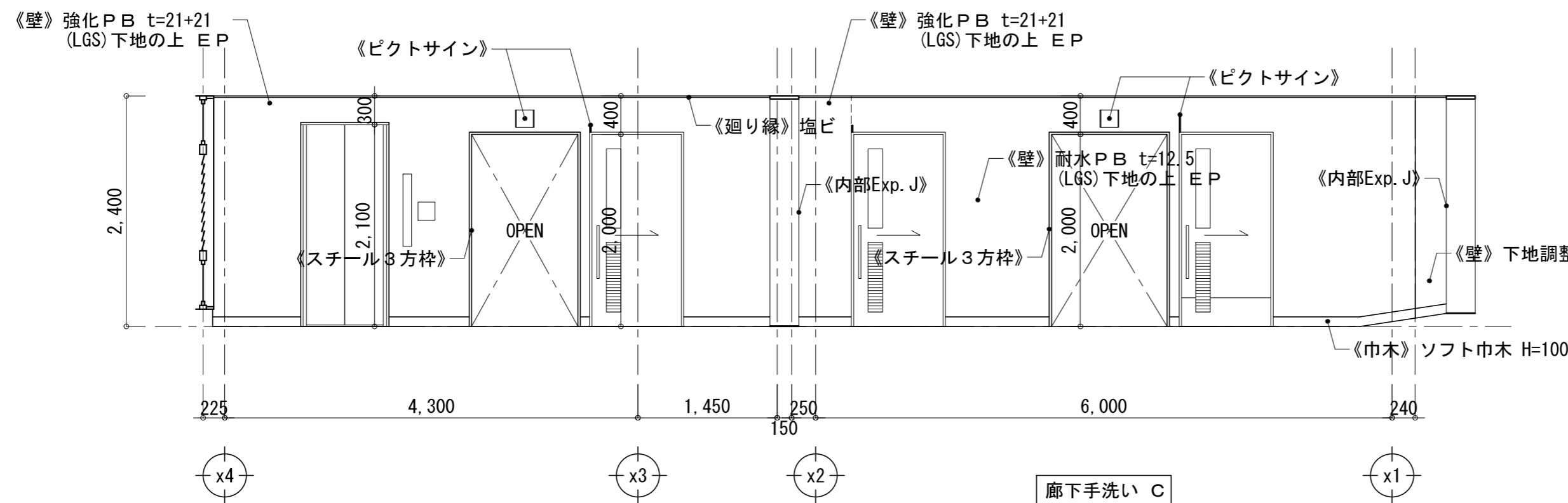
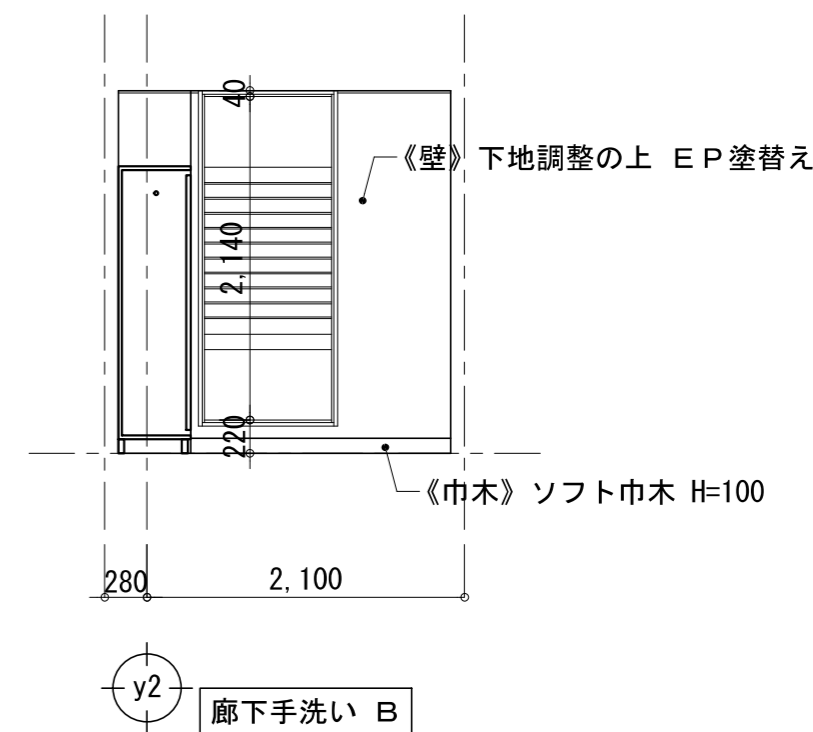
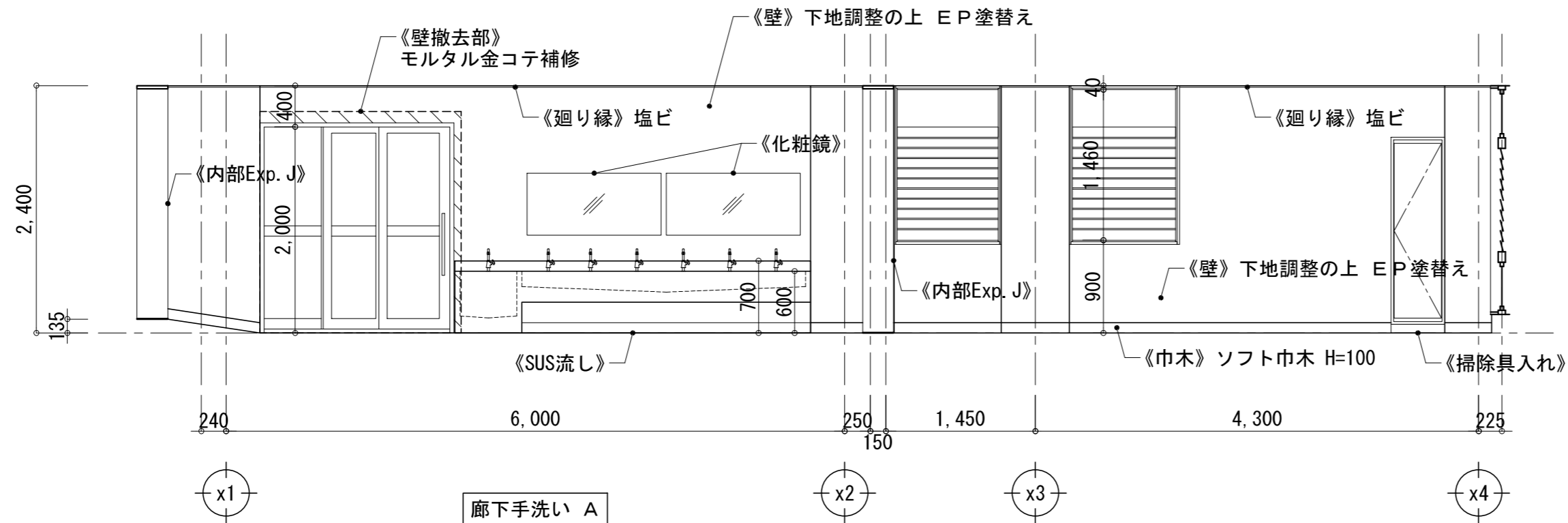
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

便所棟(改修前) 1階展開図3

A - 45

S: 1/50



アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

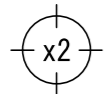
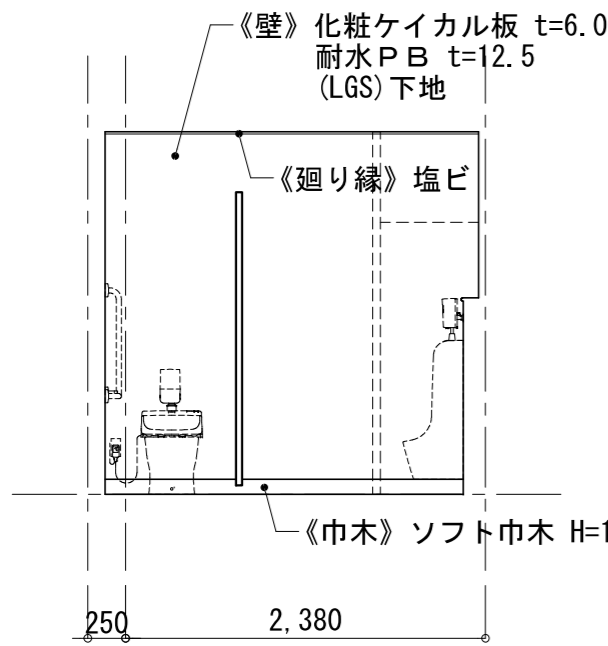
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校校長寿命化改修工事

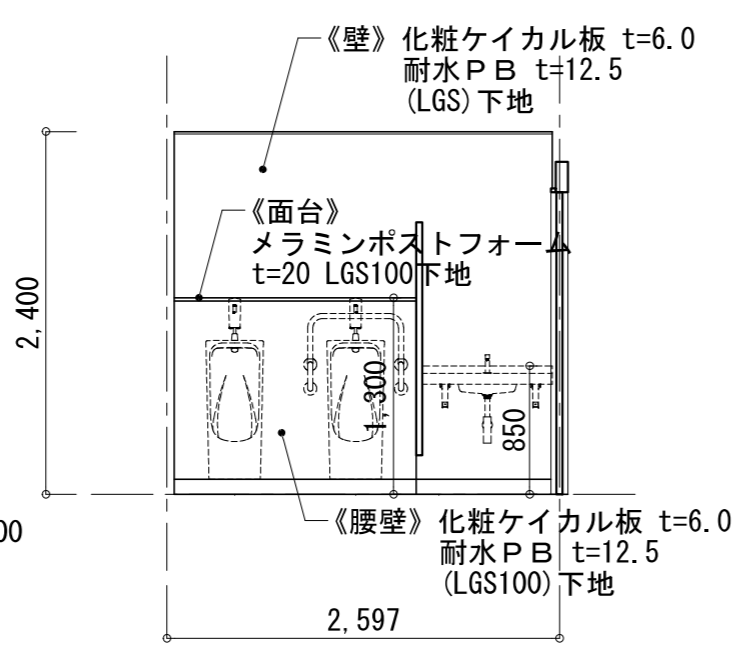
便所棟(改修後) 1階展開図 1

A - 46

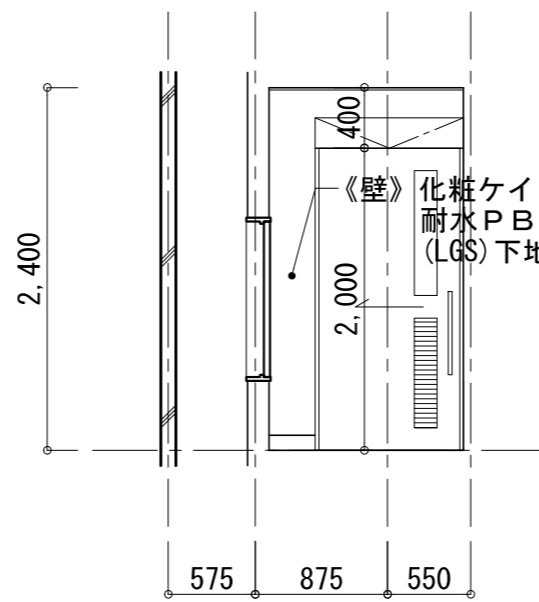
S : 1/50



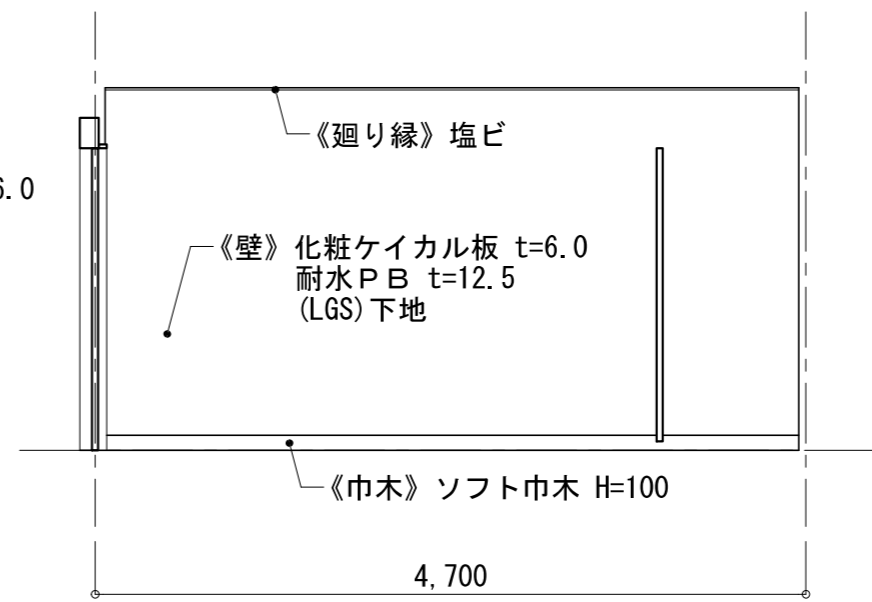
男子職員便所 C



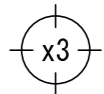
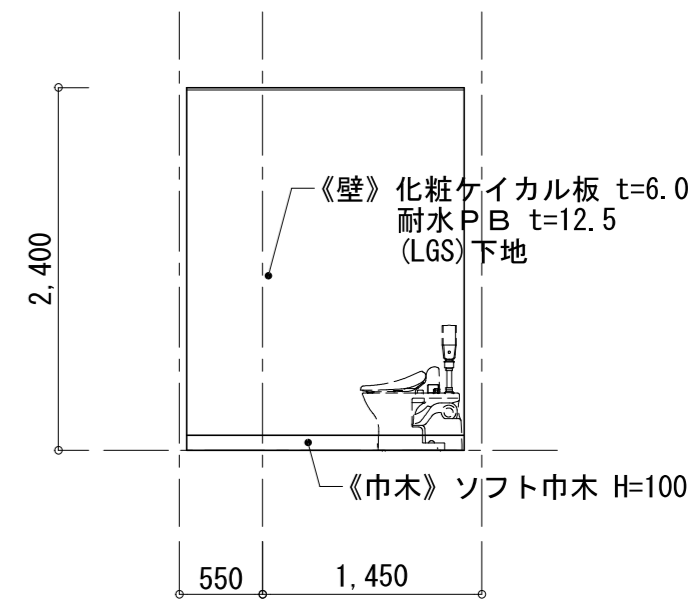
男子職員便所 D



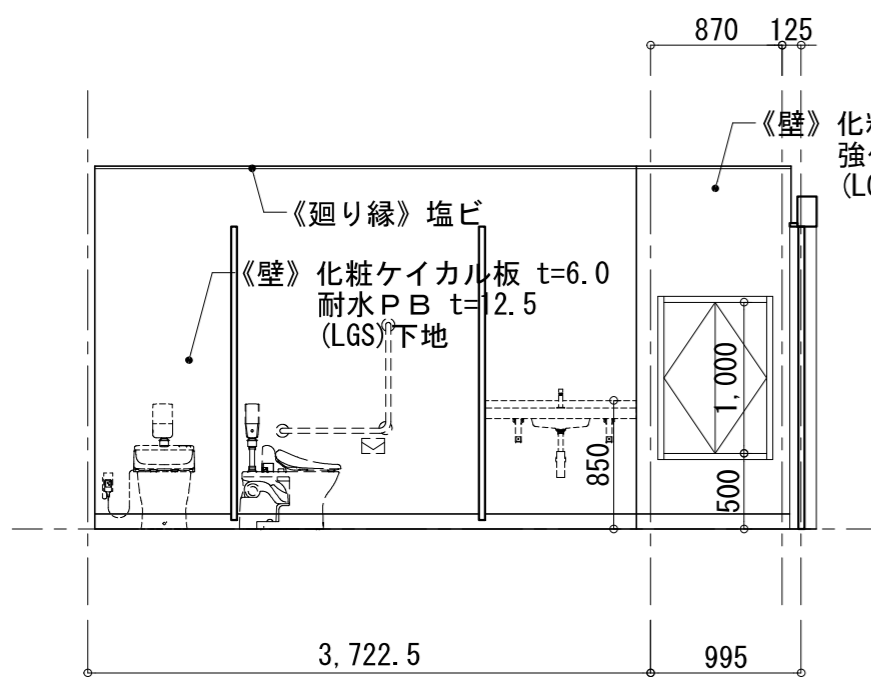
女子職員便所 A



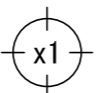
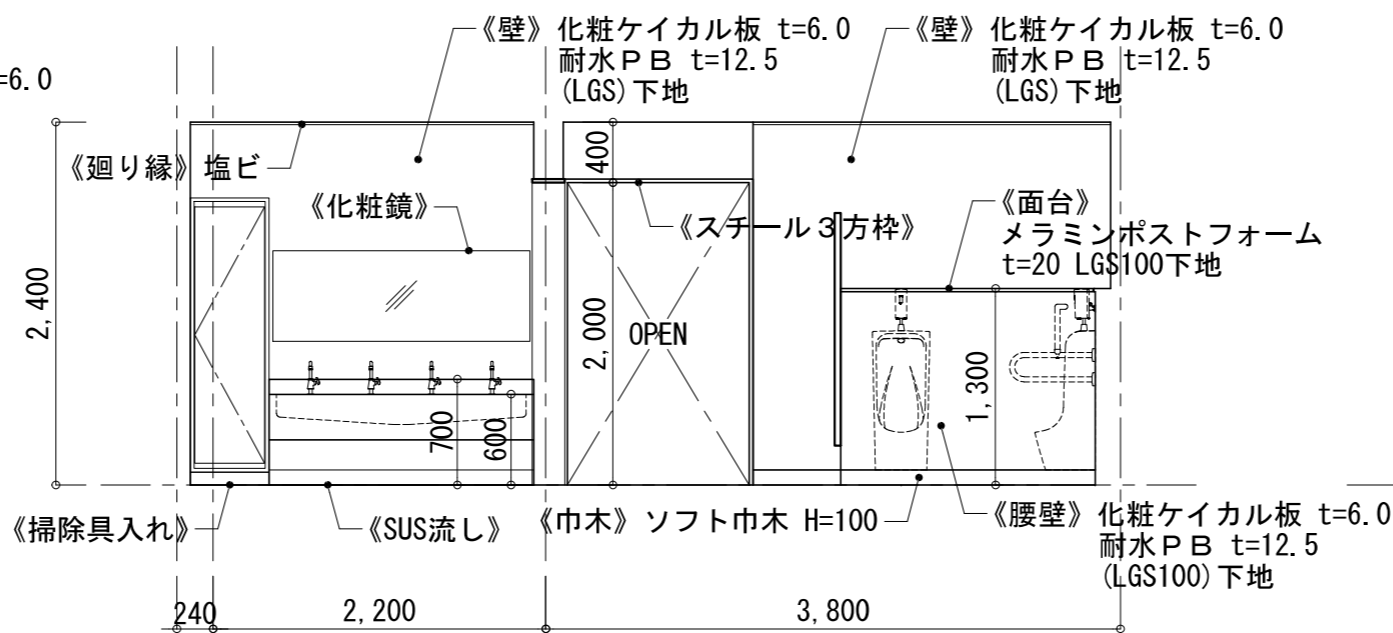
女子職員便所 B



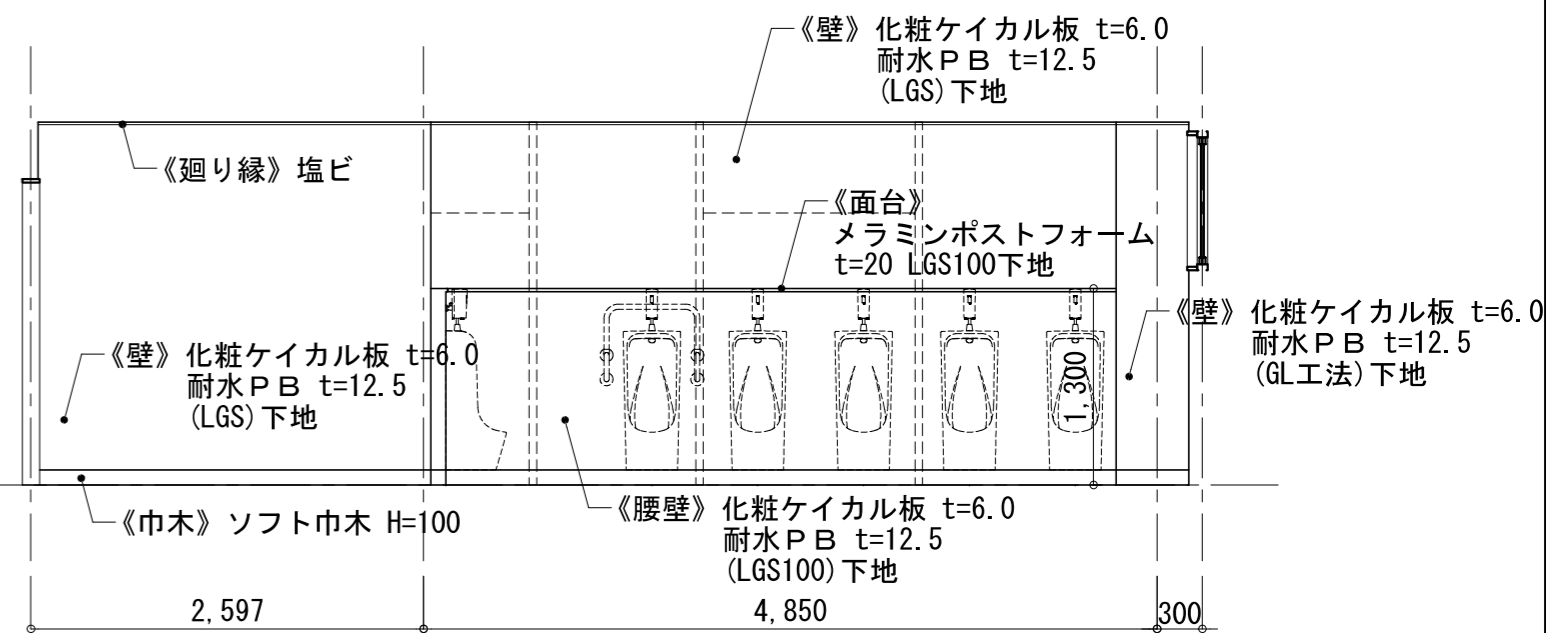
女子職員便所 C



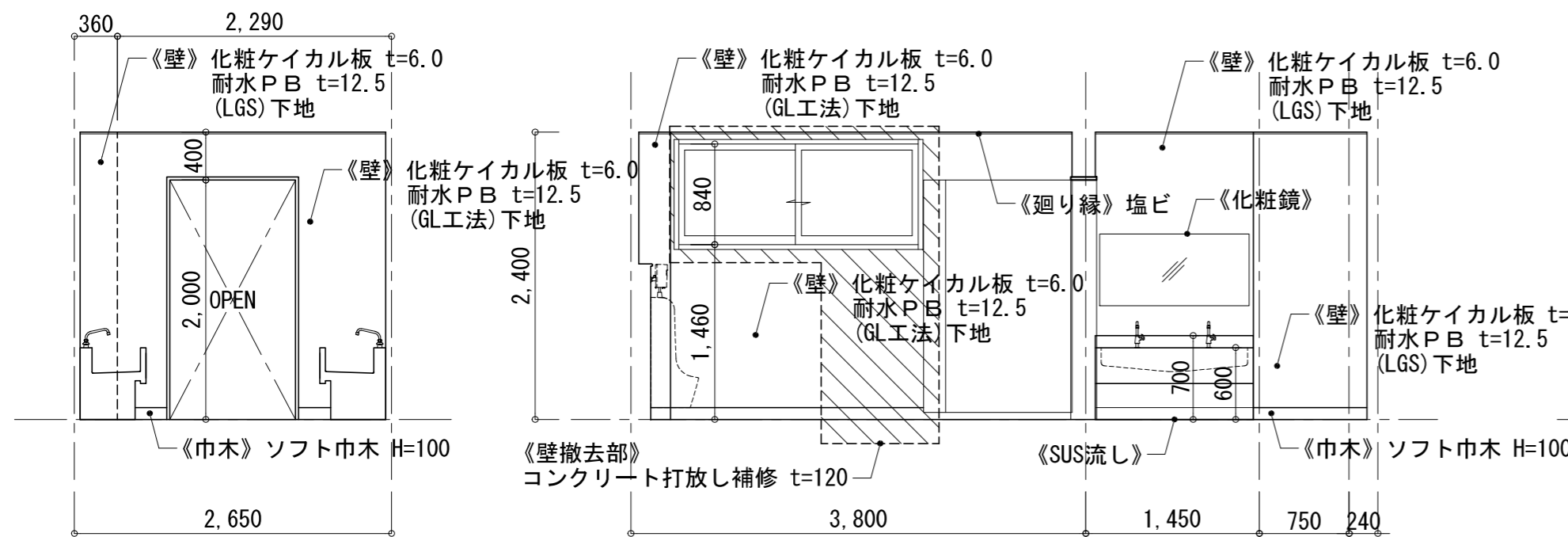
女子職員便所 D



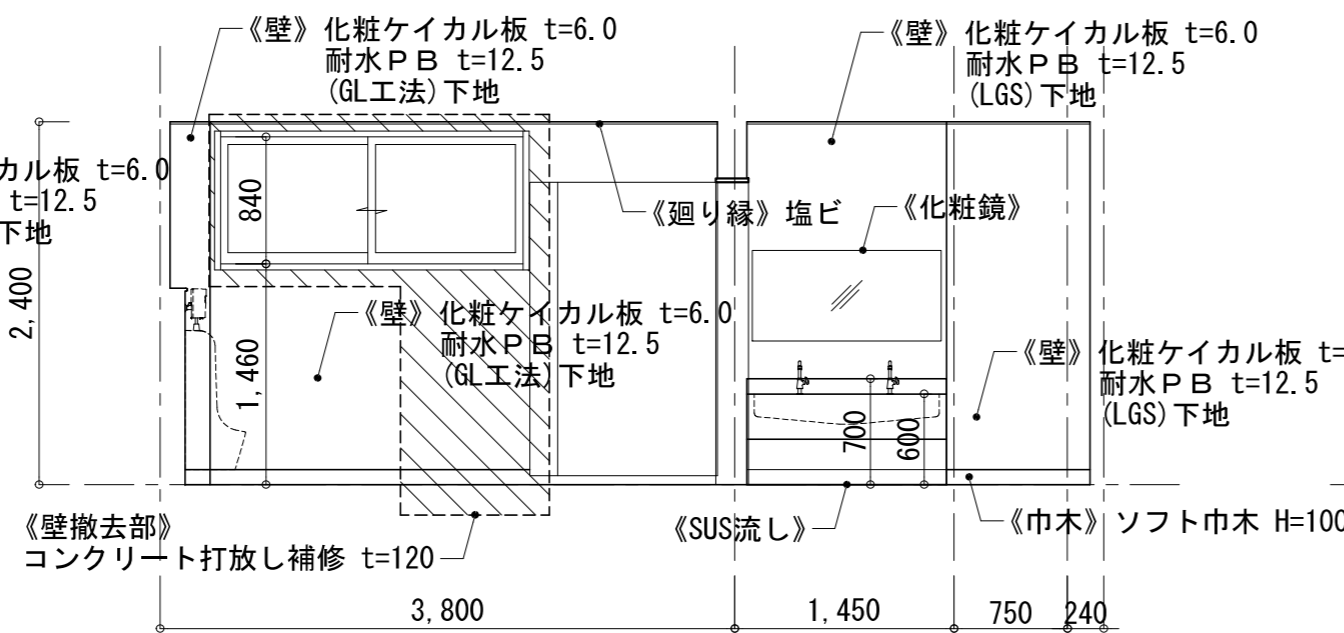
1階男子便所 A



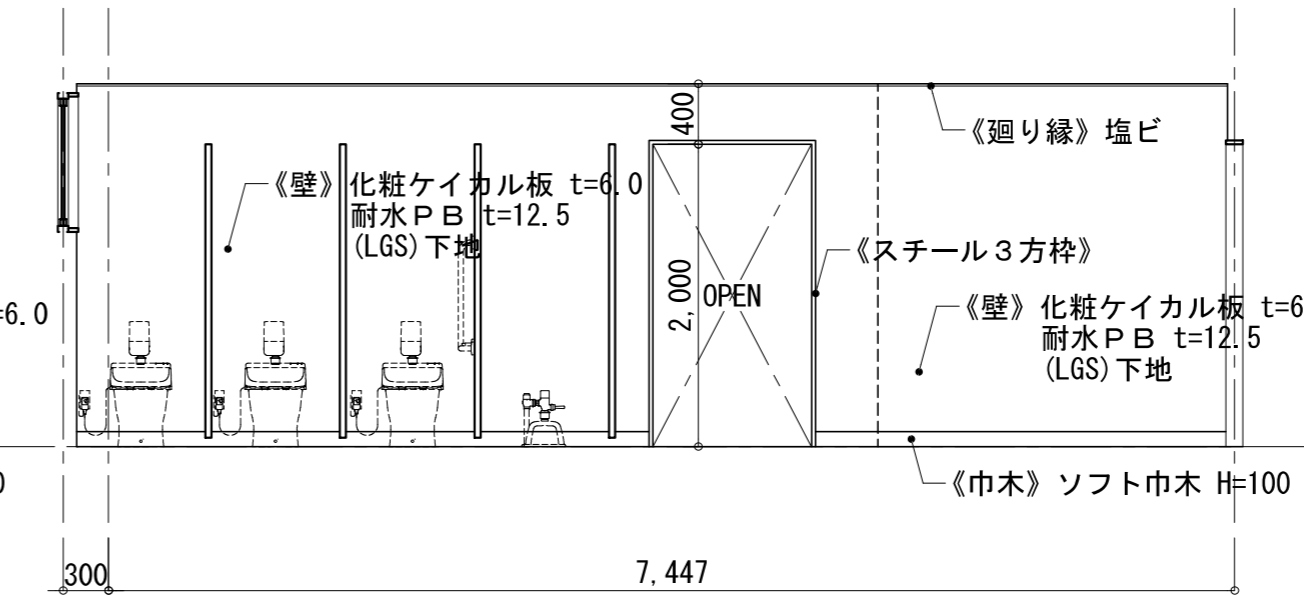
1階男子便所 B



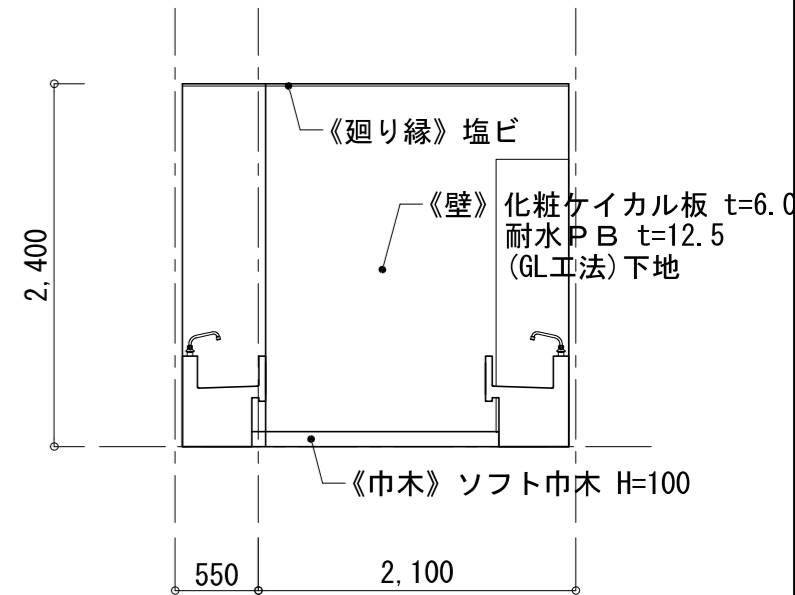
1階男子便所 B'



1階男子便所 C



1階男子便所 D



1階男子便所 D'

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図：A2

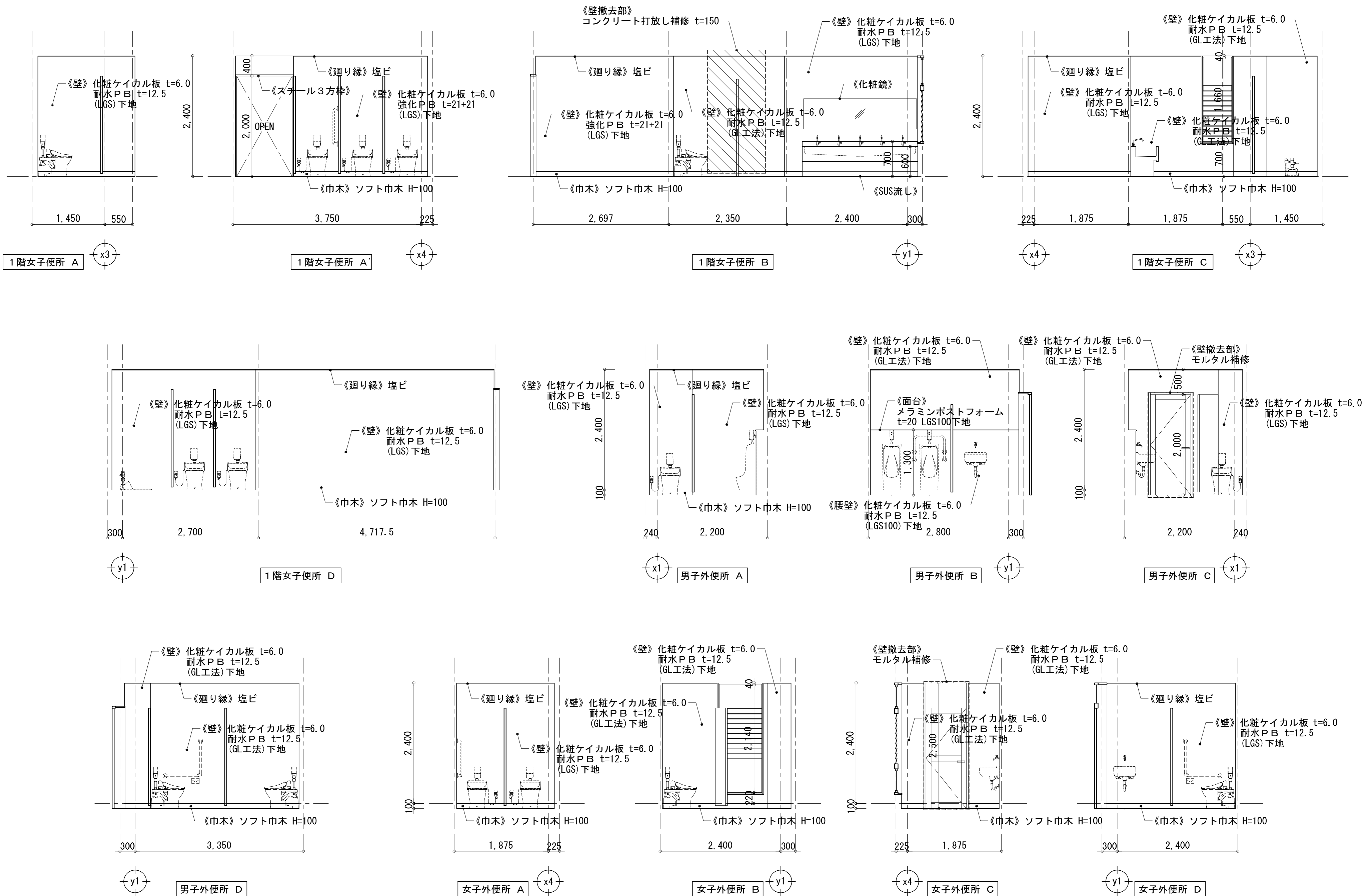
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

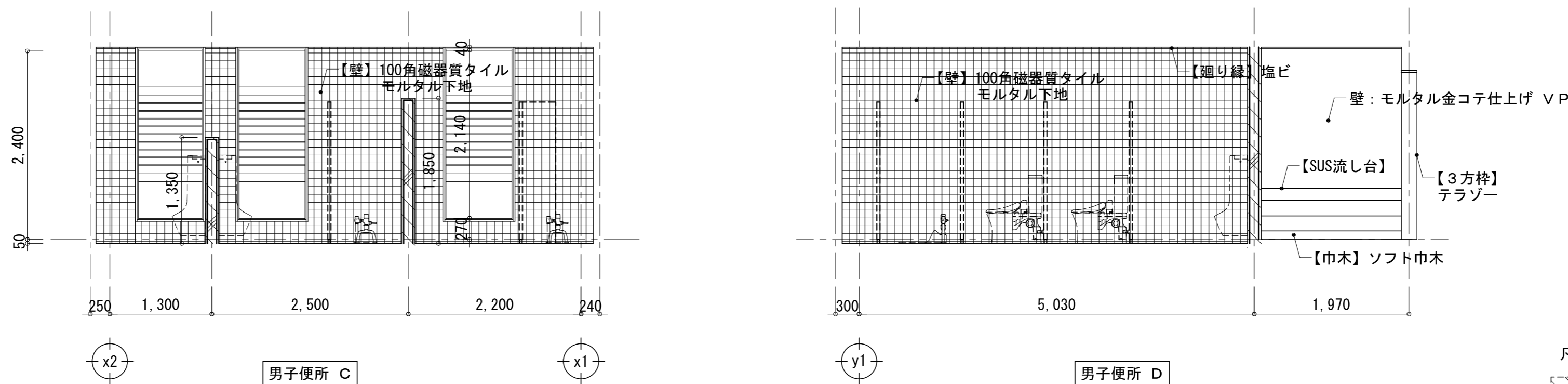
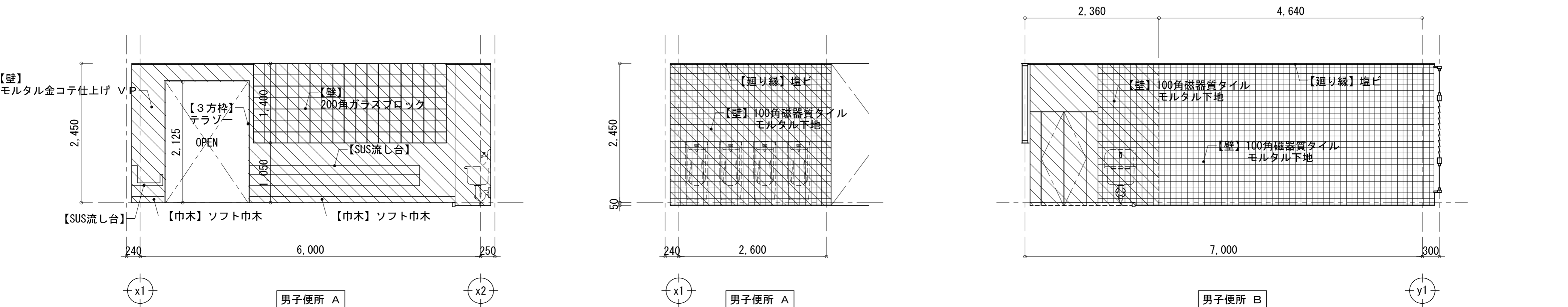
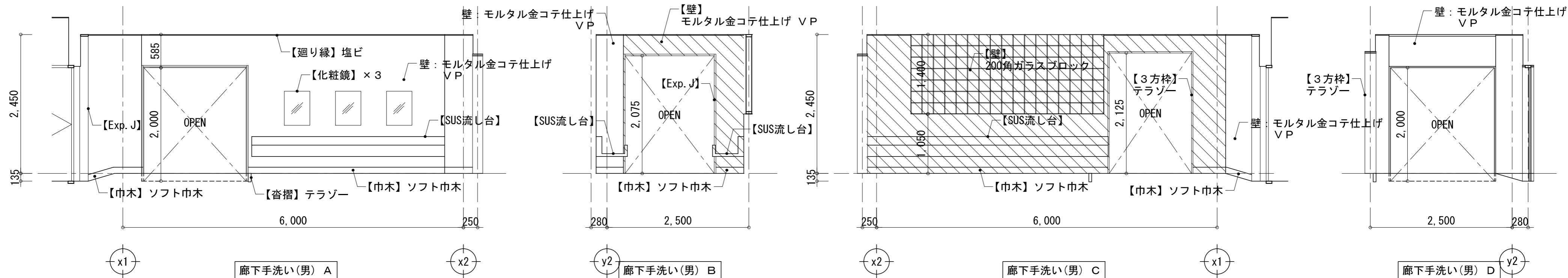
津市立安濃小学校校長寿命化改修工事

便所棟(改修後) 1階展開図2

A - 47

S: 1/50





凡例
撤去範囲を示す
周囲カッター入れ共 (RC・CB)

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図: A2

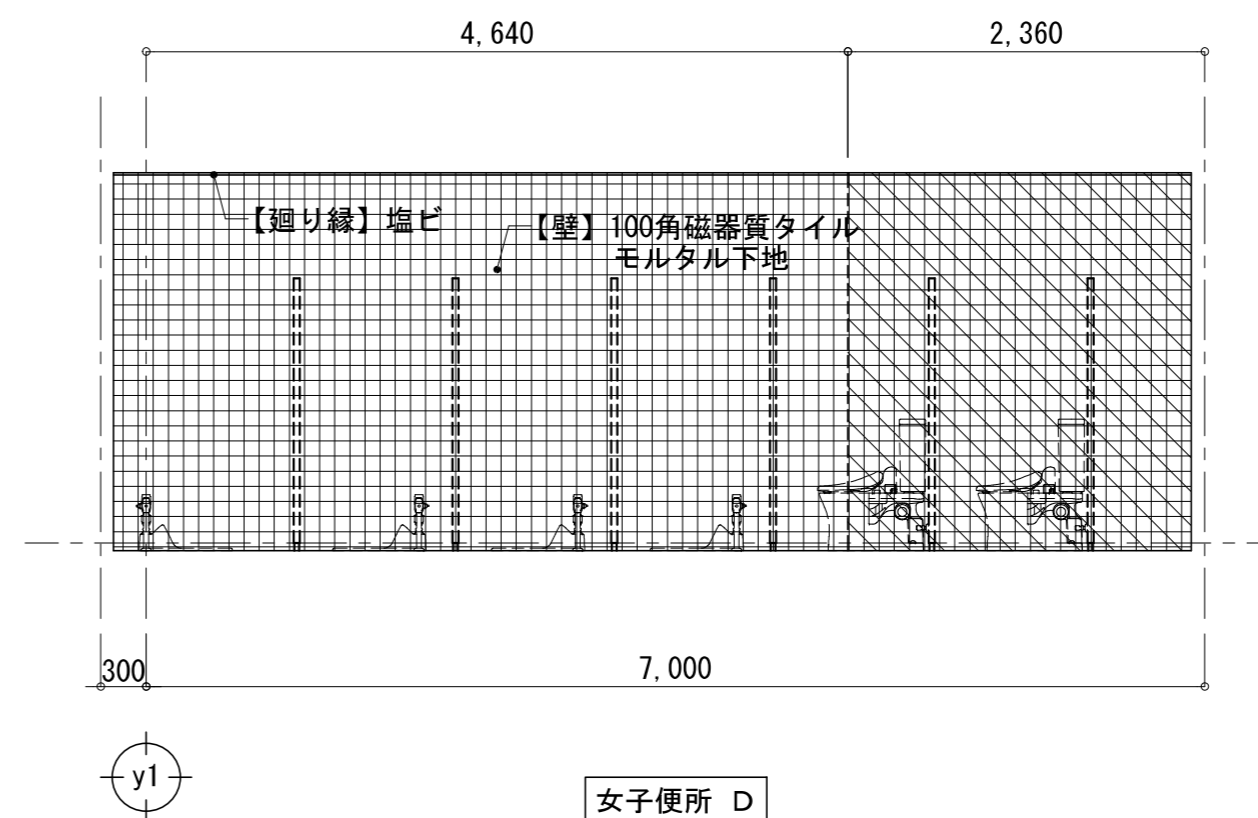
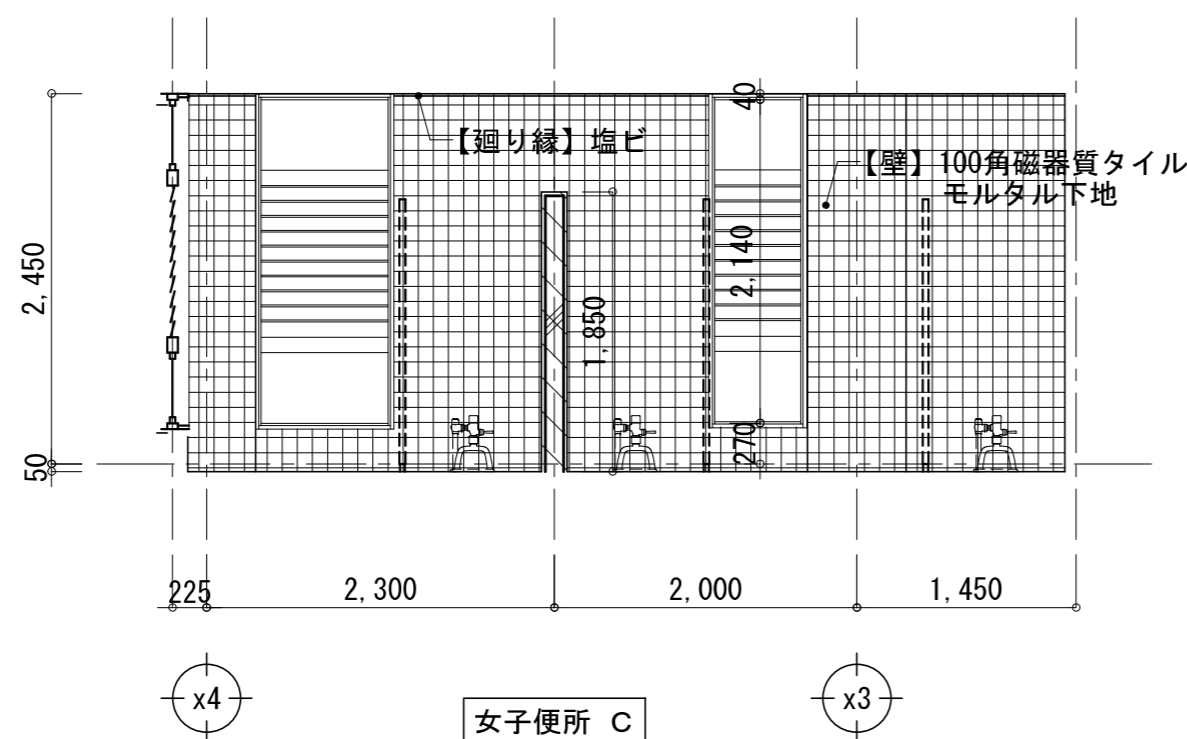
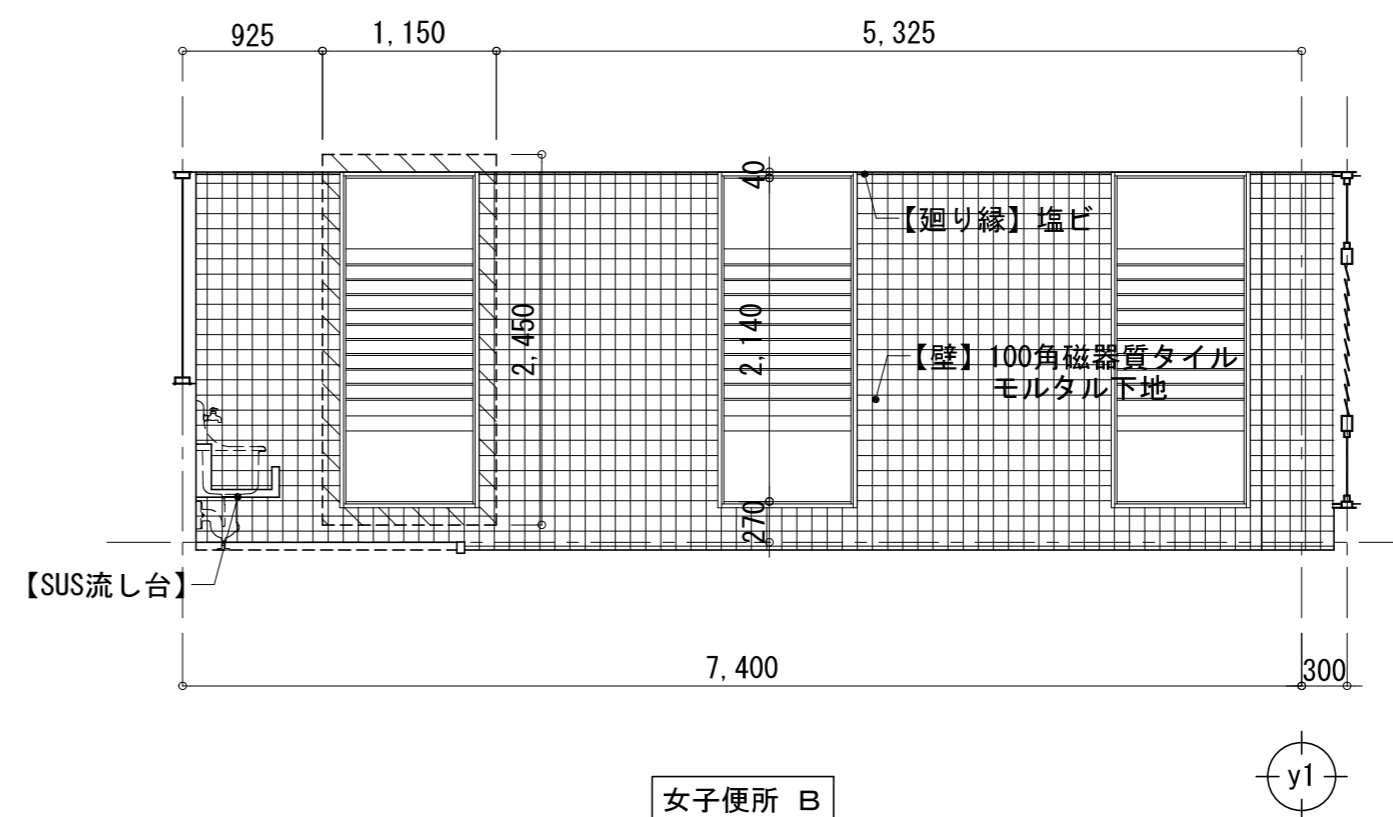
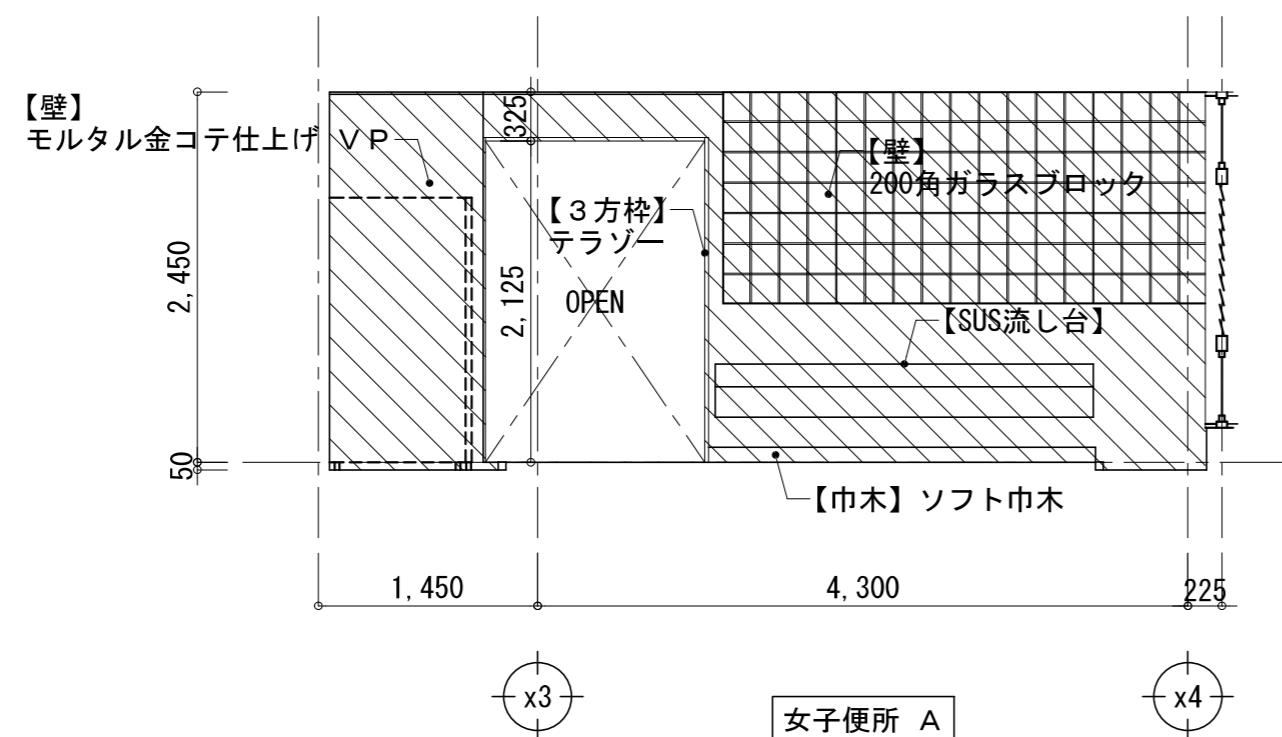
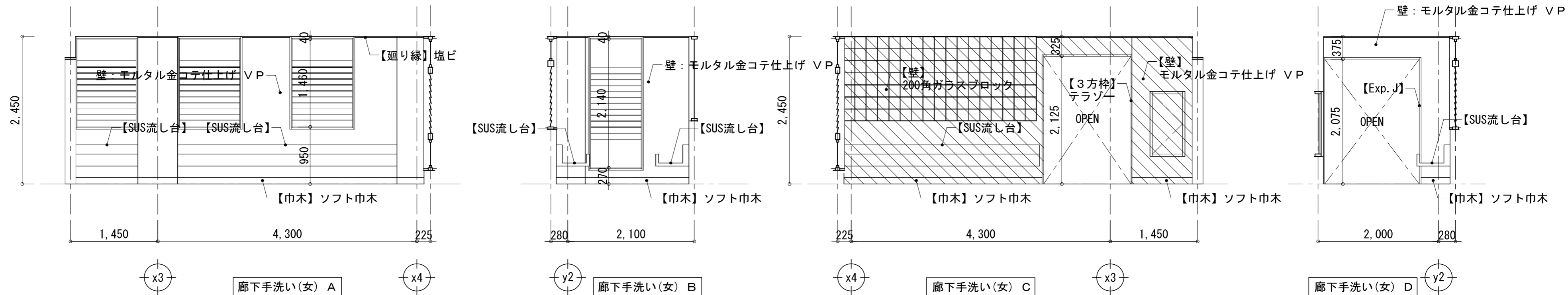
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

津市立安濃小学校長寿命化改修工事

便所棟(改修前) 2階展開図 1

A - 49

S: 1/50



凡例
撤去範囲を示す
周囲カッター入れ共 (RC・CB)

アルテック設計

津市大谷町233番地 TEL 059-225-1602

一級建築士 第177266号

伊藤 公智

DRAWING BY
DATA

原図: A2

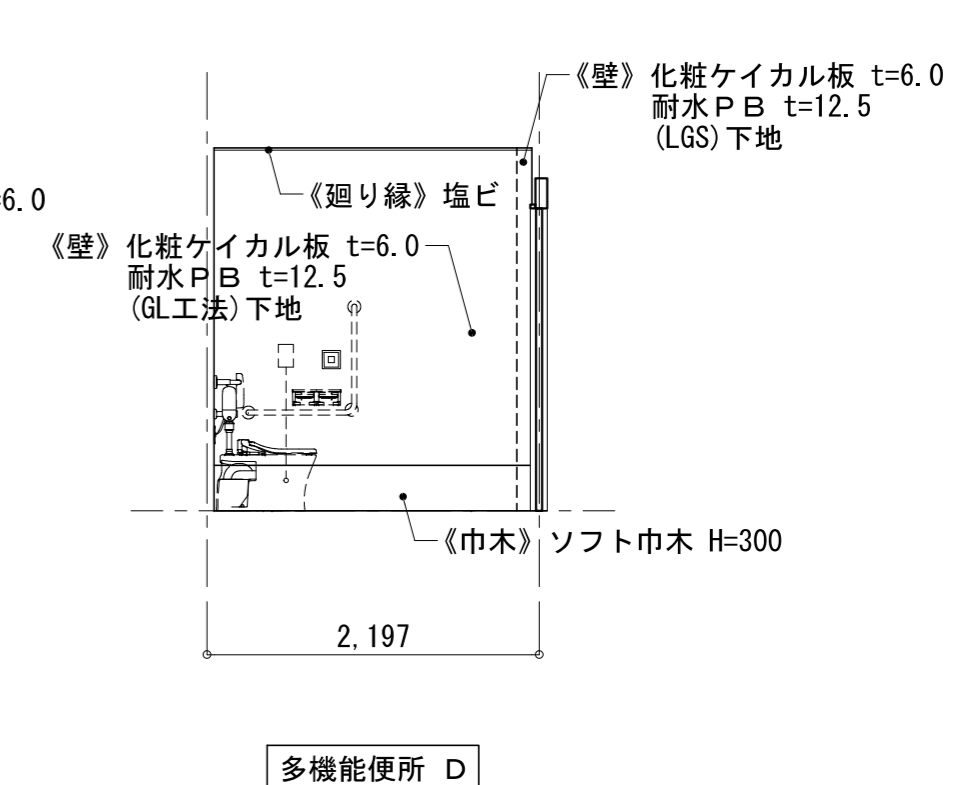
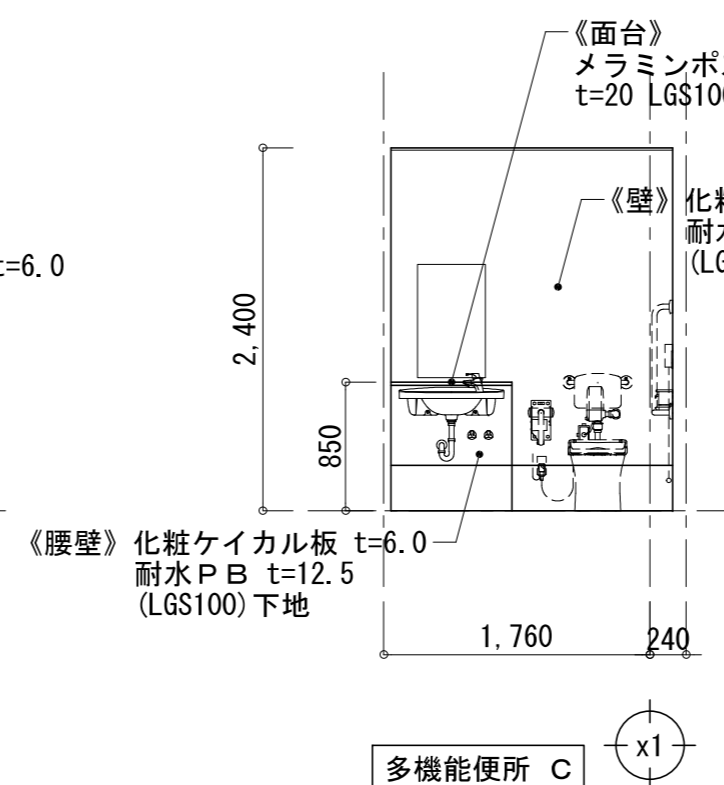
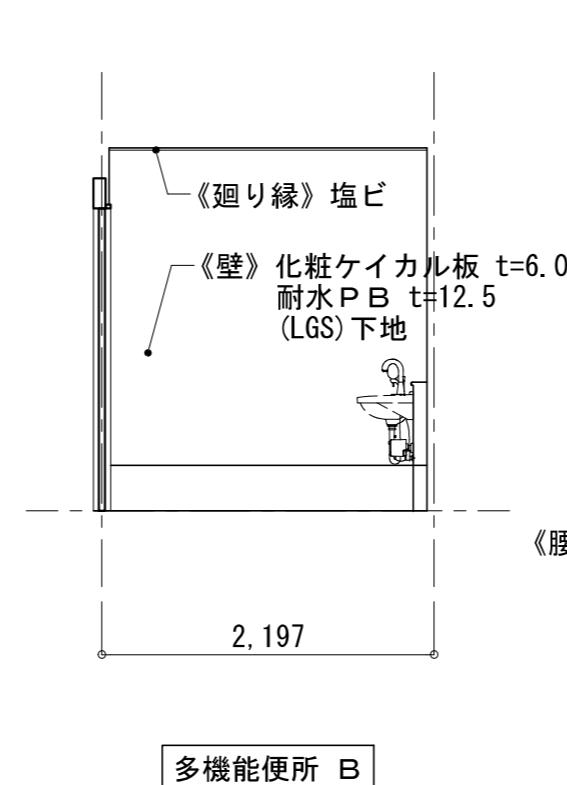
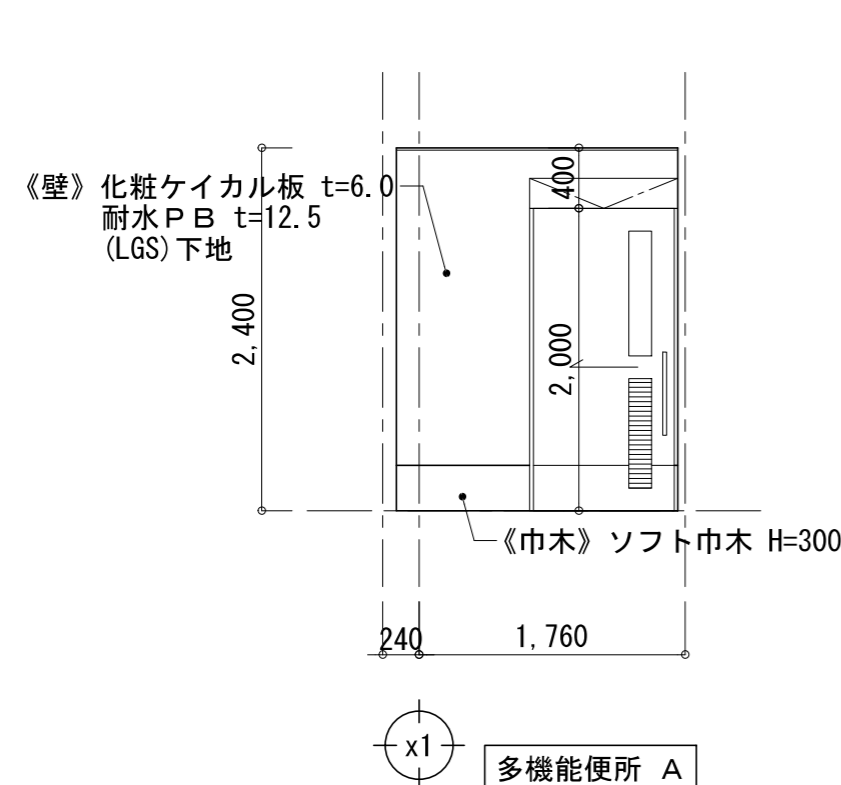
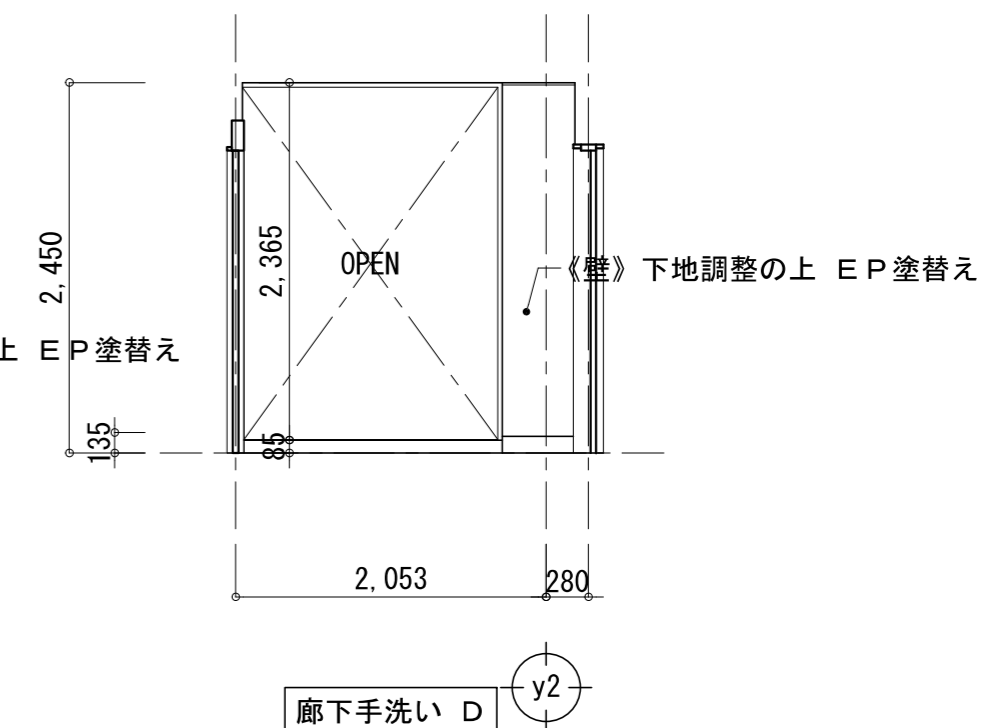
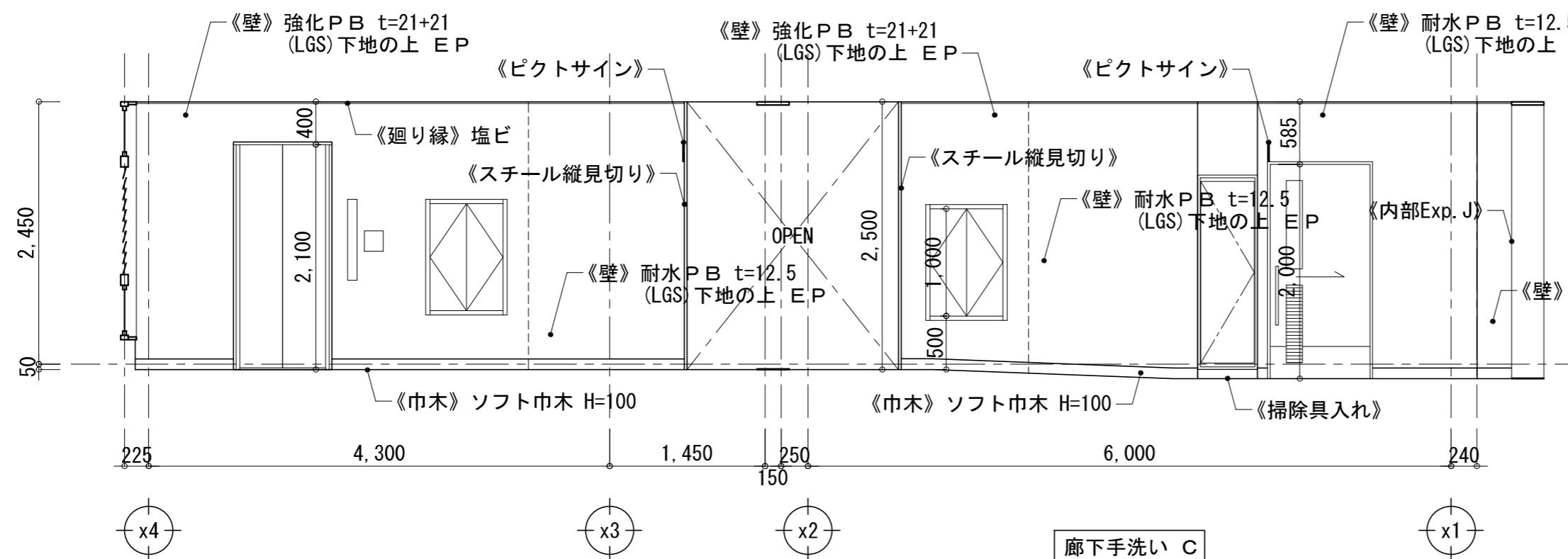
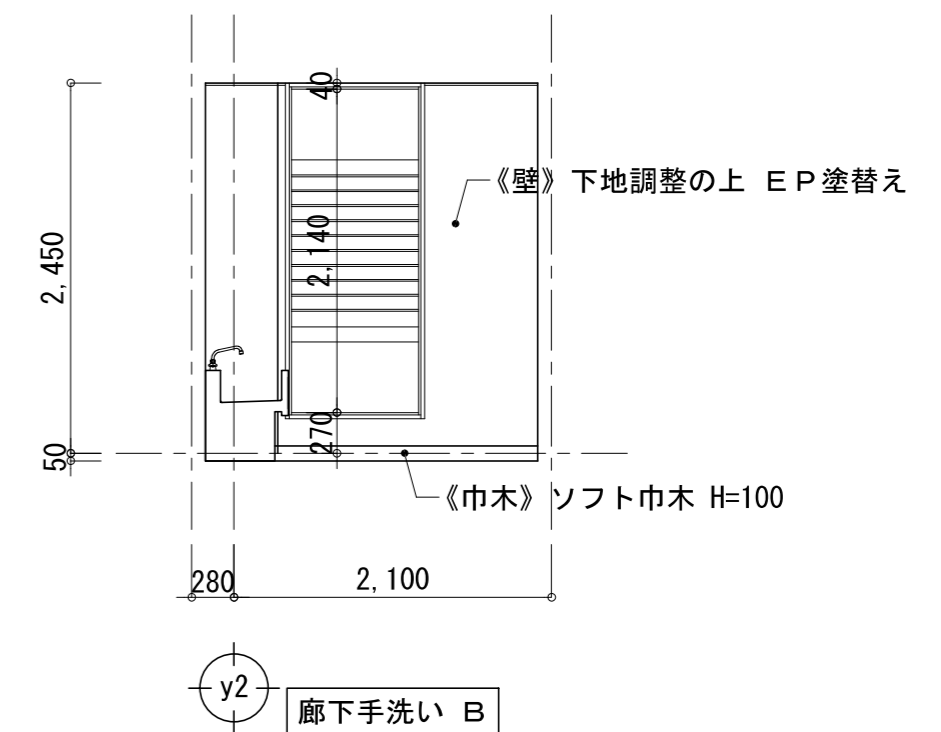
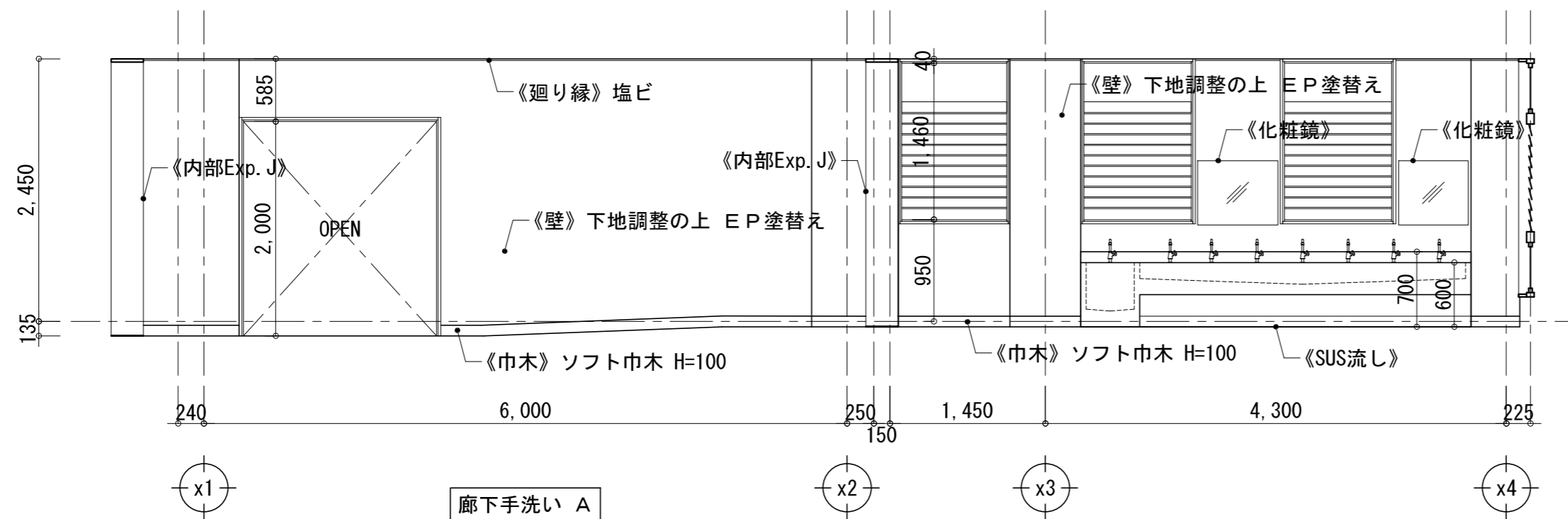
【 】内は撤去を示す。
《 》内は新設を示す。
カッコ無しものは既存のままとする。

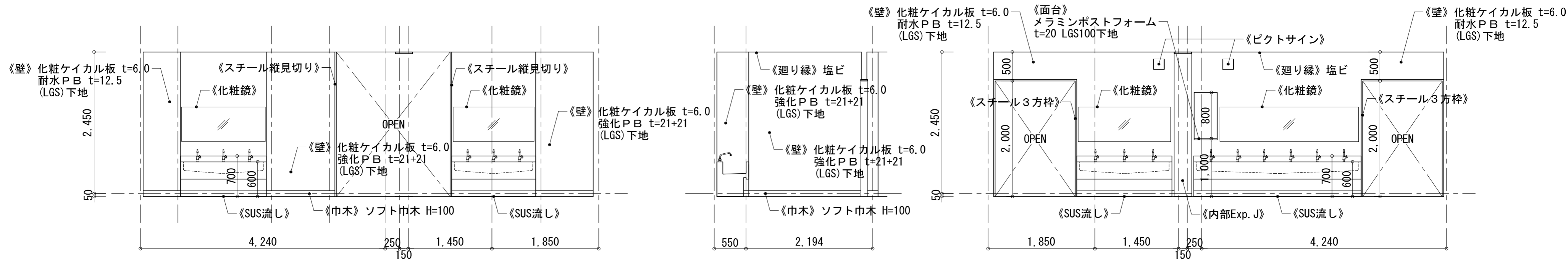
津市立安濃小学校長寿命化改修工事

便所棟(改修前) 2階展開図2

A - 50

S: 1/50

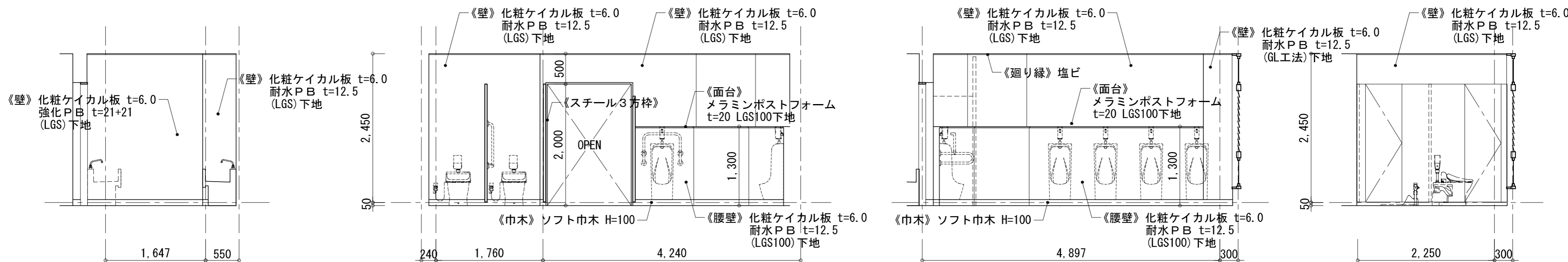




便所手洗い A

便所手洗い B

便所手洗い C

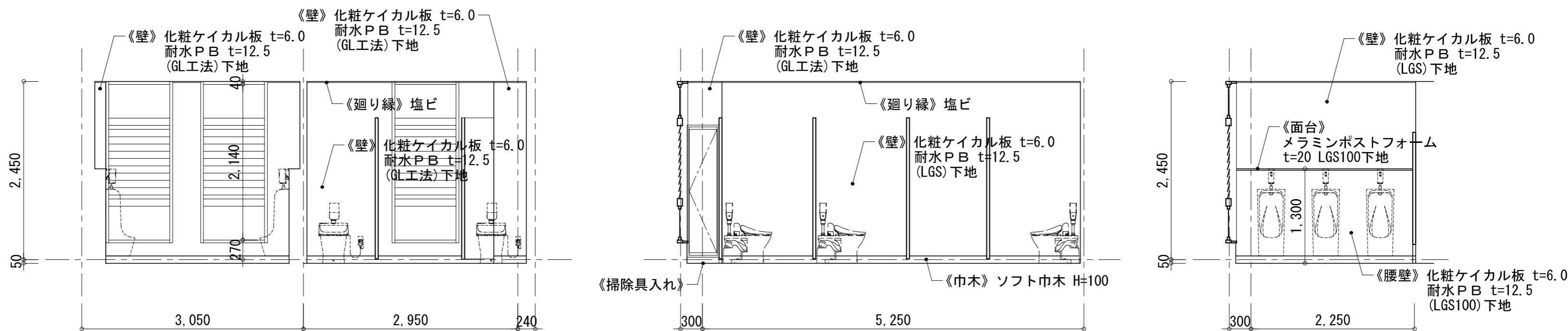


便所手洗い D

2階男子便所 A

2階男子便所 B

2階男子便所 B'



2階男子便所 C

2階男子便所 D

2階男子便所 D'

